

中世山陰地域を中心とする棟札の研究

2012～2014年度科学研究費補助金 基盤研究（C）
研究成果報告書

（課題番号 24520751）

2015年（平成27年）3月

研究代表者 長谷川 博史
（島根大学教育学部教授）

目次

棟札からみた中世の山陰地域

解題

凡例

「宝物古器物古文書目録」(明治二十七年)

社寺宝物文書目録	能義郡上	(寺社史料 27)	能義郡	神社	9
社寺宝物文書目録	能義郡下	(寺社史料 35)	能義郡	神社	11
社寺宝物文書目録	意宇郡上	(寺社史料 29)	意宇郡	神社	15
社寺宝物文書目録	秋鹿郡	(寺社史料 37)	秋鹿郡	神社	18
社寺宝物文書目録	意宇郡下	(寺社史料 37)	意宇郡	寺院	18
社寺宝物文書目録	島根郡上	(寺社史料 31)	島根郡	神社	21
社寺宝物文書目録	大原郡上	(寺社史料 38)	大原郡	神社	25
社寺宝物文書目録	仁多郡	(寺社史料 30)	仁多郡	神社	30
社寺宝物文書目録	島根郡下	(寺社史料 33)	島根・秋鹿・能義	寺院	35
社寺宝物文書目録	大原郡下	(寺社史料 33)	仁多・大原郡	寺院	35
社寺宝物文書目録	出雲郡上	(寺社史料 48)	出雲郡	神社	41
社寺宝物文書目録	神門郡上	(寺社史料 41)	神門郡	神社	44
社寺宝物文書目録	飯石郡	(寺社史料 46)	飯石郡	神社	47
社寺宝物文書目録	出雲郡下	(寺社史料 36)	出雲・備前・ 神門・飯石郡	寺院	52
社寺宝物文書目録	安濃郡上	(寺社史料 28)	安濃郡	神社	59
社寺宝物文書目録	迹摩郡上	(寺社史料 32)	迹摩郡	神社	61
社寺宝物文書目録	邑智郡上	(寺社史料 25)	邑智郡	神社	64
社寺宝物文書目録	迹摩郡下	(寺社史料 26)	迹摩・安濃	寺院	71
社寺宝物文書目録	安濃郡下	(寺社史料 26)	邑智郡	寺院	71
社寺宝物文書目録	那賀郡上	(寺社史料 47)	那賀郡	神社	78
社寺宝物文書目録	美濃郡上	(寺社史料 45)	美濃郡	神社	82

社寺宝物文書目録	鹿足郡上	(寺社史料 49)	鹿足郡	神社	84
社寺宝物文書目録	那賀郡下	(寺社史料 44)	那賀・美濃	寺院	86
社寺宝物文書目録	美濃郡下	(寺社史料 44)	那賀・美濃	寺院	86
社寺宝物文書目録	海士郡	(寺社史料 34)	海士郡	神社	91
社寺宝物文書目録	周吉郡	(寺社史料 43)	周吉郡	神社	91
社寺宝物文書目録	穩地郡	(寺社史料 43)	穩地郡	神社	93
社寺宝物文書目録	神門郡下	(寺社史料 42)	島根県全郡 追加報告	神社	96

「神社由緒書」(明治三十五年)

島根県神社由緒書	一 八束郡上	(寺社史料 92)	八束郡上	97
島根県神社由緒書	二 八束郡中	(寺社史料 93)	八束郡中	101
島根県神社由緒書	三 八束郡下	(寺社史料 94)	八束郡下	103
島根県神社由緒書	四 能義郡	(寺社史料 89)	能義郡	107
島根県神社由緒書	五 飯石郡	(寺社史料 95)	飯石郡	110
島根県神社由緒書	六 大原郡	(寺社史料 90)	大原郡	116
島根県神社由緒書	七 簸川郡上	(寺社史料 96)	簸川郡上	122
島根県神社由緒書	八 簸川郡下	(寺社史料 91)	簸川郡下	127
島根県神社由緒書	十五 鹿足郡	(寺社史料 98)	鹿足郡	135
社	安濃郡	(寺社史料 102)	安濃郡	136
社	迹摩郡	(寺社史料 88)	迹摩郡	138
社	邑智郡	(寺社史料 87)	邑智郡	139
社	那賀郡	(寺社史料 101)	那賀郡	142
社	美濃郡	(寺社史料 99)	美濃郡	146

棟札銘からみた中世の山陰地域

はじめに — 「宝物古器物古文書目録」と「神社由緒書」の資料的特徴 —

本研究は、地域に即した基本的・基礎的な情報が盛り込まれた二級史料であるにもかかわらず、これまで本格的な収集がなされていない中世山陰地域の棟札について、情報を網羅するとともに、研究素材として活用するための方法や課題を究明し、研究基盤の構築を図ることを目的とした。なかでも情報の収集は重要であり、特に中世の棟札には、近世以降の長期にわたり、繰り返し多様な形で写された文字史料が数多く存在している。実物資料が確認できないものを含めて、そのような情報を優先的に収集した。

ただし、それらを効果的に整理することは容易ではない。同じ棟札であっても、写され方から伝来の仕方に至るまで、あまりにも多様かつ多彩である。写され方にも、その作成の目的、解読者の意図や読解力が千差万別であり、また寺社そのものが統合や廃絶を経たため紛失のみならず帰属の変化も見られる。現物の棟札資料についても事情は類似しており、後世の加筆・新調、移動、廃棄など、古いものほど後世の寺社関係者の事情や意向に翻弄されやすい。

そのため本報告書では、基礎的・網羅的な情報としては最も古い時期のものである、島根県立図書館所蔵寺社史料所収の「社寺宝物文書目録」（本来の名称は「宝物古器物古文書目録」と、同館所蔵寺社史料所収の「島根縣神社由緒書」及び「神社（由緒調）」（以上を総称して「神社由緒書」と仮称しておく）のなかから、中世の棟札銘（及びそれに準じる記述）と古器物の銘文を翻刻することとした。そこに記された棟札銘（およびそれに準じる記述）には、実物の棟札を確認済みである事例も含まれているが、それ以外の大半は、ほとんど忘れ去られてきたものか、もしくはすでに棟札が失われた可能性の高いものである。他にもさらに詳しい銘文の写は存在するが、これだけ網羅的かつそれなりに統一的な形で調査され、それが現存しているものは、これら明治期の調査結果を措いて他にない。

「宝物古器物古文書目録」と「神社由緒書」に収められた棟札銘等の情報については、あくまでも二次的・三次的な位置づけを前提とすべきものである。調査事業に伴う自己申告であるため、精粗の差異は著しく、報告されなかった棟札が存在したり、寺社の格式を意識した加筆も避けられない。そもそも、文字の読解力自体に大きな差異がみられるばかりでなく、後世に作成され、書き換えられることも多い棟札・記録類などを、どこまで信頼してよいのかは、俄には判別しがたい。「島根県神社由緒書 五 飯石郡」（寺社史料95）に収載された来島村金屋子神社棟札銘（114頁）のように、後世の作であることが明らかな事例（銀の通用や天秤軸の開発に触れていることによる）ならばともかく、棟札の実物を見ても判別の難しい場合が多々見受けられる。棟札上に記される文言は、各寺社特有の棟札書式の先例に従うことも多いため、文言のみから真偽を判定しづらい。あらゆる意味で、信頼性に問題点を抱えた資料群であると言わなくてはならない。

しかし、にもかかわらずこれらの資料群には、以下のような意義があると考えられる。まず何よりも、明治期の各寺社が提出した文物のリストは、実地に調査を進める際の基本情報として有益であるということである。かつてその存在を報告された「モノ」を手がかりとすることは、調査の方向性や調査結果の意味を明らかにするために、きわめて重要であると考えられる。また、作為・誤認・誤写に関する史料批判を突き詰めていくことによって、資料的性格に関わる問題を克服できる可能性は残されており、それは同時に、すでに失われた「モノ」を復元していくためにもきわめて重要な手がかりとなる。意図的に作成・改変したものでないことが推測されるものを、含んでいるからである。以下では、そのような事例の一部を紹介する。

(二) 狩野秀頼と毛利氏の石見銀山代官

島根県邑南町阿須那の賀茂神社「板絵著色神馬図」(重要文化財)は、狩野秀頼の作品である。^①この絵馬の製作を発注し、永禄十二年(一五六九)八月に賀茂神社へ奉納した「旦那」は「大宅朝臣就光」であるが、この人物が石見銀山代官の生田就光であることについては、これまでにもいくつかの文章において触れてきたところである。^②

その主な根拠は、十七世紀後半に書かれた「寛文造営日記」(「佐草家文書」)において、杵築大社大日堂御室(厨子)の永禄十年四月二十八日の棟札に「旦那八服部次郎左衛門就光・生田左衛門大夫就光也」と書かれていたと記されていること、天正九年(一五八二)七月五日「銀山納所高辻」『毛利家文書』三四六)に、「九拾壹貫 下河原生田・服部分」と記されており、小葉田淳氏は生田氏と服部氏が「銀山代官」であり「下河原に給地を与えられていたのであろう」と指摘していたこと、近世初期成立の「森脇覚書」に、永禄五年に石見銀山を掌握した毛利氏が派遣した「銀山の代官」として、「池田(生田)」「服部」の名を記していること、などに拠っている。生田氏の名字の地である安芸国高田郡生田(安芸高田市)も、賀茂神社が所在する阿須那も、高橋氏旧領内の重要拠点であり、また生田氏が、室町期以来の高橋氏(大宅姓)一族であり、高橋氏滅亡後に毛利氏に従ったことは、すでに岸田裕之氏によって指摘されていたことである。したがって生田就光は、賀茂神社絵馬に名を残した「大宅朝臣就光」の有力な候補者であるのみならず、美術史的にも評価の高い優れた作品を発注しうるだけの財力は、石見銀山代官という地位によってはじめて説明可能であると考えてきたところである。

もっとも、残された史料がきわめて限られているからこそ、これまでその事実が知られてこなかったものであり、可能であればさらに多くの根拠が求められるところである。

ところで、本報告書に翻刻した「社寺宝物文書目録」^{迹摩郡下 安濃郡下 邑智郡下}「(寺社史料26)によれば、迹摩郡佐摩村長楽寺の永禄十一年棟札銘(頁)に、毛利元就の配下として「大宅朝臣就光」「藤原朝臣就光」の名を確認できる。長楽寺は、かつて石見銀山昆布山に所在した真言宗寺院である。この棟札銘は、毛利元就による銀山の現地支配において、生田就光と服部就光が重要な立場にあったことを、明瞭に裏づけるもので

あると考えられる。

さらに注目されることは、同じ長楽寺の「本尊役行者小角大菩薩厨子」の「獅子牡丹彩色画後二天狗画」が、永禄十二年五月十六日に「狩野治部少輔藤原秀頼」によって描かれたものと、記されていることである（71頁）。永禄十二年八月に奉納された賀茂神社絵馬を描いた秀頼は、そのわずか三ヶ月ほど前には石見銀山長楽寺の厨子のために絵画を製作したことが知られるのである。

長楽寺は、明治元年（一八六八）の震災によって焼失したと伝えられるが、「宝物古器物古文書目録」は、少なくとも明治十七年六月の時点までは、棟札や厨子とともに寺院が存在していたことを示している。しかし、これら棟札・金石文の現物は今のところ未見である。たしかにこのような明治期の回答書は二次的史料であり、信憑性を疑うことも必要なことではあるだろう。しかし、永禄十一年の棟札に書かれていた「大宅朝臣就光」や、厨子に書かれていたと推測される「狩野治部少輔藤原秀頼」といった文字について、当時や後の作為によって改変される必要性があったとは考えにくいのではなからうか。

以上のことは、賀茂神社絵馬の「大宅朝臣就光」が、生田就光その人であることを、ほぼ確実に裏づける事実と言っても過言ではない。さらに言えば、永禄十年に池坊専栄が石見銀山において「立花」を伝授したことや、堺商人をはじめとする遠隔地からの多数の人々が滞在・往来した巨大都市としての石見銀山の殷賑を想起するならば、狩野秀頼がどのような形で需要に応じていたのか（つまり何処で製作していたのか）ということについても、検討の必要があるように思われる。

（二）毛利氏の行政機構

棟札による情報は、毛利氏による出雲国の地域支配機構として、「郡司」という役職が存在したことを示している。

元龜四年（一五七三）の十月二五日毛利輝元書状写『萩藩閥閥録』巻101児玉傳右衛門9）よれば、毛利氏家臣の児玉元信（左衛門尉）は、出雲国の多根元房（因幡守）の跡を継承して、「大原郡・為石郡（坂石郡）々役并大東代官職」に任じられ、諸役の徴集を命じられた。「郡役」とは、おそらくは個別所領・知行分を越えて、毛利氏によって領域的に賦課される課役と考えられ、それを大原郡・飯石郡全体から徴集する役割を担ったことが知られる⁴。ただし、従来、その役職名は不明であった。

「社寺宝物文書目録 島根郡下 大原郡下」（寺社史料33）に収められた大原郡清田村の長安寺（雲南市大東町清田）の文禄四年（一五九五）棟札銘（40頁）によれば、毛利輝元配下の現地の人と思われる「児玉左衛門良勝」「多根和泉守春房」の名が見られ、児玉良勝には「郡司」と記されている。また、「島根県神社由緒書 六 大原郡」（寺社史料90）に採録された大原郡春殖村の岩根神社（雲南市大東町山田）の文禄五年の棟札銘（121頁）によれば、同様に「郡司」児玉伊賀守と多根春房の名を確認できる。

毛利氏の地域支配機構がどの程度整備され機能したのかはわからないが、従来不明であった「郡司」という役職名を確認できたことにより、

毛利氏当主直属の郡単位の地域支配機構が、毛利氏時代を通して存在したことが明らかとなった。

(三) 尼子氏勢力下の領主と寺社

毛利氏が中国地方に勢力を拡大した十六世紀後半と比較して、出雲尼子氏が勢力を拡大した十六世紀前半は、さらに史料が限られている。たとえば、天文九年（一五四〇）の竹生島奉加帳（『宝厳寺文書』『出雲尼子史料集』三九二）には、多数の「出雲州衆」が名を連ねているが、それらのなかには、伝承以外には他の史料にみられず、そもそも何処に基盤を持つ国衆であるのか明瞭ではないものが多い。しかし、棟札銘に記された「大壇那」「大願主」「地頭」などの記述は、領主・知行主であった可能性を示すものであり、「代官」「奉行」等の記述は、各領主権力の家臣団の一端を垣間見せるものである。以下では、その一例を示す。

馬田氏 大原郡大東荘内の領主であることは従来から知られてきたが、その基盤がどの範囲に及んだのかはよくわかっていない。しかし、「社寺宝物文書目録 大原郡上」（寺社史料38）に収められた上久野村鎌倉神社（雲南市大東町上久野）の天文二十四年（一五五五）棟札銘（26頁）や、「島根県神社由緒書 六 大原郡」（寺社史料90）に治められた下久野八幡宮（雲南市大東町下久野）の天文十八年棟札銘（119頁）によれば、天文年間の馬田慶信（尾張守）は「地頭」と記されており、久野郷の大部分を領主として治めていたことがわかる。また、代官と記されている山田六郎右衛門尉や石橋四郎右衛門尉は、馬田氏の家臣であった可能性がある。馬田慶信は、天文二十二年に連歌師宗養が出雲国へ下向した際に、たびたび句会に参画したことが知られる（『多胡家文書』『出雲尼子史料集』八〇二）。

下笠氏 「社寺宝物文書目録 大原郡上」に収められた三代村御代神社（雲南市加茂町三代）の永正十年（一五三三）棟札銘（27頁）により、下笠源四郎が大原郡三代荘内を地頭として治めていたことがわかる。

金坂氏 「社寺宝物文書目録 大原郡上」に収められた大月神社（雲南市大東町金成）の天永六年棟札銘（29頁）、「島根県神社由緒書 六 大原郡」に収められた同社の天永二年棟札銘（119頁）には、「地頭金坂越前守源昌信」と記されている。これらは同じ棟札の一部を写したものである可能性が高い。干支はいずれも「丙戌」と記されているが、天永年間（一一一〇～一一二二）には該当する年がないし、「地頭」の記載とも整合しない。一方、「丙戌」年のうち、「天永六年」とよく似た年号としては、大永六年（一五二六）がある。「神社由緒書」が大永六年を「天永二年」と誤読もしくは読み替えた可能性がどの程度想定できるのか、なお検討の必要があるが、金坂氏の基盤の所在地をうかがわせている。

西谷氏 「島根県神社由緒書 八 簸川郡下」（寺社史料91）に収められた江南村の安子神社（出雲市湖陵町常楽寺）の天文二十二年棟札銘（133頁）によれば、「地頭西谷才壽丸」と記されている。

なお、「神社（由緒調）那賀郡」（寺社史料101）に収められた那賀郡大内村の八幡宮（浜田市内村町の高井ヶ岡八幡宮）の天文六年（一

五三七) 棟札銘 (143頁) には、大永三年 (一五二三) 八月下旬に尼子経久の軍勢が襲来し、周布郷内の神社仏寺を悉く破却したと記されている。大永三年八月に尼子経久が石見国へ侵攻したことは、他の一次史料によって知られていたことであるが、その戦闘行為が寺社の破壊にまで及んだことをうかがわせていて、興味深い。

おわりに

このほかにも、「平田屋佐渡守家秀」(28・118頁)・「森長門守正重」(51・111頁)・「山縣太郎右衛門平春忠」(99頁)など、これらの資料によって初めて実名(じつみょう)を知ることができるとされる事例など、他の史料からでは得られない情報が数多く含まれている。もちろん、こうした細々とした事実関係については、資料としての性格上誤写の可能性を排除できず、これをもって確定というわけにはいかない。しかし、たとえば、杵築大社の御師であり、広島城下町建設に深く関わったといわれる平田屋佐渡守は、天正十六年に吉川氏領平田保の代官を務めている(125・127頁)ので、吉川広家の偏諱を受けた可能性は十分ありうることである。

以上のように、のちの記録に写された棟札銘であっても、中世以前の様々な事実をうかがわせる得がたい情報が隠れているのである。またそれは、実物の棟札等を探す有力な手がかりでもあると考えられる。今後、さらに研究の進展を図りたい。

- (1) この絵馬は、かつて石塚尊俊氏(民俗学)によって賀茂神社本殿から発見され、美術史の分野では河田貞氏により紹介されて以来、早くから注目されてきたものである(辻惟雄『戦国時代狩野派の研究』吉川弘文館、一九九四年)。また、文献史の分野においては、享禄年間(一五二八〜三二)に滅亡した石見・安芸両国の領主高橋氏のその後の歴史を示す貴重な遺産として、岸田裕之氏や地元の日高伊三氏らによって、これも早くから注目されてきた(岸田裕之『大名領国の構成的展開』吉川弘文館、一九八三年、日高伊三「幻の古城跡―幡屋城―」『郷土石見』二六、一九九二年)。大宅姓は高橋氏の本姓であり、「光」は高橋氏の家の字であったからである。美術史の研究成果については、門脇むつみ氏より御教示を得た。
- (2) 長谷川博史「毛利氏支配下における石見銀山の居住者たち」(池享、遠藤ゆり子編『産金村落と奥州の地域社会』岩田書院、二〇二二年)、同「毛利元就の山陰支配―生田就光と福井景吉―」『島根史学会会報』五〇、二〇二三年。
- (3) 長谷川博史「戦国期の地域権力と石見銀山」『世界遺産 石見銀山遺跡の調査研究4』二〇一四年)。
- (4) 長谷川博史「毛利氏の出雲国支配と富田城主」『戦国期大名毛利氏の地域支配に関する研究』二〇〇〇〜二〇〇二年度科研報告書、二〇〇三年)

解題

(1) 明治二十七年 「宝物古器物古文書目録」

「宝物古器物古文書目録」は、明治十二年（二八七九）に明治政府が実施した寺社調査に対する各寺社からの回答書そのまま綴じたものである。榑縫郡の神社を除き、島根県全域のものが残されている。記載項目をみると、棟札に関する情報収集が特に重視されたことがわかる。当時の明治政府と各県は、一時期、寺社の復興修理に積極的な姿勢を示しており、いわゆる神社明細帳・寺院明細帳の作成のための根拠資料としてこの調査事業をきわめて重視していたことをうかがわせている。「社寺宝物文書目録」との表題を付された後補の外側の表紙には、各郡名も記されているが、そのなかには各冊の内容と異なるものもあるので、目次や各翻刻文冒頭には「」等を付して記載内容を注記した。

なお、「邇摩郡安濃郡 寺院宝物古文書目録」（寺社史料50）にも、邇摩郡・安濃郡の一部について、「宝物古器物古文書目録」とほぼ同じ筆跡・字配のものが、再録されている。この時の調査にあたり、複数の同内容の回答書が作成・提出されたことを示している。

(2) 明治三十五年 「神社由緒書」

「神社由緒書」は、下図のような調査票を配布して実施されたものであり、棟札の多くは、このうちの「社藏其他古文書」の項目に記載されている。回答日が記されているものに拠る限り、明治三十四年（一九〇二）十二月～三十六年二月頃にかけて、各神社から回答されたものであると思われる。

寺社史料87・88・99・101・102の「神社（由緒調）」については、表紙に「明治四十一年」と記されているが、その内容は、明治三十五年の記載項目と同様である。これも回答日が明記されていないものが多いので正確なことはわからないが、邇摩郡・邑智郡については明治三十四年十二月と明治三十五年一月に回答されたもの、那賀郡については明治三十六年二月に回答されたものと見受けられる。「島根県神社由緒書」には九十四（そしておそらく隠岐については十六以降）の書冊が存在した（もしくはいずれかに

		社格		國		郡		村大字		社掌		明治三十五年 月 日調査	
○御由緒調査事項點數一視表													
地方関係諸書	社傳	諸社根原記	類聚符宣抄	日本紀略	三代實録	引證書名	事項	引證書名	事項	引證書名	事項	引證書名	事項
							點數		點數		點數		點數
備考	古老傳説	官社祭神考証	風土記	延喜式	文德實録	續日本紀	事項	日本後紀	事項	古語拾遺	事項	類聚三代格	事項
							點數		點數		點數		點數
總計	社藏其他古文書	本朝月令	太田文	釋日本紀	古事記	日本後紀	事項	續日本後紀	事項	一之宮記	事項	伊呂波字類抄	事項
							點數		點數		點數		點數
點	社藏古器物												

存在している)と思われ、「神社(由緒調)」がそれに当たると即断はできないものの、仮に別のものであったとしても、同じ調査事業に関する、おそらくはほとんど同内容のものであったと推測される。

なお、寺社史料には、このほかにも「仁多郡神社由緒書」(寺社史料100)や「島根県神社由緒書 十三 美濃郡上」(寺社史料97)が収められている。しかし、「仁多郡神社由緒書」(寺社史料100)は、実際には大正十三年～十四年(一九二四～二五)頃の「氏子異動事由」報告が多数綴じ込まれた「神社明細帳寫 副本」であり、昭和二十三年(一九四八)に曾根研三氏が新たに表紙を付し、「仁多郡のみ欠本につき本書を以て補完す」(表紙裏)るために、現在のような題名としたことが知られる。ちなみに、他の「社寺宝物文書目録」「島根県神社由緒書」と表題が付された表紙についても、全て曾根氏の筆跡になる同じ紙質のものであり、同時期に作成されたものであると推測される。「島根県神社由緒書 十三 美濃郡上」(寺社史料97)も、明治三十五年調査時のものではなく、大正十二年(一九二三)の「神社明細帳記載事項変更事由書」が多数綴じ込まれた書冊であり、記載項目も調査事項には対応していない。

凡 例

一、島根県立図書館所蔵寺社史料に収められている「社寺宝物文書目録」「島根県神社由緒書」「神社(由緒調)」のうち、慶長五年(一六〇〇)以前の年号が記された棟札・古器物等の銘文(もしくはそれに準じる記述)を翻刻する。「社寺宝物文書目録」については、中世の古文書や伝承も極力採録するが、それ以外は採否の基準設定が難しいため、棟札・古器物の銘文(もしくはそれに準じる記述)のみを翻刻した。

一、資料の性格上、掲載情報の選択・精粗や資料内容そのものの質には、著しい差異やばらつきが見られる。したがって、年代の特定や内容の信憑性については判断困難なものが多いので、あくまでも基礎情報としてそのまま翻刻した。そのため、字体や字配りについてもできるだけけ釈釈を加えない形で原状のまま翻刻することとした。各寺社冒頭には、便宜上掲載順に番号を付し、当時の寺社名を記した。

一、誤字・脱字の箇所も多いが、原典の性格上、校訂に責任を持ってない箇所が大半であるため、原則としてそのまま記した。また、同様な観点から、解読困難な形状の文字については無理な解読をせず、■によって示して後考を待つこととした。なお、著しい誤認を生じる懸念がある場合には、傍注を「」で記載した箇所もある。

一、中世に関連する項目のみを選択して翻刻するものであるため、一つ書きの内部に中略がある場合には「中略」等と記したが、それ以外については、煩雑となるため注記を付さないで省略した。

一、虫喰等により、開くことのできないページや、綴じ目に重なり判読できない部分があったが、現状維持の観点から今回は無理をせず解読していない箇所がある。

等社史料27 能義郡神社

明治十七年調

社寺宝物文書目録

島根県能義郡 上

1 安田宮内村八幡宮

一棟札

壹枚

建永元丙寅四月當時神主藤原六郎丸十四歳神官平朝臣

祢宜藤原朝臣郡太中代日吉弥兵エ御供所遠藤吉次梵字

数字其他不分明

一棟札

壹枚

年号不分明傳云元龜ナリト梵字アリ其他数字アリト雖

松ノ木蟲食ニテ字形一モ分明ナラス傳云本願五郎右エ門ナリト

一鰐口

壹箇

長祿四年願主俊滿卜記セリ中経壹尺二寸五分目方式貫百五十匁

傳來不詳

3 安田村安田田面神社

一棟札

一枚

文字不分明

一棟札

一枚

元龜三年十二月十二日田乃毛神社建立檀那神主田中四郎兵

衛尉家次

4 下吉田村甲山社

一棟札

壹枚

天正十六年子卯月十七日

地頭天野民部太夫藤原朝俊

本願 湯浅和泉守為殿

大工 山本源左エ門

頭令 勝原平左エ門

2 安田村安田八幡宮

一丸飴板

四枚

裏ニ出雲國能義郡安田之八幡宮御神前奉施入御正鉢

事右意趣者天長地久御願円滿殊者國中安穩取今

信心大施主子孫繁昌諸人快樂心中所願皆令満足祈念

5 安来村賀茂神社

一文書

二通

加茂糺兩社勸請并遷宮式 宣下之記録

宝龜九年^{戊午}冬十一月參議左大辨 近衛大将神祇伯大中

臣朝臣諸魚卿ヨリ兩社勸請ノ 宣下安來郷人藤

原実重藤原元重兩人へ下賜セラレシ二通ノ書ナリ

一棟札

二枚

往古棟札二枚文字不分明

一棟札

一枚

天正十八年^{庚寅}十月十九日再興大願主毛利兵部大輔大江朝臣元康

奉行熊谷内藏助尉井上新左エ門下代伊藤太郎右エ門小多川助四

郎 神主野口鴨太夫 本願實重八郎左エ門大檀善兵衛

一鰯口

一口

棟文ニ云出雲国能義郡奉寄進小森大明神大永六年二

月吉日伯州會見郡山根助三郎トアリ明治六年八月廿七日

安来村ノ人野坂市藏ナル者当社西戌ノ方距離二丁計之處

ヨリ掘出シ該社ニ納ム経リ四寸三分目方二百五十一匁ニシテ唐金

ナリ銘不詳

7 安来村糺神社

一文書

二通

賀茂糺兩社勸請并遷宮式 宣下之記録宝龜

九年戊午冬十一月參議左大辨近衛大将神祇伯大中

臣朝臣諸魚卿ヨリ兩社勸請 宣下安來郷人

藤原実重藤原元重兩人へ下賜セラレシ二通ノ書ナリ

8 野外村八幡宮

一古文書写

能義郡宇賀庄八幡宮神田打渡之事八拾五石三斗尻為修理御

祈願付 (虫蝕) 油断有敷者也天正九年卯月二日^{石川}左近書印^{福満}伊

賀書印神主^{まいる}

9 荒島村八幡宮

一棟札

一枚

天正三年^{乙未}十一月吉日奉建立八幡宮大檀那大江朝臣元秋奉行

揖東桂林齋平玄芳并遷座岩倉寺有圓法印神主高戸

民部大夫次久

一棟札

一枚

慶長五年九月廿七日奉修八幡宮造立所大檀那^{壬酉}歳守

護息災攸役人平井兵右エ門清水寺井本坊大工六治郎

6 安来村下山社

一文書

二通

天正九年十二月三日下山ノ社頭大破ニ及ニ符分国ノ勸進ヲ以再興セシムヘキ

ノ由毛利輝元公ヨリ野口鴨太夫宛ノ書也

文禄五年卯月廿四日伯州大山寺中興開山豪円僧正ヨリ豊臣大閣殿

政所殿ノ年附ヲ以下山社へ御神樂祈念依頼ノ書也

10 日白村日白神社

一棟札

一枚

以上不明神宮二字 頻伽聲 大檀那源義久大

大願主玄弘帝釈王大工藤原總家以下不明

〔等社史料35 能義郡 神社〕

明治十七年調

社寺宝物文書目録

島根県能義郡 下

〔能義郡

神社寶物古器物古文書目録

島根縣 〕

1 廣瀬村富田八幡宮

一 神宮秘傳古記 一卷 筆者編者田邊布祢

延久二年二月社司田邊布祢撰之

一 鍵 一筋

尼子家之臣山中鹿之助幸盛所持銘箕輪

崎住人吉勝作天正三年八月吉日穗先一尺七寸

六分寄附人土町佐右子門尉信■享保十一年丙午

五月十五日

一 矢竹 一筋

本社月山ヨリ今之地^正轉座之節藤原景

清射シ矢卜云傳フ長四尺一寸

2 富田村十二所神社

一 棟札 一枚

慶長五子年初冬良日迂宮 大壇那藤原朝臣廣家

大願主今田上野入道經高建立官土岡崎善兵衛

3 下山佐村山狹神社

一 棟札 壹枚

天文十八年西霜月廿八日迂宮神主金山與三右衛門其外不詳

一 同 壹枚

天正九年^{壬午}年九月吉日檀那毛利少輔十郎大江朝臣元秋神主宮

内大輔正家奉行熊谷左衛門尉秋里奉行下司間崎土佐入道

4 上山佐村山狹神社

一 文書 一枚

山狹神社玉殿

弘仁十己亥

本願主

安井丈太郎鴨木惣左子門佐伯喜平

一 同 一枚

神体再建

天慶元年十一月

佐伯平太夫

但シ文書兩通共明治七年甲戌十一月二十六日

縣廳^正進達仕候

一 棟札 一枚

大永元年辛巳十一月二十日

願主何々 其他文字有レトモ不詳

5 梶福留村児守神社

一 棟札 壹枚

地頭大楨河内守奉建立子守大明神遷宮神
主二条内三位清重祭次第御供米貳斗貳升
餅長サ八寸横四寸三百三拾百姓五人神田上神田
外文字不詳

6 梶福留村八幡宮

一棟札

壹枚

大永六年^{丙戌}十月奉建立以下文字不詳

願主不詳

一棟札

壹枚

天正三年^{乙亥}十月十四日敬道師青瀧寺法印快宋

奉建立八幡宮御寶殿一字地頭板采女佑源朝

臣慶久繼神主内藤神兵^三藤原政重

大工重栖四郎兵^三平秀清白

7 東比田村中村神社

一棟札

一枚

奉建立東比田村中村神社御迂宮御地頭

吉川広家公代官井下久兵衛熊谷孫左^三門本願

遠藤次左^三門神主源秀満大工重栖惣五郎

小工者為左^三門民種敬白文録二年^{癸丑}五月一日

8 東比田村日吉神社

一棟札

一枚

奉建立山王大権現遷宮成就攸 天文八年己

亥卯月十日巳満遷座地頭大楨河内守正定両

奉行四郎左^三門久信土居助左^三門定重祭次第御

供米貳斗貳升 餅長サ八寸横四寸三百三十御子ほ

り四ヶ所そり田下神田又神田上神田神主二条

正三位秀重 大工野村源左^三門久吉 百姓五人

一同

一枚

奉再建立長田山王大権現御安座神主竹矢長松

丸一面柄四郎兵^三大工藤内源六 道場大檀那馬

木宗右衛門久綱 大官大馬木彦四郎誠信于時

于時弘治二年^{丙辰}十月十一日敬白

一同

一枚

奉建立山王御寶殿一字畢 地頭三沢少輔

八良源朝臣為虎遷宮導師青瀧寺權大僧

都快乘 天正九年 大工重栖四郎兵^三平秀清白

姓頭藤内藤左^三門下代千原藤次兵^三尉代官三沢

藏人源為猶下代両人石原与治郎慶存長谷川

宗左衛門秀親^{辛卯}月十日棟上遷宮 神主竹矢■

京太夫源秀信

9 布部村布弁神社

一棟札

一枚

天正八年^{庚辰}閏三月廿八日建立 神主須山弥吉兵^三重影

一神子森市 本願主安養寺玄悦 大工重栖四郎兵^三

地頭三沢少輔八郎為虎 代官野尻内藏人佐慶景

下代同名久右^三兵^三尉慶重

10 市中屋村八幡宮

一棟札 老枚

寛喜二年寅三月三日奉造立八幡宮 一字成就國

主佐々木信濃守泰清

一棟札 老枚

元亨元年酉四月五日奉建立八幡宮領主山田七郎

入道重賢神主羽田野武藏守家在願主刑部大

工泰清

一棟札 老枚

應永十六己丑十一月五日奉崇出雲國能義郡鶴見

八幡宮國主佐々木治部少輔高軋神主羽田野右衛

門尉家正嫡子地頭千代房丸高秀代官長谷人

道淨祐

一棟札 老枚

天文十六乙巳十月十九日奉造立八幡宮國主尼子民

部少輔源晴久神主池田次郎右工門藤原義重

大工渡辺太郎右工門

11 市中屋村天満宮

一文書 老通

祭神勸請之式日長久四年八月二十五日撰

者不詳筆者神主右近大夫寄附人同

人

一古棟札 三枚 文字不詳

一棟札 老枚

大永七年亥月日不詳建立當社拜殿

一字成就神信心大施主平朝臣久泰神

所願共文字不詳

一棟札 老枚

天正十六年戊子八月二十二日奉造立天満大自

在天神藤原朝臣南方半介政家雲州能義郡

井尻保一分大旦那并所願衆主等分二左衛門辰才

神主宮田源太夫大工足立友右衛門十二力性武

運長久子孫繁昌

12 西母里村八幡宮

一棟札 一枚

奉造立出雲國能義郡西母里庄八幡宮

嘉吉三年癸亥十一月十六日左近衛將監藤原朝臣俊永大工大井家次

一切日皆善 一切宿皆賢 菩薩皆威德

一棟札 一枚

〔梵字〕

諸佛皆行滿 以此誠實言是故成吉祥

大壇那吉田八郎左衛門尉患永

上葺奉造宮雲州能義郡西母里庄八幡宮

文明十五年癸卯八月二十八日 大工藤原秀親

一棟札 一枚

〔梵字〕

永正十五年仲冬吉日 奉行村田源兵衛野田源右工門

〔梵字〕南無歸命順札八幡大菩薩

一切日皆善 一切宿皆賢願主大旦那正永敬白

一棟札 一枚

〔梵字〕

諸佛皆威德羅漢皆行滿天文六年丁酉九月吉日

〔梵字〕

一切皆日善 一切宿皆賢

一棟札 一枚

〔梵字〕

諸佛皆威德羅漢皆行滿

右当社疾廢之儀各々悲嘆而新勵造立之志抽 一心清淨之誠而令造畢既撰吉

良辰 共養之儀式古尹在之願吉田兵庫之助經永福山三郎兵 尉藤原綱信敬白

天文二十一年壬子卯月吉日

〔梵字〕

本願聖 大工宇野助兵衛尉
行尊法印 大工三郎兵衛尉

一切日皆善 一切宿皆賢

一棟札 一枚

〔梵字〕

大旦那吉田源四郎藤原朝臣元永大願主安岡藤兵 尉信 幸久當神主

日高左 門尉永盛大工岡松次郎左 門尉信家阿闍利良真敬白

天正十六丙子年三月廿五日諸佛皆威德羅漢皆行滿

〔梵字〕

上葺奉造立雲刃能義郡西母里之庄八幡宮
一切日皆善 一切宿皆賢

一棟札 一枚

〔梵字〕

右當大破之砌各々企造立之志、令 上葺 (虫損)

敬神還宮者已神主日高神兵衛本願主日置 郎右衛門

尉大工 津作右衛門尉 諸佛皆威德羅漢皆行滿

文錄五年二月二十四日

〔梵字〕雲洲能義郡西母里八幡宮御上葺成就也

13 東母里村八幡宮

一棟札 拾四枚

字書不詳

文明十五年癸卯七月廿一日奉造立雲洲能義郡東母里八

幡宮母里土佐守藤原重房願主林三郎左 門藤原 与次

郎神主重利林上大工藤原秀親此外字書不詳

文龜二年壬戌林鏡吉日敬雲州能義郡東八幡宮母里刑部左衛

門尉經房神庭新右 門大工小山三郎左 門宗高

此外字書不詳

天正十八年壬戌五月十四日 佛日照何日非

〔梵字〕

吉日無善皆吉祥 右當社令荒廢方令勵再興

之意趣抽 一心清淨丹祈令造畢既撰吉日良辰勵遷

宮儀式而已信心大旦那吉田肥前守藤原朝臣元

勝大願主吉祥院空尊大工岡松源次兵衛尉信家

社奉行小山三郎右衛門村信神主松兵 尉宗秀遷

宮師法印良真敬白

〔寺社史料29 意宇郡 神社〕

明治十七年調

社寺宝物文書目録

島根県意宇郡 上

〔意宇郡

神社寶物古器物古文書目録

島根縣 〕

1 下意東村筑陽神社

一棟札

一枚

天正八年庚辰十二月吉祥日

大壇那三刀屋彈正忠久扶

本願佐方平三兵衛尉同次良右衛門

神主波多野平兵衛尉慶家

大工 渡邊次良四郎

2 日吉村劔神社

一文書

壹冊

明德三年寅十月廿八日ノ社記

本願大壇那當家伴藏藤原利昌
神司日吉右兵衛大夫藤原保孝

取遣書

一棟札

壹枚

表面 天下太平

奉再建劔山明神本宮詔門社

社司山崎徳大夫藤原重義
本願大壇那伴吉藤原利孝

国土安全

裏面 享祿三年

無上靈宝神道加持

九月吉日

3 西岩坂村桑並神社

一棟札

一枚

應永十年九月九日施主木梨九藏金之丞

石井久七長島與一右エ門恩田與右エ門役人飯塚

新五武藏庄助大工近藤正作小工市左エ門

4 大庭村神魂神社

一懷紙

壹葉

後鳥羽院御宸筆承久三年七月隱岐国へ御

渡海ノ節御奉納御詠歌

一短冊

壹葉

細川玄旨筆天正年中豊臣太閤朝鮮征討時

当国国ニ立寄社参アリテ御奉納詠歌

一鏡

壹面

無銘亘り壹尺貳寸四步重量六百三拾五匁裏書二曰ク

奉寄進大円鏡伊豫縣伊豫郡社

右日域之良將太閤殿下揚旌旗於朝鮮被

渡諸將之時所取之物也

一異帝制益增長武運弥宏泰祝致厘々々

謹言

峇慶長戊戌林鐘吉辰豊臣羽柴從四位上

雲笏吉川侍從廣家朝臣

一劍

壺口

豊後國住紀新太夫行平作三尺四寸六分燒刀

直刀白鞘入り天正十一年十二月十一日天下泰平ノタメ右馬

頭大江朝臣輝元寄附

一劍

壺口

全國住僧定秀作長壺尺五寸貳步燒刀直刀

白鞘入り尼子晴久寄附年月傳來不詳

5 佐草村佐久佐神社

一画像

三枚

板地彩色画寛平五年八月日紀金岡

當社へ參籠之節神殿胴板三画スル

所ナリ

一画像

五幅

絹地彩色画法眼元信ノ筆ニテ

狩野家ヨリ奉納セリト申傳フ最

寄附年月傳來ノ所由不詳

一書

一葉

紙地短冊後醍醐天皇々子八宮

ノ筆并御奉納アリ最御寄附ノ

年月傳來等不明

一書

一葉

紙地短冊水無瀬中納言氏成

朝臣勅使ノ命ヲ蒙リ隱岐國後鳥羽

天皇御陵へ參向セラレシ時當宮

ニ參詣アリテ奉納セラル寄附年

月等不明

一書

一葉

紙地色紙言葉仮名散ラシ書紙

團扇形在原業平朝臣書并

御奉納アリト云最寄附年月等

不明

一食器

十一

素焼平皿蓋 一茶碗 三小茶碗 三壺

一德利 一盞臺 二稻田姫命ノ食

器ナリト云最寄附年月等不明

6 上来海村天満宮

一棟札

一枚

表 藤原家清當時之代官中村太良右エ門來待庄十二氏子

大工村瀬久左エ門山大工野村源五右エ門

神主石原左エ門大夫宗次

裏 慶長二丁酉九月五日

一太刀

一口

焼刃ヒイル 「シラサヤ」無銘寸法 一尺七寸五歩

菅公御帶劔ト云 年月日不詳

7 央道村水川神社

一棟札

壺枚

奉修覆祇園御社 二字大壇越京極

佐々木完道政慶 天正十三稔 乙酉林鐘

吉日

8 佐々布村大森神社

一棟札

壹枚

兩地頭完道…………… 元龜三年

〔梵字〕 奉上棟大森大明神

……………大藏庄壽次郎左子門 神主……………大夫

裏 〔梵字〕……………

9 波入浦市杵島神社

一棟札

一枚

慶長三年

奉再建辨財天社壹宇神主渡部鞞負源重明

丁卯八月廿二日 幣頭川上美織藤原富昌

10 二子村地神社

一棟札

一枚

永正七年^{庚午}十一月初日造立地神大將軍神官願主名不詳

一棟札

一枚

天文十八年^{己酉}梅公吉日造立神官願主名不詳

一棟札

一枚

弘治三年^{丁巳}十月吉日造立神官願主名不詳

一棟札

一枚

文祿四年^{乙未}神在月吉日造立神官願主名不詳

11 入江村三所神社

一棟札

一枚

天文十二年^{癸丑}六月三日造立三所大明神神官願主不詳

一棟札

一枚

永祿三年^{庚申}十一月日造立神官不詳

一棟札

一枚

天正十四年^{丙戌}三月九日建立神官不詳

〔等社史料37 秋鹿郡 神社、意宇郡 寺院〕

明治十七年調

社寺宝物文書目録

島根県秋鹿郡
意宇郡下

〔秋鹿郡

神社寶物古器物古文書目録

島根縣 〕

1 美野村八幡宮

一棟札

壹枚

御宝殿再興 大永七年丁亥八月晦日

一棟札

全

當社上葺造宮國之司大江朝臣毛利輝元神主常松甚
右衛門代官長美濃守公文池尻十郎兵衛天正十三月

2 美野村芦高神社

一棟札

壹枚

奉新再興高大明神 神主池尻助左衛門正重

国司輝元地頭桂左衛門太夫天正四年丙子仲春六日

3 大垣村内神社

一縁起書

壹卷

養老五年八月中旬記小野朝臣五位大宮司家原秀勝撰者寄附人共
不詳 内野社内ニ傳來ス

一文書

壹通

紙地聖護院准三宮道澄公ノ御筆道澄公ノ寄附年月不詳
内野社内ニ傳來ス

一棟札

一枚

奉遷宮足高大明神 護持大壇那 聖護院准三宮道澄公
二品親王道勝公

抑南瞻浮州大日本國山陰道公雲州秋鹿郡大野庄天下之聖護院往古

依為御本領任先例被成御建立畢 輝元公中国守護御代

聖護院御代官波並宮内大輔元村
源太郎元繼 神主家原大宮司小野秀種

造立頭領本伊知大和
鬼形作平兵工 造立奉行大野西庄
清右三門

大野東庄
三郎兵工

文祿三甲午霜月朔日

一棟札

一枚

足高大明神奉上葺天長地久所

御地頭天下聖護院准三宮道澄公
甲辰御殿
二品親王道勝公
丙子御殿 社領依御寄附

御代官波並源太郎元繼公
岸本和泉守宗成公 大江朝臣毛利中納言西国三十三ヶ国御下知大坂

城御在番之砌吉川廣家公伊勢松坂御番之砌天下被成覺當国富田御在

城守護 神主家原大宮司秀勝

慶長五庚子年八月廿三日

4 岡本村多太神社

一棟札

一枚

〔梵字七字〕奉造宮多太神社御宝殿

諸佛皆俄德羅漢皆對滿 一切日皆善 一切宿皆賢以此誠實故願秋常吉祥

神主村重敬白 代官古尾 衛門

永祿九年丙寅霜月廿五日

大工竹田藤原清久
本願石川源兵工時

一棟札

一枚

奉修理出雲國秋鹿郡岡本保羽鳥大明神御宝殿國家安全保内豊饒所

當領主津田左馬允

野々村奎兵工
今村清左五郎尉
山田長三郎

神主北島丹波

本願次郎兵工 役人助左五郎尉

肝煎足立清左五郎尉
陣山七郎右五郎

一棟札

一枚

奉修覆多太神社御宝殿 一宇保内安全攸

岡本保 右保者大旦那 記朝臣秀清武運長久秀綱公 文宗衛門

役人与 一兵工 大工竹田清久 神主北島久治

于時天正八庚辰年十二月吉日

當所安穩如件

5 西長江村国司神社

一棟札

一枚

奉建立国主大明神御宝前

一切皆善次 一切宿皆賢諸虫喰欠

誠實言願我常吉祥

敬白

慶長三年九月廿三日

一棟札

一枚

奉再興国主大明神御宝前

本願大廻三郎右五郎清長
大塚那佐々木 政慶
當社御造宮入辻之奉米方三拾表代四十貫文
此餘虫喰文字不詳 大工竹田弥右五郎

皆天正七乙卯歲拾月十日

6 佐陀宮内村縣社佐太神社

一文書

四通

一通貞和五年七月廿九日尼子經久ヨリ 一通八月二日年代不詳

尼子晴久ヨリ 一通二月十六日年代不詳毛利元就ヨリ 一通九

7 佐陀本鄉村須賀神社

月四日年代不詳毛利輝元ヨリ 計四通当社配下橋籠郡 秋鹿郡
島根郡 意宇半郡フ云

神官当社大祭及遷宮之際無怠惰出勤社役可勤旨ノ達

書ナリ

一掛盤

三脚

神饌臺四ツ足朱黒交七塗高サ老尺
三寸三歩長サ老尺
三寸七歩裏書

應安二己酉十二月日領主平高長 大工清原宗清卜記載アル遷宮ノ

際出來ノ傳來

一刀

一口

燒刃直白鞘入硯身長サ貳尺四寸六歩中心
トモ銘天国傳來尼子經

久寄附年月不詳

一同

一口

燒刃同白鞘入硯身長サ三尺五寸一步中心
トモ銘宗近傳來同公寄

附年月同シ

一同

一口

燒刃同白鞘入硯身長サ三尺二寸七歩中心
トモ無銘則重ト
傳欄ス傳來

同公寄附年月同シ

一同

一口

燒刃亂白鞘入鑄身榑入長サ五尺三寸七歩中心
トモ無銘家次ト
傳欄ス傳來

塩冶高貞寄附年月同シ

一甲冑

三副

内壱副薄金具足ト欄ス威糸赤白取交寄附人及年月等

不詳ト雖古物ニ有之

二副威糸紫赤淺黃白取交寄附人尼子經久ト傳來ス年月同シ

一棟札 壹枚

清地大明神 社司幡垣氏謹言

年号月日不詳

一棟札 壹枚

清地大明神 社司幡垣氏長門守

年号月日不詳

一棟札 壹枚

清地神社 社司幡垣氏

天正四年子四月十二日 十二氏子中

「意宇郡

寺院寶物古器物古文書目録

島根縣

1 乃木村浄土宗別願院

一画 壹幅

但慶長四辰十月三日ト記載有ル

紙地墨絵開山雄誉上人ノ像自画

2 乃木村時宗善光寺

一画 三幅

一佐々木高綱ノ像紙地彩色ノ古画 一卷

画名年月及寄附人傳來不詳

3 東来海村弘長寺

一棟札 壹枚

山陰道出雲州意宇郡来海郷金宝山

弘長寺者弘長元年左エ門尉藤原朝臣

満資公之艸創而五百有餘年之古

道場也以下祈禱文長シ依テ之ヲ略ス

于時安永二龍舎癸巳三月念又一鳥

當山現住泰音受檀頭伊藤長右エ門

梶谷和助伊藤太四郎武田甚七土江

七三郎勝部多十池尻市良右エ門

総檀那中十方外護

4 白石村曹洞宗鞍馬寺

一棟札 壹枚

大同元年 丙戌歲二月本願主勝部朝

臣焉定藤原朝臣定吉小豆澤久治

郎 餘ハ書跡アリ
トモ不詳

一棟札 壹枚

天正十一年 癸未卯月別當源香藏本

願普門坊大壇那成田彦治郎藤原朝

臣慶資代官小豆澤八郎左エ門導師岩

屋寺祐甚

明治十七年調

社寺宝物文書目錄

島根県島根郡 上

〔島根郡

神社寶物古器物古文書目錄

島根縣 〕

1 石橋町稻荷神社

一卷物

壹卷

紙地百人一首大永四年二月二日大納言藤原吉
宜筆山田栄市祖先傳來之品ニ付明治十年一月
寄附

2 西茶町須衛都久神社

一棟札

一枚

天正二年九月廿日 神主宮左衛門
國主毛利元就 野村信濃守 青砥四郎右衛門
長屋 谷林…… 川島……
大工次郎四郎 青砥宗左衛門 小原太郎三門
青砥七郎左三門 同 大九郎 青砥又七
同三郎右三門 同 藤兵衛 川島藤次郎
小原彦九郎 同次郎右三門 青砥又九郎
清原藤右三門 井藤…… 井藤助太郎

青砥三郎右三門

一劍

一口

焼刃小乱刃ニテ白鞘銘ハ天文十年八月吉日備州長船祐定作

トアリ寄附人渡部半助寄附年
月不詳

一短刀

一口

焼刃小乱レ刃ニテ白鞘銘ハ相州鎌倉住行光作トアリ寄附人
並年月等不詳

3 薦津村天若宮神社

一棟札

壹枚

天正十一年
奉造立當所繁昌家内守護上雖則滅亡福則生
如忍惡魔退散 奉祈所而已氏子
未九月廿五日敬白

4 比津村比津神社

一棟札

壹枚

右意趣者奉為天地久御願圓滿殊者護持信
心大檀那平朝臣千葉元胤丙申歲中務少輔
武運長久子孫繁榮欽新樹上棟突貫大明神
御寶殿 一宇社頭安穩威光自在當所豐饒諸
人快樂富貴永盛之處
右地頭者備後之國賀茂栗原方也同時之代
官田総忠右衛門尉里清乙巳元歲
于時天正十二年甲申歲卯月吉日良辰 敬白

雲州島根郡法吉江比津村



5 黒田村照床神社

一棟札

壹枚

〔梵字二字〕奉造立末次之内黒田寺床大明神守護所 神主形部

慶長四年神在月吉日

地下中敬白

6 片江浦玉結神社

一棟札

壹枚

文祿二年（一六〇二）癸巳三月吉日 社司 石川大膳

国司松平出羽守 島根郡片江浦ノ内笹子 氏子中

7 森山村横田神社并二合殿美保神社

一棟札

壹枚

奉造替島根郡美保郷南浦美保大明神御

社 一字天長地久之所當地頭藝忍仁保宮内大輔平

朝臣元棟時代官森脇木工助藤原春保本願也

神主佐々木安房之助天正十年壬午五月吉日

一棟札

壹枚

奉造立美保横田両大明神御神前一宇成就所

神主蔵太夫 天正十九辛卯年八月吉日

8 雲津浦諏訪神社

一棟札壹枚

9 美保関美保神社

一短冊

貳葉

和歌 水無瀬氏成卿御筆 寛永年間

後鳥羽帝御年忌祭 二付隠岐国御

陵工御勅使ノ節水無瀬中納言成

成卿當美保関ニ於テ御寄附

一御中啓

壹

錦画人物草木 十五本骨

一御装束

壹

茶金欄牡丹唐草模様當今丸

方二尺余ヲ存ス

一御烏帽子

壹

右三種 元弘二年三月

後醍醐天皇御遷島ノ際當港へ御

滞船被為在 美保神社ニ於テ四海泰

平王道再興官軍勝利可遂熟祈旨

御直之勅ヲ以テ美保神社ニ御奉納
相成其後宝曆十三年五月中社司横山
真清神祇伯白川資顕王殿江伺ヲ遂

ケ御烏帽子ニ修覆ヲ加ヘ社納

一翁面

壹 立六寸
横四寸九分

社司傳記ニ云

(天正年中近江国之湖水ニテ漁夫網

ヲ曳然ルニ此面網ノ中ニ入上ル時願

ナシ明年月日時刻ヲモ不違亦願網

ニ入上ル漁夫家ニ納置夢ニ告テ曰

此面出雲国三穗之社エ可納ト依テ當

社ニ詣来テ是レヲ寄進ス)

天正八年二月二十四日江州堅田山

岸彌助奉獻納

一面

二懸

内一面平太ト云

一面小尉ト云

立六寸二分
横四寸六分

立六寸五分
横四寸二分

社司傳記ニ云

毎歳七月七日日本殿虫探之神事ニ此面

ヲ懸ケ乱舞ノ式有リ

(但往古ヨリ當社ニ傳所ノ面元龜年間

尼子義久隱岐京極判官戰爭ノ際

尼子ノ臣山中鹿之助等火ヲ本社ニ放

ツ争乱ノ節火燹ニ野ルト云フ然ルニ

此二面當所本井太郎三郎家ニ古クヨ

リ傳フ所家ニ祟リ有リ靈夢ニ依テ
寄進ス尤モ古作ニシテ殊勝也云云)

天正十四年七月

美保関 本井太郎三郎奉獻

一棟札

一枚

文祿五年丙申五月吉辰

神主 横山右京太夫

國主廣家朝臣

代官

綿貫次郎兵衛
宗實次郎左衛門

棟梁 静間長左衛門

大工
佐伯善兵衛

鍛冶 六良左エ門

一太鼓

一挺

地金模様桐蒔絵 丸経一尺一寸二分

筆記筒内赤松代浦上掃部助村宗致参洛

大永三年未癸十二月十七日為赤松中於右京

太夫殿高國御屋形御成之時觀世

太夫就能仕次郎太夫国忠太鼓調繩可用淺

黄色旨上意之趣勢州貞忠為御使對右京

大夫殿申被仰出之通以太田對馬守保定被仰

下國忠良其日能太鼓仕訖淺黄相調掛事者前

代所不聞未來亦可稀誠以此通之名譽不

可過之間為後証所注置也、

右如此注付可与國忠旨右京太夫殿依御

意、染筆遣候者也、

享祿四歷 次郎太夫國忠入道

卯
辛 九月十八日

宗搦 [花押写]

松丸全井上二郎左衛門

明治四年九月

從四位 松平定安侯御寄附

一鹿ノ角

一双

異類大角一

壹尺五寸枝五
壹尺壹寸枝六

社納年代不詳

献主 尼子長臣山中幸盛

10 福原村新宮神社

一棟札

壹枚

但文祿三年拾月十四日建

神主石川大藏太夫

本願石川大藏太夫 福田又次郎

11 朝酌村下神社

一棟札

壹枚

天正十二年十月吉日

奉建立多賀大明神御社 一字毛利中納言大江朝臣
輝元

宮奉行秋上幸道 大柰宜水檢校源中繼

12 大井村大井神社

一棟札

一枚

天正六戊寅八月本願神主治部大夫

久次時之地頭藤原朝臣野村宮

明治十七年調
社寺宝物文書目録
島根県大原郡 上

〔大原郡

神社寶物古器物古文書目録

島根縣 〕

1 東阿用村阿用神社

一棟札

十一枚

一文明二〔宋書〕 諸〔此所字消〕 奉造立劔大明神棟〔此所不ク字ナシ〕 □雲

州大原郡阿用庄神主藤原朝臣古瀬雅樂〔宋書〕 以下字消

源朝臣佐々木〔宋書〕 以下不ク字字消

一天正十六年戊子霜月奉修造劔大明神社頭藤

原朝臣神主古瀬治部大夫信久大檀那源朝臣三

澤下野入道宗程代官源朝臣三澤治良左エ門為景

藤原朝臣勝部左エ門清政番匠役人景山新次良

2 岡部八幡宮

一棟札

拾貳枚

文明十七年十月廿八日 此他文字不明

天長六年福田次郎左エ門久次 此他文字不明

3 加茂中村賀茂神社

一棟札

拾二枚

一天文三年三月五日

大檀那當城高麻城主鞍掛近江源久光

神主岬田左京大輔源慶次

一天文捌年仲冬上吉日

大檀那佐々木伊豫守源經久神主友政帶

刀藤原為佐

一天正十八年六月二日

地頭藤原朝臣山内廣通神主岬田

左京大輔

一劔

一口

長六尺三寸装具ナシ銘痕アレトモ消滅シテ

明カナラス寄附人高麻城主鞍掛

近江ト傳フ年月不詳

一甲冑

一幅

札威シ 毛等古物ニシテ明カナラス

寄附人鞍掛近江ト傳フ年月不詳

4 南村海潮神社

一棟札

十一枚

天正九年巳十一月再造信心之大主神中澤

牛尾大藏左衛門春信御祈願所神主仁

田平治兵衛藤原重正

5 上久野村鎌倉神社

一棟札

拾二枚

天文二十四稔乙卯十一月廿一日奉再造大原郡久野郷

鎌倉大明神源佐々木朝臣尾張守慶信大中臣

朝臣長谷右京永経重本願徳城

信神主中西孫四郎本願徳藏惣代官山田六郎

右子門尉代官石橋四良右子門

9 下久野村国魂神社

一棟札

十二枚

永正五奉造立三体妙現社肥後守

天文六丁酉九月奉上棟三躰妙現社神主藤井神

六兵工

6 山方村八幡宮

一棟札

一枚

文祿五丙申三月吉祥日當地頭長野右衛大夫長冬

神主北川和泉守組頭高橋次郎左衛門

10 上佐世村佐玉神社

一棟札

壹枚

天正元年酉九月拾二日神主高橋五郎左衛門

願主上下佐世村氏子中

7 小河内村河原神社

一金幣

一箇

但真銅天正二年乙未年

牛尾領主神中澤豊前守殿ヨリ寄附

銘川原神社神中澤豊前家壽

天正二年乙未歳七月吉日如意満足所

11 宇治村宇能遅神社

一棟札

壹枚

天正十八年庚子二月十一日佐世ノ庄藤宴之朝臣重

延堀江治郎左衛門神主高橋五郎左衛門

一棟札

壹枚

8 下久野村八幡宮

一棟札

十五枚

延徳三年辛亥八月奉再建正八幡宮地頭大中臣中

部為経神主藤井

永正十六年奉修覆八幡宮地頭大中臣朝臣為経

神主藤井

天文十八年己酉九月九日奉造立八幡宮地頭源朝臣慶

12 下佐世村狩山八幡宮

一棟札

九枚

天文二十一年 地頭土屋大和守平 此分文字不明

紙地豎一尺五寸横一尺画像彩色在テ各面上部ニ

一首ノ歌アリ所謂三十六歌仙ナリ裏面ニ慶長四

一棟札

三十四枚

年閏三月佐世伊豆守正勝自画自書ヲ以テ本社

ニ奉納ノ明記アリ後天保四年四月三谷清久

其損缺ヲ修飾シ今ニ之ヲ保存ス

一獅子頭

一頭

本地黒塗亘リ二尺四方裏ニ永正十八年九月九

日作人米田源吉寄附人佐世伊豆守源正勝

新ニ本社ニ奉納スルノ明記アリ

一罌口

一個

唐金地亘リ八寸三方重量一貫十匁鑄文無シ

作人無銘慶長四年閏三月吉日佐世伊豆守

源正勝新鑄本社ニ奉納ノ記銘アリ

一棟札

一枚

大永八年子八月十五日大願主佐々木朝臣為

德神主晴木善左エ門豊久奉行米田宗兵衛

一棟札

一枚

文祿第四癸未秋八月十五日源朝臣佐世伊豆守

正勝

良材支厦威風動幡築假山蓬萊開壽域祭宗

祠於宇佐以建武門假山人幡宮者予先祖々廟

而一日可無祭祀雖然荐年以往不加修鳳宇

為風雨被廢矣予自幼歲出奔于他邦憶之

雖在于茲默而止之予久侍藝陽賢太守抽軍

功之餘辱領佐世之本地盡遊之榮勝華裏之

賜蓋神感之所保也以故輪々焉困々焉畢落

成之功云

裏面 佐世七郎兵衛息信濃守為德佐世

越中守幸勝次男石見守元嘉神主晴木右門

太夫

13 下佐世村白神八幡宮

一古文書

一通

應安二年三月十五日國主京極家宰山田宮内丞勝秀

大津左衛門尉清秀連署社領寄附証文筆者不明

一古文書

一通

尼子經久三男塩谷興久自書源頼朝建立八所八幡ノ順

序明記年号不記二月日佐世檢校宛傳來詳細不詳

一棟札

一枚

弘安三年以下文字不明當山佐瀬神社素戔嗚尊鎮坐地也以下文字
虫喰不明

14 三代村御代神社

一尾留大明神社記録起書

壹卷

文龜元辛酉三月撰者ハ不明筆者ハ古瀬上総明和二乙

酉神在月書寫

一棟札

拾貳枚

奉造立供養尾留大明神御社天長地久御願圓滿

皆令満足所也地頭下笠源四郎雲州大原郡三代庄大津

於村如此志

永正拾年癸酉十月七日

15 三代村日吉神社

一日吉神社傳記

一卷

文明三辛卯仲夏撰者ハ不明筆者ハ古瀬上総清簾
明和三丙戌五月書寫

一棟札

八枚

大日本國出雲州大原郡奉統一宮者也
佐々木源朝臣秀綱神中澤清忠神主等別火

永録四曆辛酉九月廿八日

16 里方村日宮八幡宮

一棟札

壹枚

永禄十一年神在月十八日神主 以下虫喰ニテ文字不明

17 立原村須美祢神社

棟札

拾一枚

一天文七年戊戌菊月十四日大檀那佐々木新四郎源久豊代

官松尾右馬尉橋朝臣重久惣奉行平井神兵衛尉久秀神主波田野

五郎兵衛伊知平井新兵衛大工波田野四郎右衛門鍛冶長谷川善兵衛

一永録三年庚申霜月念八日 大壇那源朝臣飯沼立原備前

守幸隆神主波田野新左衛門

18 猪尾村猪尾神社

棟札

七枚

一天正四年丙子十一月初五日 領主宍道兵庫助

国清公神主春木又五郎本願深

田源左衛門

19 砂子原村比和神社

棟札

拾枚

一永正十五戊寅三月 人名不明

20 幡屋村八幡宮

棟札

拾三枚

一貞治四乙巳歳神在月十九日神主藤原朝

臣齋藤巖島 右之外文字難見候

一天正十八年庚寅十一月五日 大壇門宍

道備前守政慶代官平田屋佐渡

守家秀本願菟田十兵衛丞忠幸大工

松浦新兵衛幸次神主齋藤民部

21 諏訪村須我神社

一鑿ノ則

長サ二尺壹寸六歩經リ二尺八寸内平ノ

銘二天正二年甲戌七月廿七日願主神

中澤豊前守家壽花押有リ内方

きのとひつし大いく田中二らうさへ

りんせう山大く山衾けんひやうへ

一玉

一

海潮三笠山ノ城主神中澤大蔵左衛門

殿服中ヨリ吐出シ玉ヘル玉ナリ大サ小

豆ノ如ク量目不祥

一弓

黒塗弓銘ニ神中澤牛尾大蔵左

衛門寄附年月不明

一燈臺

高サ壹尺二寸五歩臺ノ横壹尺二寸

壹歩ノ質鐵銘ニ奉寄進燈臺誼

訪大明神御寶前願主神中澤牛

尾大蔵左ニ門春信于時天正八年

一昇足

但湯立ノ金輪ト云フ鉄ノ三足アル金

輪ニシテ量目壹貫三百六拾目年月不明

一刃

長サ壹尺九寸七歩白鞘入無銘ナリ

右両品ハ三笠山ノ城主ヨリ寄附年月不明

一刃

長サ壹尺九寸三歩白鞘入銘ニ備苧長

船忠光明應九年二月日ト有リ神中澤

豊前守寄附年月不明

一刃

長サ九寸白鞘入銘ニ三条小鍛治宗近

神中澤豊前守寄附年月不明

一鎗

長サ六寸八歩柄ナシ黒鞘入無銘ナリ

神中澤牛尾大蔵左ニ門寄附年月不明

一棟札

拾壹枚

天正三年亥十一月廿七日大施主神中澤

豊前守家壽同苗大蔵左ニ門春信

別火中山信助源秀定

慶長三年七月廿七日牛尾神中澤

五郎左ニ門尉長保同舎弟孫一家政

神主別火源太夫長秀

22 金成村大月神社

一棟札

天永六年丙戌十一月十八日奉造立大月大明宮御

遷宮地頭金坂越前守源昌信神主入江善兵エ

天正十三年乙酉五月十四日奉造立大月大明神御遷

宮地頭藤原朝臣山内新左ニ門尉隆通神主岩佐

藤次郎代官稲田孫十郎

23 篠淵村等々呂神社

一棟札

天文二年卯十二月初七日奉造立氏神護魔之

一社檀一宇 施主新田次郎兵エ

天文二十年亥二月廿八日奉造立氏神御玉

之社一宇

24 清田村雜社熊野神社

一棟札

十一枚

天正十一年未四月十五日奉上棟岩根村熊野三

社権現 一字代官次山市 ■神主藤原朝臣坪藏

三郎次郎房清

25 清田村西利太神社

一棟札

七枚

貞和二年壬戌十月廿五日奉建立延喜式社

西利太神社 一字馬田右京守修覆謹按鎮

護祠官茅原主米正藤原朝臣清正本願城

主馬田右京守本願藤原朝臣安部吉清庄

屋安部六右 子門年寄次郎右 子門

26 木次村來次神社

一棟札

壹枚

天文三年九月大壇那源朝臣千滿丸

27 南加茂村貴船神社

棟札

一 天正丁亥十五年十一月十二日御地頭山内少

輔社司越前

〔寺社史料30 仁多郡 神社〕

明治十二―十七年調

社寺宝物文書目錄

島根県仁多郡

〔仁多郡

神社寶物古器物古文書目錄

島根縣

1 高田村小森神社

一棟札

壹枚

天正拾壹年 辛未 九月廿九日

地頭三澤少輔八良為虎

導師青瀧寺法印快乘

名主横路六良右 子衛尉慶次

大工都間三良左 子衛兼 ■

代官三澤源太郎為諷

神主小林宮内

一位職佐伯式部太夫慶真

2 中村八幡宮

一大弓

但作者 寄附人 □□

二張

三澤為清同為虎 □弓 天正六年ノ度

一棟札

一枚

弘安四年 辛巳 卯月十五日 庚辰 棟上畢

御願主地頭平氏三所比丘尼妙音

神主湛心惣檢校左近將監藤原久光

供僧別當僧圓長

御代官左衛門尉藤原朝臣助秀

御代官沙弥明性

大工秦有清
藤原水清

一同

一枚

至徳二年乙丑二月七日新始同八月十日遷宮

御願主地頭源伊豫守時義

御代官左衛門尉紀朝臣宗綱

八幡宮神主藤原朝臣沙弥持栄惣檢校

長慶代官 供僧別當律師湛慶

大工田中兵衛
藤原光家

一同

一枚

永享十一年己未八月十日棟上正遷宮

御願主地頭源信濃守為忠同源三河守清泰

御代官勝部沙弥本了

惣檢校權少僧都慶圓

神主紀三良右衛門秀次

供僧別當權少都宗鎮

大工藤原新五郎泰秀

一同

一枚

文明八年丙申六月廿七日新始

御願主地頭飯嶋源左京亮為忠

御代官中林右馬允為繁

惣檢校權大僧都真乘

御奉行源琴枕源兵衛吉房

神主紀四良兵衛秀重

大工井本六良左工門

一同

一枚

永正十七年庚辰六月十三日棟上正遷宮

御願主地頭飯家遠江守為忠息次郎四郎

為國 代官坂本三良兵衛忠次

郡奉行中林源兵衛中林上総守村上木工允

惣檢校權律師良順

大工井本与五郎
高橋与三右衛門

一同

一枚

天文十一年壬寅卯月□□□棟上正遷宮

地頭三澤才童子丸

中村御代官落合又三良為貞

導師岩屋寺院主大阿闍梨權大僧都法印

惣檢校正乗坊快順供僧當別權少都□□

奉行成田和泉守秀久

同 村上助右工門尉頼重

大工井本六良右工門
小工都乃將監

一同

一枚

永祿三庚申十二月三日棟上正遷宮

御地頭京極修理大夫源晴久

御代官三澤左京亮源為清馬来宗右工門

尉橘久綱 御奉行本城神藏人允大宅吉種

岩田惣左工門尉藤原忠重

導師岩屋寺院主大阿闍梨權大僧都法印良賢

惣檢校正乗坊秀海

神主田中和泉守感秀

一棟札

一枚

天正十四年^{丙戌}七月十九日棟上正遷宮

御地頭三澤佐々少輔八良為虎

御隱居下野入道宗程

中村代官三澤七良兵衛為誼

奉行石原肥前守清善落合掃部

兵衛尉為下奉行渡邊源右^三門為

藤岸助右^三門道次

神主田中次良兵衛信秀

大工井本六良右衛門

3 横田村惣荒神社

一棟札

壹枚

天文十八年^{己酉}八月廿二日遷宮

檀那溝尻清兵衛吉久

導師岩屋寺院主快義池本坊快秀宥榮

神主—— 不分明

4 横田村伊賀多氣神社

一棟札

一枚

天文二十年^{辛亥}十二月十九日遷宮

地頭森脇山城守家貞

奉行別當善右^三門尉重盛奉行^{大權次郎右衛門尉久重}

神主東大輔助三郎從五位下

導師岩屋寺院主大阿闍梨快義

大工井本^三郎右衛門秀續

一棟札

一枚

元龜^三〇〇〇〇〇〇有月十一日遷宮

地頭^三〇〇〇〇〇〇清

神主^三〇原^三部助

其外不分明

5 三澤村三澤神社

一棟札

拾八枚

貞觀年中御神階被為在候得ハ以前建立之

棟札等モ可有儀然ル雖モ方今調査スル不能

乾元^{癸卯}十月五日當社檀於地頭沙弥定意願主造立之

次當社檀建武四年^{丁丑}三月五日於沙弥喜願主令造立之者也

神主源長定次所大森大明神御社檀正平十一年^{丙申}惣地頭

信濃守源朝臣為常令願主者也

奉造立大森大明神御社檀并拜殿

次應安二年^{己酉}十二月九日 願主正覺神主常定

次應永三十五^{戊戌}十月吉日 願主惣地頭信濃守為忠

次文明十年^{戊戌}十月廿七日 願主惣地頭左京亮源朝臣

為忠奉造立者也 神主陶山三良左^三門源義清

奉行 若狹守源為秀
九良兵^三源為明

于時文明十年^{戊戌}十月廿七日 神主陶山三良左^三門源義清

作事奉行 若狹守源為秀
九良兵^三源為明

願主惣地頭源朝臣為忠

奉造立大森大明神御社檀

拜殿

右意趣者為天長地久御願圖〔マシ〕滿殊者大壇

越息〔災〕延命子孫繁榮御領靜謐富貴自在也

筆者法印看高

于時永正八年辛未

作事奉行 因幡守源為明
新右工門尉為実

願主惣地頭源朝臣為理

奉造立大森大明神御社檀 拜殿

神主陶山三良左工門慶清

大工高橋与三右工門清秀

十一月廿八日

〔甲略〕

元龜三天壬申

神主陶山佐渡守源貞清
攀取馬馳村石原与太郎源義孝

奉行 河越帶刀源吉重
安井源右工門藤原重久

奉造營大森御神殿宇願主三澤左京高源〔マシ〕為清

奉行 惣代官日次良左工門源為景
松井若狭守源為氏

大工都万将監源忠綱

三月十日

6 下阿井村八幡宮

一棟札

一枚

文錄二年癸巳十月廿日 地頭毛利宰相公

大江輝元建立

7 湯村宮原神社

一棟札

一枚

永錄〔祿〕六年癸亥十月吉日地頭三澤左京代官野尻彦兵衛

神主藤原某不詳

一棟札

一枚

天正十三年酉九月十九日地頭源朝臣為虎神主勝部兵部大夫

8 平田村石壺社

一棟札

一枚

永正十三〔丙〕子年源朝臣飯嶋為光神主橋朝

臣重清他ノ人名板朽テ不詳

一全

一枚

天文三甲午年永祿七甲子年慶長九甲辰年

慶安元子年右四枚板朽テナシ

9 三成村八幡宮

一棟札

一枚

奉棟上八幡宮嘉吉三年四月十五日 願主

沙弥覺了同沙弥源覺奉行沙弥本眞沙弥正金

一棟札

一枚

于時延徳三年〔辛〕四月七日

信心大旦那源義綱

一棟札

一枚

千秋万歳新造安樂宮于時永正七年〔辛〕八月十七日〔辛〕

且那源為理同為盛源為乘源為信

一棟札 一枚

奉造立舞殿地頭三澤少輔八郎為虎代官治部為慶

天上七年^{己卯}年十二月五日神主源延貞

一棟札 一枚

奉再興八幡宮御社地頭坪井彦兵^工平朝臣親友神主

夏海右京大夫源朝臣延貞文錄^録四年卯月十九日遷宮

導師高田寺隱居權大僧都快乘法印本願^{并本宗左^工門}

10 竹崎村黒鳥神社

一棟札 壹枚

大永三年癸未閏三月六日遷宮地頭三澤遠江守

源為忠息治良左^工門尉為國大願主大龍奄鷹

天宗俊書記大工井本與五郎藤原秀續小工羽田

野三良左^工門鍛冶井上與三兵衛源吉久從是

前宮焼失棟札等無御座候

一棟札 壹枚

永祿三年^{庚申}十月二日遷宮地頭三

澤左京亮源為清導師岩屋寺妙音院

良賢神主田部藤治兵衛平吉久當

庄大工井本六良右^工門藤原秀續三澤

大工棟梁都万将監源忠綱

11 八川村八幡宮

一棟札 一枚

雲州横田庄尾園村本元八幡宮棟上建久七年丙辰九月

十四日御遷宮畢源頼朝神主平井孫十郎根義別當

一同 一枚

雲羽横田庄尾園村本宮八幡宮御棟上^享亨祿三年庚寅十二

月廿一日地頭三澤信濃守源為國丁亥歲當村代官舍

弟為隆息百千代神主孫十郎

一同 一枚

雲羽横田庄尾園村本宮八幡宮御棟上天文四年乙未

林鐘十五日同御遷宮地頭三澤參良左^工門源為幸當村代

官為幸舍弟為隆遷宮導師岩屋寺之内權律師

宥澄神主足立彦次郎

一同 一枚

雲羽横田庄尾園村本宮八幡宮御棟上天文八年^{己亥}

七月廿三日地頭三澤三良左^工門源為幸息^丁酉歲神主

足立久家遷宮導師岩屋寺院主法印快圓

一同 一枚

雲羽横田庄尾園八幡宮天文廿二年癸丑九月十一日遷宮

導師岩屋寺院主快義地頭多山新兵衛通續代官

白根隼人佐續久奉行森帶刀左^工門為久神主足立

七郎左^工門久家

12 稻原村天満宮

一棟札 一枚

天文十三年^{甲辰}六月十一日御棟上同御遷宮

記名写 導師岩屋寺快円

地頭尼子民部少輔晴久

當村代官本田家吉

神主安重并諏訪祝代宗吉

大工井本六右エ門秀續

小工田辺忠吉

右裏書古札ニテ不詳

一同

一枚

永録八年己丑十二月朔日御棟上同遷宮

導師岩屋寺院主良賢

地頭三澤左京當村代官石原宗右衛門

下代祢六本願六郎兵エ

神主足立宗左衛門久續諏訪之祝代

木山右エ門秀吉

右裏書古札ニテ不詳

〔寺社史料³³ 島根・秋鹿・能義・仁多・大原郡・寺院〕

明治十七年調

社寺宝物文書目録

島根県能義郡島根

大原郡 下

〔島根郡

寺院寶物古器物古文書目録

島根縣

1 上東川津村真宗西宗寺

一文書

葉倉城主多賀彦三郎元忠筆

天正十一年正月廿一日敷地奇附之古証文

壹通

〔秋鹿郡

寺院寶物古器物古文書目録

島根縣

1 濱佐陀村真言宗滿願寺

一掛物

十六善神絹地金色古画無銘印

壹幅

唐筆下云傳 毛利元就公 姓名不詳 御寄附 年月不詳

2 莊成村真言宗成相寺

一古証文

拾七通

内

應永三年二月九日 中興秀実證文
後子伊予守裏書

田畑反別町教書

至徳二年四月廿七日地頭職御證文

永録七年五月廿四日領分書立證文

永録十年六月廿六日毛利元就公御判物

反畝打渡書

天正四年十一月朔日毛利輝元公御判物都合四通

十一月四日 毛利元春公御判物

正月十六日 毛利元康公御判物

永正七年十二月十四日井上掃部之助 地所
亮券書

永正七年三月十六日井上隼人 地所
亮券書

天正十一年七月八日毛利元康公御判物

慶長五年九月廿一日境内御康公御判物

寛永十二年二月 山田源次郎
福永与右衛門 竹木寄附証

拾七通

3 古浦臨濟宗海禪寺

一罇口

壹口

彫文奉施入古浦巡禮堂福田市四之

康正二丙子
七月八日 事領主平祢猷 敬白

傳來不詳裏面海禪寺トアル

「能義郡

寺院寶物古器物古文書目錄

島根縣

1 富田村真言宗巖倉寺

一文書

一本

巖倉寺本堂再建勸進狀撰者巖倉寺

住職大僧正整海筆者仁和寺住職一品親

王尊道 應永十九天曆子丑夏日

一鉄燈籠

一釣

地金鉄高サ七寸廻り二尺 銘曰雲州能義郡

富田庄岩倉寺觀音御寶前祈念二宮兵助源

長正寄進宇波大工賀藤善兵衛作源久宗

于時天正二十年二月吉日 欽言

2 安來町天台宗乘相院

一略縁起

壹卷

承和年中慈覚大師帰朝ノ際御波ノ難ニ遭ヘ

給ヘ騰持ノ三鉢杵ヲ海中ヘ投シ聖觀音ノ靈驗ニ仍テ無

事ナル事ヲ得 ■ ■ラ靈像ヲ略赴シ給ヘシ云々撰者筆者年月不詳

3 利弘村真言宗光明院

一棟札

一枚

〔梵字六字〕御棟札御尊神社佛閣御供養金輪聖實作延長

〔梵字十一字〕

慶長五庚子歲 御家中榮役国土宏穩 導師岩倉靈寺
三月廿八日 當處廟主家内安全 以下虫喰不祥

4 田頼村真言宗養淨寺

一再建 棟札

一枚

慶長四年亥三月四日 住職賢栄代

5 清井村臨濟宗雲樹寺

一縁起書

壹卷

孤峰味尚行実録正平十七年壬寅十月廿四日

小師比丘河南聖珍記焉國濟三光國師塔銘

杭州府南山淨慈報国心禅寺住山廷俊撰

塔銘ノ序ニ云ク師既寂之八年其得度弟子

蒋山以仲烈次師行状為銘其塔云々師ノ

示寂康安元辛丑歳ナリ

一文書

四通

後醍醐天皇宸翰十一月七日二月十七日

六月五日ノ三通ハ并ニ御書判有リ一通ハ

月日御書判共ニ御記載無シ天皇

伯州船上山ニ駐駕シ玉フ時詔シテ覺明

講覺明 號孤峰ヲ行在ニ石シ法要ヲ宜問シ玉フ奏

對大ニ聖衷ニ愜ヘ衣盃盃戒法ヲ受ケ玉フ

大駕帰洛ノ後数宸命ヲ奉ス

一文書

貳通

後村上天皇綸旨壹通ハ勅願所ノ綸旨ニシテ

興國二年十月十八日右中將ノ判壹通ハ造

宮料ノ綸旨ニシテ正平八年五月廿二日左

將辨ノ判

後村上天皇先蹤ヲ追襲シテ奨待踰量

帝及皇后太子俱ニ衣盃戒法ヲ受ケテ更ニ

三光國師ノ徽號ヲ加ヘ賜フ

一文書

壹通

義政ノ證文寛正二年十二月五日守護使

不入ノ證判ナリ

一文書

壹通

右京大夫ノ證文寛正二年十二月五日使者

入部ノ證判ナリ

行実ニ云師董洛之妙光則京師ニ道洛争

先羅拜前將軍源相公兄弟嚮師道風

改後鳥羽院古厩欲成寺命師為開山第

一祖再三諸之不可夜竊遁去云々後義持

義政等亦師ノ遺徳ヲ感シテ信仰セラル

一文書

壹通

前万壽伯嚴■殊楞ノ書ニシテ義持公證

判ノ添書ナリ

一扁額

壹面

豎三尺五寸横五尺 後醍醐天皇ノ勅額ニシテ

山門ニ掲ク行実録ニ云元弘初天下離乱

明年鳳輦幸於伯州船上山仍延師問道

以至奉授衣盃戒法皇情大悦特賜雲樹

國濟國師徽號宸翰矣方符瑾和尚記

前也又奏寺額賜天長雲樹興聖禅寺云々

又日本高僧傳ニ云ク元弘初年後醍醐帝

狩伯州詔召行在受戒法衣盃特賜國

濟三光國師之號親齋宸翰賜天長

雲樹興聖禪寺云云共ニ短簡ニシテ年月

不詳

一鐘

高サ二尺五寸周匝四尺六寸八分周圍ニ五六ノ天

女各自ニ其器物ヲ持シ浮雲ニ乗シテ樂ヲ

奏スルノ模様アリ旧記ニ云島田村有居士

宗順者応安七年秋一夕夢中有人來告曰

吾崇奉三宝尚矣吾在一箇巨鐘可以

授典居士投於雲樹永以為法器則我

願足矣居士明夜如其所言果去水際

五十步許有異光如一月浸波心即謀

邑人得之傍彫刻捨入雲州瑞塔山天長

雲樹興聖禪寺応安七年甲寅十月一日

願主宗順之二十有九字以投於本寺云云

6 清水村天台宗清水寺

一文書

八通

毛利家ヨリ清水寺大寶坊エ贈ル所ノ書簡

元就三通輝元二通元春一通元秋二通

一銀小判

四枚

竪貳寸四分五厘横壹寸三分量目壹枚三匁五分三枚

四匁鑄文無之傳來不詳 年月寄附人不詳

一文字銀

壹箇

竪壹寸五分横七分量目五匁鑄文常是文字銀五匁

ト有之傳來不詳 年月寄附人不詳

一古銅印

壹顆

鈕印文左ノ如シ文政年間出雲國安來十神山ニ

拾ヒ獲ルモノ同所並河理二郎寄附

寸法図ノ如シ

〔銅印側面図〕

〔銅印〕

仁多郡

寺院寶物古器物古文書目錄

島根縣

1 中村真言宗岩屋寺

一縁起合古記

四通

當寺先住 祐円祐源二代之筆記康永年中撰者不詳

一卷

當寺先住 弘円之筆記貞和年中撰者弘円

一卷

當寺先住 快圓筆記永正年中撰者快円

一冊

當寺先住 快圓筆記天文八年八月撰者快圓

一卷

一文書

三十四通〔中世28通〕

一書 後伏見天皇御宸翰

壹軸

紙地御詠草四首 御諱アリ安永八年九月神田定常極

札相添寛政九年三月當莊竹寄村ト藏甚兵衛正恩之ヲ寄附ス

一画

十六軸

楊柳觀音

一軸

絹地彩色画唐張思恭筆二位尼將軍ノ寄附延宝四年八月廿三日雲

隱兩州太守松平出羽守源綱近公表装

兩界曼茶羅

二軸

絹地彩色画筆者不知正中式年二月二日住泉浦比丘知元開眼表装口江之錦

一寫經

卷部二卷 一帙

弘法大師ノ筆法華經高野山伽藍再興幹事木食應其上人所持慶安二年五月同山無量壽院門道法印大和尚位遷榮寄

附

一扁額

二面

八島合戦ノ圖相模住人宮崎源介兵法修行中筆

天文十三年三月十四日野尻彦兵衛義久息才

松丸ノ為二面三沢ノ息才童子丸ノ為二面

一棟札

三十八枚

一大師堂建立棟札

一

天文七十二月當地頭三沢三郎左衛門為幸也大師并

御影堂本願石原伊賀守義扶逆修也粵義扶之

息花窓常榮為菩提也大工井本六郎右工門秀統

院主快田并奉行教藏坊秀鏡

一本堂上葺棟札

一

天正六七月二十日地頭三澤少輔八郎源為虎公御

親父左京亮為晴公代也中村代官三沢源太郎

為誦年行事教藏坊大貳公當寺坊中住持之事

親乘坊兵部卿宝泉坊泉春遍照坊刑部来福

坊快尊山本坊快重池本坊快世妙音院良雄金

剛院頼雄榮門坊快賢大宝坊快翁常泉坊乘

敬光照坊少将賢光坊大納言正乘坊快憲妙宝

坊宮内卿妙乘坊快宥大門坊榮道院主快慶

一若宮造管棟札

一

永禄三年十二月三日御地頭京極修理大夫源晴久

御代官馬来宗右工門尉橘久綱森脇治部尉

久家三沢左京亮源為清御奉行藏春院并

春榮本城神藏舍種岩田宗左工門忠重長谷川○

○秀綱周藤七郎兵衛○供僧別當山本坊快重

惣檢校正乘坊秀海神主田中和泉守盛秀大工

井本六郎右工門尉秀統棟梁重取四郎兵衛尉

院主良賢

一本堂上葺棟札

一

天文廿二年六月朔日御地頭尼子民部少輔晴久

代官森脇山城守家貞上葺檀那溝尻清兵衛尉

吉久飯米旦那千原與三兵衛勝久釘之旦那溝尻

次郎右工門裏板旦那松寄太郎右工門大工井本

六右工門尉秀統年行事杉本坊快真此時之住持

妙音院良賢来福寺尊真大重坊快弁山本坊

快尊池本坊快秀正乘坊秀海妙乘坊長田養

門坊秀尊岩本坊真英金剛院名代教印賢

光坊名代 院主大林坊快義

一大師堂建立棟札

一

文禄四年十一月二十一日御地頭杉少将右工門尉信

亮也施主快世妙音院良雄金剛院頼雄教藏坊

頼円山本坊頼春空円順識正乗坊快憲二位快
香本願空演行栄順識快宏大工中井助右衛門
尉院主快世

一燈籠

一箇

銅目方壹貫四百目

内大臣豊富秀吉公慶長十四年丙寅五月
之銘アリ安政六年六月卜藏甚兵衛正恒
為菩提ニ寄附ス

2 亀嵩村曹洞宗総光寺

一文書

一軸

但シ後陽成院御宸筆也紙地寄附人京都府上京道正町元道庵第十九世

寛文十一年八月二十八日 法眼藤原徳幽

一開山不見和尚袈裟

一衣

但シ通幻禪師ノ傳衣ニテ是ヲ世ニ両請ヒノ袈裟ト申傳

猥ニ不出常ニ秘藏シ靈寶也年号不詳

一画

一軸

但シ達磨大師尊像也 雪舟等揚ノ真筆紙地墨画也

年号月日不詳

寄附人名不詳

一文書

二通

但シ不見和尚ヨリ二代目見貞和尚江讓狀ニシテ開山直筆也

應永四年八月十五日

一開山行状記

一卷

但シ開山不見和尚一生中之行跡ヲ記シタル書也其年月不詳

一文書

一通

但シ三澤家三侯在判書物

年号不詳

一文全

一通

但シ三澤家代々法名書附

年号不詳

全

3 横田村曹洞宗晋叟寺

一文書

老軸

義貞<sup>新田ト
申傳</sup>文章

老通

年号不詳八月四日傳來不詳〔中略〕
以上拾四通老軸ニシテ有之候

「大原郡

寺院寶物古器物古文書目錄

島根縣」

4 清田村曹洞宗長安寺

一棟札

老枚

奉再建立當伽藍源溪山長安寺

佛殿老宇事

住持再大開基大比丘尼直谷本心和尚

本願 正覺比丘尼

本覺比丘尼

檀那源朝臣信乃四郎左エ門尉隆義

同源氏女法名光祐

大工陰頭阿弥

皆正和二年癸丑二月十四日手斧始之同

四月廿六日柱立同三年庚寅十一月十五日上棟

一棟札

壹枚

奉再興住持中興開山前真如伯隣

和尚大檀那豐富朝臣毛利大納言輝元

郡司兎玉左 了門良勝

多根和泉守春房

大工藤原朝臣山本久右 了門勝次

棟梁藤原之町原新右 了門勝陽

皆文祿四年乙未三月廿七日

〔寺社史料48 出雲郡 神社〕

明治二十七年調

社寺宝物文書目錄

島根県出雲郡上

〔出雲郡

神社寶物古器物古文書目錄

島根縣

1 上直江村八幡宮

一棟札

一枚

天正六年戊寅十月二日遷宮 稲田因幡守外廿六名

2 下庄原村佐支多神社

一棟札

壹枚

永正十五年寅三月十三日源慶勝神主錦織

右京清次

一棟札

壹枚

天文七年 戊戌十月晦日源朝臣塩治之里

田山城守久勝子息新五右衛門 下文字崩

一棟札

壹枚

天正十一年 癸未仲春十日大旦那藤原朝

臣天野元明本願持田刑太夫同彦次郎

明道代官湯川新五右衛門尉重次神主
錦織右京清次

一棟札 壹枚

文祿四年未花月初二日代官両三人神主錦
織右京進

6 宇屋神庭村諏訪神社

井藤六郎右三門岡才次

一棟札 壹枚

表面 (此所文字不明……)

奉造立諏訪大明神御寶殿 (此所文字不明……)

大工 (以下文字不明……)

裏面 亡 神主 (以下文字不明……)

于時永享拾一年二月二日 (此所文字不明……)

神 (以下文字不明……)

〔右筆〕
〔右届出洩ノ旨明治三十八年十二月二十八日届出〕

一棟札 壹枚

天文十三年甲辰霜月日不明本願祐廣着座

一棟札 壹枚

天正十一年月日並人名不詳

4 名嵐村御名方神社

一棟札 壹枚

天正八年辰十月三日 造營

神主與次 代官木原佐渡守

一同 同

慶長三戌六月十一日 同

神主山本民部大夫役人助三郎

5 富村富神社

一棟札 一枚

宝治元丁未三月祭司花田宮司藤原俊元本願

7 沖洲村八幡宮

一棟札 壹枚

永祿貳年辛酉耆首二日並地頭佐々

木完道次郎神主足立神左衛門藤

原友吉大工多久和助左衛門清慶

代官塚藏助衛門平清朝

一棟札 壹枚

天正十一年癸未神在月初三日吉祥日

御地頭佐々木完道八郎政慶神主

足立神左衛門藤原友吉□□西郷

宗次兵衛大工多久和助左衛門清慶

一棟札 壹枚

慶長三年戊戌十二月三日御奉行

佐世石見守米原市之丞佐野太郎

衛門遠藤与三右衛門代官吉河近松代々

神主足立次郎左衛門大工多久和

甚兵衛

一棟札 壹枚

永録録十二年己巳卯月十六日祠官福和泉守家

廣大旦那米原平内兵衛尉本願山中弥二兵衛

大工多久和與四郎新宮與左子門

一棟札 壹枚

文録録元年壬辰七月廿六日祠官錦織民部少輔

藤原家次本願總百姓中大工多久和甚兵衛

8 上荻原村御碕神社

一棟札 壹枚

天文元年壬辰十月一日村中頭取曾田作右衛門

本願荻原村中十二氏子一統

大旦那藤原朝臣天野元明遷宮師社司角土佐輔兼足

代官湯川新右衛門尉重次代官伊藤祖兵衛明種大工

藤原朝臣多久和助元重木挽織田佐右衛門清久

9 学頭村諏訪神社

一棟札 壹枚

天文八年己亥七月七日社司福間和泉守大旦那

米原新五兵衛本願池田治部尉

一棟札 壹枚

天文二十二年癸丑八月三日社司福間和泉守大旦那

米原平内兵衛本願曾田加平山中弥次郎大工

多久和神兵衛

〔等社史料41 神門郡二神社〕

明治十二丁十七年調

社寺宝物文書目錄

島根県神門郡上

〔神門郡

神社寶物古器物古文書目錄

島根縣

1 上島村杉村神社

一棟札

壹枚

寶治二年十一月四卯日神主杉村正紀社務人宮

原宣安本願主内田左中香本專十

一同

壹枚

弘治二年辰十一月中卯日神主三木道紀本願主池

西眞泰香本與左エ門大氏子杉谷伊平倉橋權六

一鏡

壹面

無銘形丸キ寸法七寸鑄文ナシ年月不詳寄

附主上之郷城主兵庫ノ介ト申傳其他傳來ノ

所由不詳量目百六拾五匁

境内雜社八幡宮ノ分

一棟札

壹枚

文明三年辛卯三月廿四日地頭〔淡之丸〕□□禾廣願

主神主新宮藤原泰吉

一同

壹枚

文龜三年亥十一月七日地頭土屋高宗神主〔三木丸〕□靜

2 上島村河内神社

一棟札

壹枚

文龜二年九月廿九日神主藤原吉定願主碓田兵市

〔〔朱書〕棟札 壹枚 文明三年卯月地頭禾廣神主藤原泰吉

右發見ニ付記入 廿二年三月三十日内ムヘ報告

3 大石村阿須利神社

合殿八幡宮分

一古文書

壹通

撰者為治〔姓不詳〕元龜四年癸酉二月十四日神主雅樂介二

給ル證書筆者不詳

一棟札

壹枚

天正三年乙亥十二月吉日神主雅樂介大檀主塩治佐々

木豊前守為治同息為豊本願源朝臣蔵滝

宗兵衛重綱

一棟札

壹枚

天正拾曆壬申神在月吉祥日大檀越源朝臣塩治兵部

丞為豊塩治豊前守為治同甚次郎為盛上郷□

和泉入道壽慶上郷源右衛門源朝臣泰宗伊藤彦兵衛

慶秀蔵滝宗兵衛尉野津五郎兵衛助左エ門多根

弥五郎田邊藤右エ門本願渡部孫左エ門紀久清神

主雅樂介同百太郎丸同式部大工藤原朝臣神門

新三郎重清

4 中野村太歳神社

一 證狀 一通

撰者為治元龜四年癸酉三月十四日筆者
及傳來ノ所由不詳但神主職之証狀

8 所原村小野神社

一 棟札 壹枚

奉建立小野權現 一字文祿元年壬辰九月廿八日神主鳥
屋尾藏大夫本願飯塚氏渡部氏大工中村與左衛門鍛
冶高橋久左エ門外二人名有之候得共不分明ニ御座候

5 矢尾村来阪神社

一 文書 一通

社頭之禁制書天正廿年三月廿九日筆者与三左衛門
元嘉ノ花押アリ撰者其他共不詳

9 稲岡村大年神社

一 棟札 壹枚

天正九年巳九月二十八日大壇那佐々木朝臣完道少輔九郎
神主宇多川市助綱重

6 矢尾村八幡宮

一 棟札 壹枚

奉造宮八幡宮社頭 一字 大檀越出雲
宿祢国造義廣 于時文祿二年巳七月吉日
神主鳥屋尾修理太夫

10 高岡村八幡宮

一 棟札 壹枚

天正十年神在月九日大壇那源朝臣完道弥三郎元孝代官
上山与三兵衛朝親坂本老岐守良家佐藤對馬家信長田左京亮
可和

7 所原村富能加神社

一 棟札 壹枚

奉再建保乃加社永久貳年午
二月日人名文字有之候得共
朽板ニ相成不明

11 下古志村比布智神社

一 棟札 壹枚

天文廿四年乙卯九月廿六日大且越源古志因幡守宗信

一 甲冑 一副
小實紺糸威シ大袖重量二貫六百目冑鉢而已
飾無シ重量五百目無銘應永年中佐々木隱岐
守信綱御寄附傳來之所由詳カナラス
一 箭筒 一箇

無銘方形高サ一尺六寸横幅五寸五分厚サ三寸七分天文
十三年九月佐々木源朝臣宗信御寄附傳來不詳

12 山口村八幡宮

一棟札 壹枚

元龜貳年辛未九月十八日
代官森脇加賀守 神主福谷神左三門
大工田原助右三門

13 久村國村神社

一棟札 壹枚

天文六年丁酉十一月十八日 本願平吉盛朝臣
大口藤原慶延 願主藤原廣久
一同 壹枚

天文廿四年乙卯十一月十七日 本願平通盛朝臣
願主藤原慶久 大工藤原慶延

一同 壹枚

天正四年丙子九月廿九日 本願無記載
御地頭實主御歳 代官渡部源太左三門

14 杵築村荒神社

一文書 壹通

天正六年九月十日當社の射神樂ノ事故
毛利輝元ノ臣赤川十郎右衛門口羽十郎兵衛
ヨリ下附

一棟札 壹枚
是八年代古ク文字消滅シ相分ラス

15 口田儀村多岐藝神社

一棟札 一枚

天文二十二年丑六月地頭源晴久
一枚

天正三年亥十月五日地頭伴朝臣高永兵庫頭元保
一仝 一枚

慶長四年亥十月十日地頭毛利奥州守輝元

16 東村狹楯神社

一棟札 壹枚

弘治三年丁巳十二月三日人名不詳

17 遥堪村阿須伎神社

一文書 一枚

但禁制書撰者小早川左衛門佐
福原左近允口羽下野守吉川駿河
守筆者不詳永祿十三年卯月廿九日

18 神西村東分神西八幡宮

一甲冑 壹領

緋威シ熊毛古城主神西三郎左衛門小野尊通寄附
傳來年月不詳

〔等社史料46 飯石郡 神社〕

明治十七年調

社寺宝物文書目録

島根県飯石郡

〔飯石郡

神社寶物古器物古文書目録

島根縣 〕

1 中野村中笠神社

一棟札

壹枚

慶長四年己亥四月吉辰奉建立地頭藝州毛利

志道大江朝臣元幸并代官齋和泉守保忠神

主陶山右衛門遷宮社僧壽福寺本願静默

庵大工伊藤藤右工門

2 乙加宮村大年神社

一棟札

壹枚

天文二年丑三月十二日大檀那己巳歳代

官手申歳以下人名等不詳

3 乙加宮村日倉神社

一棟札

壹枚

年月不詳大檀那源誠久同敬久大勸進手申御歳

御代官源秀家神主平朝臣清重同左衛門四良

并左京大夫并橘久氏并藤原定通并式部大夫

清重本願天台僧禅定寺当住慶圓律師

〔『雲陽誌』には天文二十二年のものと記されている。〕

一棟札

壹枚

天正八年庚辰曆四月廿八日成就畢大檀那藤原

朝臣通定代官藤原定能太田太左工門

4 宮内村須佐神社

一棟札

一枚

寛元々年四月日詳不將軍頼嗣造立

一棟札

一枚

永仁六年二月廿六日尊氏造立国造雲

太郎兼孝

一棟札

一枚

應永廿一年四月廿三日奉行勝部行久

造立国造雲太郎兼家

一棟札

一枚

永正八年四月廿八日左衛門尉泰久

上葺国造久兼

一棟札

一枚

永正十三年四月十三日上葺国造實

高

一棟札

一枚

天文四年四月十六日日本願初珎同慶

春上葺国造雲太郎兼清

一棟札 一枚

天文九年三月十二日本願勝部泰清

一棟札 一枚

天文廿三年十一月廿六日源朝臣佐々木修

理大夫晴久国造雲太郎兼家

一棟札 一枚

永祿八年奉行桐原實久

一棟札 一枚

天正十二年十月日詳不熊谷元實上葺

一劍 一口

白鞘銘天国焼刃直焼長サ二尺三寸足利尊氏 寄附年号月日及

所由傳來不詳

一劍 一口

白鞘銘南都住金房政清焼刃

直焼長サ二尺六寸加藤清正朝鮮征

伐ノ節祈誓勝利ヲ得テ寄附セ

シ由申傳年号月日不詳

一劍 一口

無銘焼刃不明兵庫鎖赤銅仕立

長サ二尺六寸縁頭鑑目貫鏢銅金共

惣テ赤銅鞘又赤銅ニシテ真鍮ヲ以唐

草象龜有リ、民部少輔晴久天

文廿一年四月日詳不寄附所由傳來不

詳

一劍 一口

革鞘無銘長サ一尺一寸五分焼刃不明

両刃作り加藤清正ノ家臣桐原左近

之進高麗国ヨリ持歸リ寄附セシ

由ニテ名ケテ是ヲ高麗ノ劍ト申傳

フ年号月日傳來不詳

5 反邊村多倍神社

一棟札 壹枚

亨祿二年霜月吉日代官延長立野秀弘

代官弥三郎同岡崎藤左衛門尉忠平

別左官神主

6 大呂村須佐八幡宮

八社八幡宮第三之社ニテ建立年ハ大永二年十月十五日申

之時御安座大檀那地頭三善之駿河守久清之建立也

一棟札 一枚

弘治二年丙辰霜月十四日大檀那大宅朝臣高橋越中守常光

同神三郎家光神主事大工藤原朝臣神門次郎左エ門國

清鍛冶橋朝臣板垣藤兵エ久重

一棟札 一枚

天正七季己卯八月十五日大檀那藝州ニ入熊谷少輔九

郎同奉行施主桐原肥後守神主事久清大工藤原朝

臣神門弥四郎久清鍛冶橋朝臣板垣藤兵エ久重

一棟札 一枚

年号不明三月三日大檀那不明神主中山助之丞

那多賀山藤原通信

7 大呂村狹長神社

一棟札 一枚

天正十一年未睦月大檀那多賀山藤

原朝臣通定全藤原朝臣通信檀

那代官藤原朝臣白根定全藤原

朝臣水間定長宮奉行藤原朝臣

日野光家全藤原朝臣大田信孝

神主勝部朝臣久高

10 深野村八幡宮天満宮合殿社

一棟札 壹枚

享祿二年三月廿八日神主絲原新五右之門

11 深野村深野神社

一棟札 壹枚

享祿元年月日不詳神主絲原新五之門

8 松笠村天満宮

一棟札 壹枚

天文四年十月十日国主不詳旦那内田助四郎

三上源左衛門御門付神主不詳

一同 壹枚

天文十三年十月始吉日十一月九日敬白国主神

主其外共不詳

一同 壹枚

天正三年十月十日国主不詳檀那藤原朝臣

白根彦左衛門尉神主不詳

9 多根村多根神社

一棟札 壹枚

天正十八年五月二日奉造立神主并市大檀

12 三刀屋村萱原神社

一棟札 壹枚

天文四年十一月十四日地頭源為弼正

平朝臣西稔源朝臣扶安神主藤原安宗

一棟札 壹枚

天文廿三年三月廿一日地頭大檀那平朝臣幸

弼正大工長助源為弼藤原慶久代官宗助

神主藤原吉久藤原正重同久重

13 三刀屋町天満宮

一棟札 壹枚

享祿三年十一月十九日地頭源氏為弼朝臣三条三良九良右之門平朝臣友弼

入道奉行中西左門進松田五郎右之門安時代官市川仁兵衛藤原朝臣文田右

近頭清正大工松川吉兵衛

一棟札 壹枚

天正十年十月廿六日大旦那三刀屋彈正忠久扶奉行松田七左エ門時信神主彦
沢掃部藤原扶数

一棟札

正中貳^乙丑年人名不詳

一枚

一劍

一口

無銘長サ二尺二寸焼刃乱刃装具縁頭赤銅金象眼鏝鑄目貫赤銅柄黒糸卷

16 入間村八重山穴見神社

鞘黒漆附人人名及年月不詳ト雖モ往古ヨリ本郡古城村城主三刀屋彈正ノ寄附セシモノ
ト云傳フ

一棟札

壹枚

ト云傳フ

觀應元年再造寛正七年閏二月修

宮ノ文アリテ延宝七年己未卯月邦

君松平羽州太守拾遺源朝臣綱近公

社司掛合郷多根之住

伊達和泉大掾藤原忠秀再拝

14 給下村三屋神社

一棟札

壹枚

延喜二年十一月十六日願主藤原朝臣義基

一棟札

壹枚

文永三年十一月十六日藤原朝臣秦山大工惣五

郎小工源與四郎

一棟札

壹枚

文安二年十二月十一日地頭市川籌丸大江朝臣

執権波多野三郎兵衛代官福庭惣左

衛門全中西忠左衛門大工姓名不詳鍛冶安田名不詳

一短冊

壹葉

後醍醐天皇御製筆 往昔本社神官下婢

或日突然家出シ三年間隱岐国へ渡島シ天野

助九郎方ニ寓居セシ際全家ヨリ御製歌ヲ

頂キ帰宅ノ上氏神明ニ寄附シタルト云傳フ其年

号月日不詳

17 八神村雨神社

一棟札

壹枚

元龜三壬申年八月橋本和泉

18 八神村三原神社

一棟札

壹枚

天正十壹癸未年三善朝臣恵連

19 獅子村志々乃神社

一棟札

壹枚

應安四年月不詳 祠官大和成政

20 角井村八幡宮

一棟札

壹枚

15 波多村劍神社

大永四年九月御知行尼子伊豫守以下不詳ナリ

一棟札 壹枚

天政五年（マ）丁丑十一月十一日勝部六右エ門 三善

惠連渡部雅樂和久利与左エ門

21 上赤名村赤穴八幡宮

一棟札 壹枚

弘治二年丙辰九月十四日右京亮三善久清倉

橋大和守定次

一獅子頭 壹頭

木製木質作者不詳天文十六年丁未八月

寄附人飯石郡下赤名村衣掛城主赤穴内

藏丞三善清勝赤穴八幡宮御行ノ節用

ユシモノト云フ

22 花栗村武内神社

一棟札 壹枚

願主三善朝臣

23 頓原村由来八幡宮

一棟札 壹枚

文永貳年十月十五日願主大檀那地頭三善駿

河守久清建立神田三郎右エ門景山十郎右エ門

兼只

一棟札 壹枚

天文九年庚子廿日三善善四郎隆連三善森長門

守正重

一劔 一口

銘筑前左氏スク刃鉏銀キセ長サ一尺八寸

白鞘入年月不詳由来八幡勸請ノ節

源頼朝公寄附ノ旨云傳フ

一劔 一口

銘備前長船住人祐定スク刃長サ二尺八寸

五歩白鞘入年月不詳寄附人深石常市

景山厩藏景山嘉五郎傳來不詳

一劔 一口

銘備前長船住横山上野大掾藤原祐定

スク刃長サ二尺三寸五分白鞘入明治十五年

壬午三月十二日寄附人城月小治郎傳來

不詳

一椀 一箇

口径八寸五分深五寸八分外黒内赤永録九年

丙寅五月寄附人富永山城守大伴長保

右為武運長久子孫繁昌如意吉祥

如件奉寄進御器二十ト有之候処慶長

頃炎上ニテ残所一箇今ニ保存ス

24 都加賀村正八幡宮

一棟札 壹枚

慶長二年卯月吉日代官法童坊波多神
主藤原朝臣家丞催大旦那山根惣兵
衛尉小旦那政所次郎左衛門大庭助左
衛門森脇五郎左衛門大穴彦左衛門大
穴次郎右エ門大工板垣太郎左衛門尉奥
野次郎兵衛

25 吉田村兔比神社

一棟札

老枚

元龜四年酉十月神主田辺忠能

26 吉田村八幡宮

一棟札

老枚

天正十二年申四月十日建立藤原大太夫藤
原朝臣多賀山通定藤原朝臣多賀山通信

〔寺社史料36 出雲・楯縫・神門・飯石郡・寺院〕

明治十二―十七年調

社寺宝物文書目録

島根県出雲郡下

〔出雲郡

寺院寶物古器物古文書目録

島根縣

1 上荘原村臨濟宗莊嚴寺

一香爐

壹筒

松風枕香爐ト云 但木物

永祿七甲子年八月十五日寄附人高瀬城主

米原平内兵衛綱廣

一鏡鉞

壹雙

文祿七壬辰年十一月十一日寄附人太閤秀吉

公下来佐野九助 重量三百目

〔楯縫郡

寺院寶物古器物古文書目録

島根縣

2 平田村上ヶ分臨濟宗大林寺

一文書

五通

旧榮崇寺々号之砌、境内南北八丁東西七丁半

寄附人名部頭中原朝臣滿親應永九年十一月五日源義教ヨリ寺格御奉書

永享七年卯十一月十六日

多賀安藝守中原朝臣經長ヨリ田畑寄

附永正十八年辛巳十二月廿二日

杉原播磨守盛重ノ次男又二郎景盛

落命之砌金錢寄附天正十一年十二月五日

右大辨御奉書当寺十四世龍関大和尚

被任大本山妙心寺住職寛文二年九月十四日

3 小境村臨濟宗 一畑寺

一文書

貳軸

源晴久ヨリ弘治二年二月廿日薬師如

来へ土地御寄附相成候書壹通

多賀對馬守久幸ヨリ弘治二年

二月廿日田坪付目六卷通

久光ヨリ永録〔録〕四年正月廿六日立願ノ

為メ寄附物之書壹通

輝元ヨリ永録〔録〕十三年五月十四日薬

師如来へ地所寄附相成候書 壹通

元秋ヨリ天正九年十月十九日薬師如

来へ地所寄附相成候書 壹通

4 別所村天台宗鑿淵寺

一文書

壹通

後醍醐天皇御震翰元弘二年八月十九日御發願文
一文書 拾壹通

後醍醐天皇元徳三年正月十四日當寺御祈願

所ノ御繪旨建武二年三月十八日出雲國宇賀

庄地頭職所御寄附ノ御繪旨建武三年二

月九日出雲國朝敵人等誅伐御祈願并二

軍忠致可クノ御繪旨延元元年十月五日出

雲國漆治郷領主職ノ御繪旨 四通

後村上天皇建武三年正月十五日出雲國三所

郷地頭職御寄附ノ御繪旨興國元年六月廿

五日出雲國法知新宮半分地頭職御繪旨興國

元年八月廿三日出雲國三所郷地頭職ノ御繪旨

興國二年八月廿一日朝敵追討ノ御繪旨 四通

長慶天皇正平十二年六月八日出雲國三所

郷地頭職御繪旨 壹通

後奈良天皇天文廿四年五月廿日推古天皇

勅願之浄場無紛ノ御繪旨弘治二年十一月

十三日當國諸法事ノ節當寺左座ノ御

繪旨 貳通

一棟札 壹枚

天正五年丁丑十一月廿九日大壇主

從五位下行右馬頭大江輝元朝

臣再建

「神門郡

寺院寶物古器物古文書目録

島根縣

1 久村天台宗花蔵寺

一棟札

天正五丁丑年十一月吉日

大願主宝泉房円慶阿闍梨大檀那

領主源朝臣長雄代官渡辺文左衛門

尉番匠棟梁姓名文字不詳

壹枚

2 馬木村臨濟宗勝定寺

一棟札

天正五丁巳初冬正乘比丘誌

壹枚

3 白枝村真宗願楽寺

一連歌集

連歌集撰并筆者飯尾宗祇延徳二年ノモノ寄附

一卷

人傳來不詳

一古今集

古今集 撰者紀貫之筆者藤原為家卿年月不詳

一卷

享保五年八月松江藩家老棚橋玄蕃娘みよ当寺十

世義親妻ニ引越候節持参寄附

一書

和歌 紺地後伏見天皇宸翰年月寄附人傳來不詳

一幅

一書

色紙短冊 後醍醐後奈良正親町後陽成四天皇

一幅

宸翰年月寄附人傳來不詳

一書

一幅

一行物 絹地傳放大師筆年月寄附人傳來不詳

一寫經

一枚

般若経紺紙金泥弘法大師筆年月寄附人傳來不詳

一書

一幅

和歌 紺地慈鎮和尚筆年月寄附人傳來不詳

一書

一幅

赤旗名号 赤色絹地円光大師筆此傳來村上天皇

應和年中唐ヨリ蜀紅錦ヲ献ス然ルニ崇徳天皇長

承元年勅シテ三十三間堂ヲ京師ニ建ツ平忠盛ヲ

シテ役ヲ董セシメ其功ヲ賞シテ右蜀紅錦ヲ賜フ

平氏以テ赤旗トス其后平氏西海ニ航カレトスルニ及ヒ

維盛父重盛ノ遺言ニ依リ之ヲ京都新里谷ニ納ム

然ルニ文治三年二月四日維盛三回忌追善ノ為円光

大師筆ヲ染メ名号及利劔即是等二句ノ文并ニ

□書スル所以下年月自名ヲ書ス後表装シ掛

□トシテ久ク九条家ニ秘蔵シアリシカ奥州會津ノ

城主蒲生飛驒守ノ末葉蓮求黒谷ニ於テ出家シ

宗教弘通ノ志頻リニシテ将ニ西国ヲ巡化セントスルニ際シ

九条家ニ之ヲ請ヒ其下賜ヲ受ケ師匠黒谷住職

寂仙ノ添書ヲ併セ携ヘ當国ヲ巡化ノ途久ク当寺ニ

寄寓シ当寺九世住職專意ト懇意ノ餘リ

享保七年五月縁起添書并寄附証ヲ添当寺ニ納ム

一書 一幅

いろは紙地近衛龍山公筆年月寄附人
傳來不詳

一書 一幅

茶文紙地利休筆年月寄附人傳來不詳

一画 三幅

出山釈迦并蓮絹地彩色繪狩野探幽筆
年月寄附人傳來不詳

一画 一幅

源氏車并賛紙地墨繪一休禪師筆年月寄
附人傳來不詳

一画 一幅

□山拾徳紙地墨繪雪舟筆年月寄附人傳
□□詳

〔中略〕

一書画 一軸

正親町院内侍繪入卷物紙地畫西三条実隆画土佐光
信年月不詳寄附人傳來同前

一屏風 一雙

画梅土佐元信筆年月不詳寄附人傳來同前

4 下塩冶村浄土宗神門寺

一文書 三十五通

内

寄附状 壱通

前武蔵守修理権大夫平有華押貞永元年十月二日

寄附状 壱通

前武蔵守修理権大夫平有華押延應元年八月八日

國宣寄附状 二通

加賀守有華押建武三年十月十一日

廳宣寄附状 壱通

大介源朝臣有華押曆應元年九月

國宣寄附状 壱通

左衛門尉有華押曆應元年九月五日

國宣寄附状 壹通

貞景有華押康永二年三月廿五日

教書 壹通

足利將軍源義詮有華押文和三年十月二日

廳宣寄附状 壱通

大介藤原朝臣有華押康曆元年三月

寄附状 二通

尼子晴久有華押弘治三年卯月三日

寄附状 壱通

尼子勝久有華押年号不詳九月二十日

寄附状 壱通

毛利輝元有華押年号不詳三月八日

寄附状 壱通

小早川隆景有華押年号不詳二月十七日

寄附状 壱通

毛利右馬頭有華押天正九年二月十一日

寄附状 壹通

幸隆清宗并有華押天文廿四年八月十四日

寄附状 壹通

幸隆久貞清宗并有華押元祿五年卯月二十日

寄附状 壹通

高佶久盛久綱并有華押弘治三年九月十九日

〔中略〕

一書 二幅

内

歌 壹幅

後小松帝御詠宸翰年月不詳京都知恩寺百夢

舜達寄附紙地

伊呂波 壹卷

弘法大師當寺住居中撰并書年月不詳紙地

一画 壹幅

法然上人筆阿弥陀如来像年月寄附人傳來ノ所由

等不詳絹地金彩色

一寫本 八本

内

朗詠 上下二卷

尊圓親王御筆康曆二年七月二十二日依神

門寺請而書紙地

無量壽經 上下二卷

嵯峨帝宸筆年月寄附人傳來ノ所由等不詳紙

地

般若心經阿弥陀經 合壹卷

傳教大師當寺住居中ノ筆年月不詳紺地金泥

阿弥陀經 壹卷

菅原道真筆年月寄附人傳來ノ所由不詳紙地

般若心經阿弥陀經 合壹卷

弘法大師當寺住居中筆年月不詳紺紙金泥

念佛和讚 壹卷

染殿后御筆年月寄附人并傳來ノ所由不詳

一釋迦如来肉附齒 壹箇

梵僧羅什傳來支那高弟宋肇受之於什将来本朝

天應元年為當寺開祖爾後歷傳云 壹箇

一鉢 壹箇

金銘曰奉寄進神門寺北島右京亮豐孝量三文目

年月不詳

一匙 壹箇

銀北島豐孝寄附即有豐孝銘量一文目年月不詳

5 下塩冶村日蓮宗妙傳寺

一文書 壹卷

正五位下行文章博士橘朝臣直幹請

被兼任民部大輔闕狀尊圓親王筆

撰者不詳京都本山要法寺ヨリ寄附

傳來不詳

一書 壹卷

和歌尊圓親王筆撰者不詳京都
本山要法寺ヨリ寄附傳來不詳

一書

壹幅

曼荼羅ト名ク日蓮聖人ノ筆撰者不詳
當寺十三代日陽ヨリ寄附年月不詳

「飯石郡

寺院寶物古器物古文書目錄

島根縣

1 乙加宮村天台宗禪定寺

一棟札

壹枚

天正二年^{戊甲}三月五日大壇那藤原朝臣通定并
代官藤原續忠當住持九洲筑後國賀町之
住僧慶順

2 給下村真言宗普光寺

一棟札

壹枚

延喜三年十月藤原朝臣義基小志者孫左衛門
教示坊文殊坊慶福坊住持普光院導師快
乘

3 八神村真宗明眼寺

一帖外御文

壹通

撰者真宗本願寺第八世信證院蓮如上人

筆者同第九世教興院實如上人御直筆年
月寄附人傳來所由不詳

一畫

壹軸

本願寺第十世信受院證如上人壽像一軸
當第二世清順代本願寺十一代目顯如上人
之御代大坂石山二本願寺有之候トキ織田信長
兵乱之砌本山加勢仕其御賞美トシテ絹地
墨畫壽像被下候撰者筆者年月不詳

4 下来鷹村真宗西蓮坊

二画像

壹幅

絹地阿弥陀如来踏分ノ画像彩色面表装
黄綾撰者筆者年月不詳天正三乙亥秋石山
戦争ノ際吉川野津亮頼経深手ヲ負其身
不具トナル年二十七ニシテ剃髮シテ法名西蓮ト改
其時此尊像ヲ顯如上人ヨリ賜ル云

5 下赤名村真宗西蔵寺

一木像

壹躰

丈ヶ壹尺三寸阿弥陀佛ノ像親鸞聖人ノ彫刻
大阪石山御堂御難ノ節當山九代ノ住主教
信忠勤ヲ盡セシニヨリ顯如上人ノ御感賞ト
シテ賜リケル年月不詳

一書

壹幅

六字名号紙地表装綾地金欄蓮如上人ノ真筆

本山大阪石山御堂御難ノ節當山九代ノ住主
教信忠勤ヲ盡セシニヨリ顯如上人ノ御感賞
トシテ下ケ賜ケル年月不詳

6 吉田村真宗圓壽寺

二画像

壹幅

紙地阿弥陀如来紺紙金泥極彩色画恵心
僧都筆當山開基唯念永正三年近江國
ヨ供奉スト云フ

明治十二丁十七年調

社寺宝物文書目錄

島根県安濃郡 上

1 大田村八幡宮

一棟札

壹枚

但天正十二年甲申八月八日御本社再建當國

太守佐波少輔太郎三善朝臣連良当国守護

大久保石見守藤原朝臣長安大願主長谷

加賀守平朝臣雄久大工大橋助左衛門藤原

良助神主布施八郎治郎

2 鳥越村神邊神社

一棟札

壹枚

天正二甲戌年九月廿四日神主内蔵大夫

代官富永徳左衛尉催出萩野弥三郎

3 長久村八幡宮

一棟札

一枚

元龜二年辛未八月大壇那源朝臣小笠原

與次郎長旌別當權律師有賢

一同

一枚

慶長五年庚子八月大壇那大江朝臣中納言

輝元佐世石見守元嘉本願主坂根彌兵衛

4 波根西村苅田神社

一棟札

壹枚

天正十八庚寅九月建立領主富永山城守殿願主有

馬吉右 工門地下中祠官壺倉式部

一棟札

壹枚

年号月日不分明代官富永山城守殿神主壺倉式部

5 池田村高田八幡宮

一棟札

一枚

〔宋書〕以下八枚明治廿二年三月三十日報告
焼失

天文拾八年乙酉十一月造替惣奉行代人代

官平三左 工門尉普請奉行渡邊又六

兵衛檀越佐波越後守三善朝臣

興違同三左 工門尉三善神主中務太

夫藤原兼久

6 池田村迹幣姫神社

一棟札

一枚

永祿九年丙寅十月再建神主福舎左

工門太夫兼久願主氏子中

7 多根村佐比賣山神社

一棟札

壹枚

文明八天霜月十八日平朝臣多根領主宗連代官宗

兼神主兼久大工平宗久小工伴宗續

一同

壹枚

元龜四年十月吉日神主神左之門

8 野城村日下山神社

一棟札

一枚

天正三年乙亥十月願主別當權大僧法印榮鎮

9 才坂村三社神社

一棟札

壹枚

弘治三丁巳九月廿六日再建立庄屋竹下大工福田武義入道小工

大橋治良左之門

一棟札

壹枚

天正元丁丑三月再興願主才坂村中

10 鳥井村八幡宮

一棟札

壹枚

奉造立元龜三年十二月吉日大壇那源長旌

大宮司權之進

11 吉永村八幡宮

一棟札

壹枚

元龜二年辛未八月十四日神殿再建

立願主小笠原与次郎源氏朝臣

長旌小笠原孫太郎源朝臣長

〔寺社史料32 迹摩郡 神社〕

明治十七年調

社寺宝物文書目錄

島根県迹摩郡 上

〔迹摩郡

神社寶物古器物古文書目錄

島根縣 〕

1 大家本郷石清水八幡宮

一棟札

壹枚

天文三年甲午二月廿三日本社建立大旦那藤原兼公并

■口公種 神主公明 大工公房 小工源左 工門

一棟札

壹枚

天文十四年乙巳九月十日拜殿造立大旦那源朝臣長徳

神主公舊 大工越後守 小工藤兵衛

2 小濱村巖嶋神社

一棟札

壹枚

永祿十二年戊辰卯月吉祥日

建立信心大壇那大江朝臣

元就奉行就安就久

社守権大僧都法印宥弼

普請奉行海蔵寺景書

記石田主税助加戸神左衛門

加戸善左衛門

3 温泉津村愛宕神社

一鐘

壹鈞

但中径壹尺九寸式分

鐘銘二曰

諸行無上 是生滅法

生滅々已 寂滅為楽

明應六年卯月念九日

(去今三百八拾三年 后土御門天皇御宇)

勝田山源福寺

於隱州海士郡

奉鑄推鐘之事

願主源朝臣

秀真筑後守

大工因州野阪住藤原信重

該鐘ハ去今式百八拾九年 後陽成天皇

ノ御宇天正十九辛卯春豊太閤

朝鮮征伐ノ時軍用トシテ当社ノ

鐘ヲ携ヘリ其帰陣ノ際元ノ

鐘ト取換返納アリシナリ

4 大國村石見八幡宮

一棟札

壹枚

年号其他年月ヲ經過損所有之文字不詳

社殿上葺大壇那吉川駿河守藤原朝臣元春

一 同 壹枚

永正十二年丁丑霜月初二日社殿再建其他文字不詳

一 同 壹枚

天正十一年癸未八月社殿再建大壇那吉川駿河守

藤原朝臣元春 神主西右衛門大輔藤原勝義

一 鎧 壹領

萌黃威シ毛利輝元公御寄附

年号月日傳來不詳

一 鎧 壹領

萌黃威シ吉川元春公御寄附

年号月日傳來不詳

一 笛 一管

毛利元就公御寄附

年号月日傳來不詳

5 西田村水上神社

一 棟札 一枚

永和二丙辰二月本殿再建本

願福田吉左 工門山本利兵衛神主

運照大工田中越前重次木挽

林三良兵衛

一 棟札 一枚

天文十七年戊丑廿九日本殿

再建神主治部太夫

一 棟札 一枚

天正十七年己丑十月十六日大壇

那藤原廣家奉行長利三

郎右衛門鈴河左内之介神主

次子圖書介明房大工福井備

後守竹下助太郎藤左

工門岩本市右 工門藤五郎森

下助五郎森脇與三右 工門同孫四郎小工渡邊

重兵衛同彦四郎

6 仁万村国分寺霹靂神社

一 棟札 壹枚

但 永祿四年辛酉四年本殿再建當国守護藤原朝臣隆亮神主

高木内藏太夫願主植田新助兒島勝右衛門石橋彦左衛門

大工山根大和守

7 仁万村神樂岡神社

一 棟札 壹枚

天正五年丁丑八月神樂所新造大壇那吉河駿河守

神主高木宮内太夫鍛冶中村清左衛門忠清大工山根大和守

一 劍 壹口

焼刃直装具無之 銘石州長濱住正直作

毛利輝元卿寄附年曆傳來不詳

一 鎧 壹個

紺皮威シ足利直冬卿寄附年曆傳來不詳

8 仁万村天満宮

一棟札

壹枚

但 慶長四年戊辰年閏仲夏本殿再建神主高木忠倚 花押写 願主
其他文字朽失

11 波積本郷八幡宮

一棟札

壹枚

慶長 板虫入崩レ文字
處々不分明 御宮造立 祠官郷原

9 宅野村八幡宮

一棟札

壹枚

慶長二丁酉十一月奉行彦坂小刑部尉
地下役人石井徳左衛門長利右衛門前九兵衛
中間新左衛門 高野久兵衛 和泉義左衛門 竹
長平兵衛 和泉喜兵衛 中間五郎右衛門
神主森田民部正清

12 波積本郷王子神社

一棟札

壹枚

建永元寅八月本殿葺替願主氏子中
神主溝邊甚太夫檜皮小濱村源八
伊平太 喜兵衛

10 久利村八幡宮

一棟札

壹枚

天文十四年十月十三日本殿造營支配藤原
伊豆守連房神主兵部太夫大工森下大工
鍛冶善左衛門

一棟札

壹枚

元龜元年庚午六月吉日 本殿再建
願主十二氏子中
三社神主溝邊式部太夫藤原道春

一棟札

壹枚

永祿〇年八月十三日本殿造營支配高橋
越中守常光 餘者墨色淡薄而不讀

一棟札

壹枚

天正八年十一月本殿造營代官久保勝重
神主宮崎孫太郎大工福井安重鍛冶妙
珎新次郎願主藏瀧九郎左衛門

〔寺社史料25 邑智郡 神社〕

明治十七年調

社寺宝物文書目録

島根県邑智郡 上

〔邑智郡

神社寶物古器物古文書目録

島根縣 〕

1 奥山村八幡宮

一棟札

奉建立八幡宮大檀那三善秀兼辛亥歲

祠官宇塩中務少輔藤原重正

長承元年壬子九月廿四日

其他ノ文字摩損シテ不詳

一枚

3 濱原村桂根八幡宮

一棟札

龔 奉造建

天文十七年戊申三月二十八日

大工源朝臣渡辺雅樂助通 奉行平朝臣

日野与三左衛門尉通秋 神主源朝臣牛尾

勘解由左衛門尉清重

一枚

2 吾郷村天津神社

一勅額

但堅四尺二寸横二尺文字八正一位本坐大明神卜

アリ大永五天乙酉六月吉日第百四代後柏原天

皇ヨリ賜ハル

右寄附人ハ当郷地頭三善朝臣元親及三善清

繁三善元定ノ三名ナリ

右寄附人三名ヨリ当天津神社ハ太古建立シ

有名ノ神社ナル旨ヲ奏上シ勅額ヲ下賜セラ

一面

レン事ヲ請ヒタルニ由リ此額ヲ賜ハリ爾來鄭重
保存シ來タリ

一棟札

奉再造立天津神社本坐大明神

大願主三善清連

于時文治二丙午八月

其他ノ文字磨滅シテ不詳

一枚

一鑑

但威シ毛 一ハ青色 一ハ黒色ナリ年月不詳

該社氏子滝原村青杉城主出雲新介

三善朝臣隆連越後守三善興連

已ノ着用シタルモノヲ寄付ス

一弓

但長ハ各六尺厚サ一張ハ一寸二分 一張ハ六分ナリ

年月ハ不詳寄付人ハ前項ト全シ已ノ軍

用ニ使用シタルモノヲ寄付ス工作者不

詳ナリ

二張

4 都賀西村八幡宮

一棟札

奉再興八幡宮御宝殿 一字

永祿十一_{戊辰}十月日

心信大施主志道刑部其他磨滅シテ不詳

一枚

5 都賀本郷村八幡宮

一棟札

奉新建立八幡宮 一字

元龜二年_{辛未}卯月吉日

信心大施主大江下野守通良同中務大輔春

良神主三東七良右衛門尉祝司三上神兵衛

尉大工渡邊源右衛門尉外一名

一枚

6 宮内村田立建埋根命神社

一鏡

六面

但經各一尺重量各百二十五匁円形ニシテ

銘鑄文ナシ天文三年_{壬午}九月九日兵部

大輔源長徳并源長節ヨリ寄付ス

傳來所由不詳ナリト雖モ古昔ヨリ宝物

トシテ保存セリ

7 上田村八幡宮

一棟札

壹枚

天正五_丁五_丑長月中九日

謹奉造立八幡宮社殿壹宇

護持大壇那大江朝臣桂左衛門尉元

重代官兒玉内蔵助重家大工木屋太郎

左衛門

8 阿須那村賀茂神社

一扁額

二面

但各豎二尺横二尺五寸墨ニテ龍馬ヲ畫キタルモノ

ナリ永祿十二_{己巳}八月大宅朝臣朝光寄付ス筆

者ハ狩野治部少輔傳來ノ所由不詳

一棟札

一枚

奉再興賀茂大明神社 二字

天文十九年_戌九月吉日

刑部大夫通良 大壇那備中守大江隆元

大工三吉次良衛門

9 原村八幡宮

一棟札

壹枚

奉新建立八幡宮本社 二字敬白

天文三甲午天七月吉祥日

大宮司三上次部庄屋九郎右衛門外壱名組頭治

郎助外壱名大工漆谷孫左衛門小工野崎竹松

10 矢上村諏訪神社

一棟札 一枚

奉建立御寶殿 一宇

永祿八年乙丑霜月十一日

伴朝臣元祐

一棟札 一枚

奉建立諏訪大明神本殿 一宇

天正十一稔癸未三月吉日

奉行東惣左衛門祝言若狭守大工弥六兵衛

外一名鍛冶備前守其外衆中

一鏡 一面

但經八寸重量百七十匁圓形ニシテ銘鑄文ナシ

永正五_{戊辰}八月氏子中ヨリ寄附ス傳來所由不詳

一刃 一口

但長二尺三寸銘ハ備州長船住忠光トアリ焼刃装

具ナシ寄附人ハ本壽院トアリ年月傳來所由不詳

ナレトモ古來宝物トセリ

11 市山村八幡宮

一棟札 老枚

奉欽上葺八幡宮 一宇

大壇主奉行小野三郎左衛門藤原朝臣駿河守

元春治部少輔元長大宮司牛尾太郎左衛門大工

佐伯新兵衛天正二_{甲戌}年七月良日權少僧都

珎融敬白鍛冶孫左衛門

12 市木村馬場八幡宮

一文書 一通

但四品陸奥守大江元就ヨリ納メラレシ武運長久之

祈願告文ニシテ撰者筆者共全人ナリ年月不詳

一録札 一枚

奉寄進神輿一臺録札

文祿四年九月吉日

社主齋木民部大夫施主渡邊淡路入道

一録札 一枚

陸奥守大江元就御幕桃燈寄附録札

永祿十一_辰五月 日

一棟札 一枚

奉上葺神樂殿棟札

永承二_亥年三月 日

一棟札 一枚

社司齋木右門願主村内衆人

奉再建立馬場八幡宮棟札

天喜三年乙未八月 日

一棟札 一枚

齋木大部正林大旦那天津姓

奉両社上葺并神樂殿造宮棟札

久安元年乙丑四月 日

一棟札 一枚

社主齋木宮内村内氏子息災延命

一棟札 一枚

奉建立鳥居 一棟札

建保三乙亥八月 日

神主齋木大和嫡子織部大願主天津姓

一棟札

一枚

奉再建住吉大明神棟札

文永六己巳二月 日

神主織部村内安全所祈

一棟札

一枚

奉再建立馬場山岩窓両社棟札

至徳二乙丑下春日

齋木八百道大旦那三宅市右衛門

一棟札

一枚

奉社内悉造宮棟札

應永三十二年乙巳三月 日

齋木隼人正吉大願主屈城主花押アリ

一棟札

一枚

奉再建八幡大菩薩社壇 一字棟札

永正十一年甲戌九月吉日

別當福正寺住僧善達社司齋木民部太夫正隆

一棟札

一枚

奉立八幡大菩薩御宝殿 安藝国吉川治部少輔

元春御知行役人山縣本主

永録八年拾月十八日造畢

作事奉行福正寺高恩全澤

一棟札

一枚

奉建立當社悉棟札 毛利元政代催夫次郎左衛門

于時文録五年九月十九日

神主民部太夫代

一棟札

一枚

13 市木村杉尾八幡宮

一棟札

一枚

石見国杉尾社部勝長

豊明八幡宮可為安置旨言其国宜令

承知者依院宣執達如件

承安二年八月十二日

権右中辨經房奉

一棟札

一枚

豊明宮八幡宮三所大神社頭老宇

庚曆二庚申八月二十六日

卜毛割虫喰朽毀不見

一棟札

一枚

奉造立八幡宮社檀老宇

永録十一戊辰四月

大願主四品陸奥守大江朝臣元就

神主從五位下民部大輔勝正

別當権大僧都知観

大工五良右衛門外老名

14 川戸村太詔戸神社

一棟札

一枚

一枚

于時天正十年壬午菊月中
奉造立妙見大菩薩宝殿 一宇

大旦那井下左馬丞春種井下藤兵衛尉重信井
下新兵衛尉春信井下土佐守

15 田津村諏訪神社

一棟札

壹枚

明應九庚申改曆

奉建立諏訪大明神

九月二十八日楷定

抑奉諏訪大明神ト申者信濃國諏訪之郡ニ在御鎮
座大御神也然ルニ坂根五郎左衛門於國々所々ニ
危難ヲ請候時心願成就ニ依テ御神徳ヲ得危難ヲ
救賜故為此恩德報田津村産神奉尊敬則田津谷西
ノ地廣山ノ落合ヲ致寄附宮所ニ定東西南北ノ籠地
於開原尾山名此所ニ奉遷幸者也
神主山田伊豫守 大願主坂根五郎左衛門

16 大貫村御嶽神社

一棟札

一枚

于時天文廿三年九月廿九日

奉再建立御嶽権現宮本殿 一宇

願主山崎土佐守源朝臣長雄

17 日和村櫻井神社

一棟札

一枚

奉造立妙見宮

元龜三年^{壬申}六月五日棟上

願主寺本玄蕃允 社職粟屋十郎衛

門尉社務助十郎 大工新兵衛外 一名鍛冶

源四郎

18 三原村武明峯八幡宮

一棟札

壹枚

奉新建立八幡大菩薩御社

天正七年己卯十二月十二日

信心大施主源朝臣長旌大願主源光枝^元

大工竹内賀藤左衛門

19 下口羽村八幡宮

一棟札

一枚

永享三^{辛亥}八月十二日

石見國口羽郷八幡宮御寶殿

右擇吉日奉帰旧所大願主大宅^{名不詳}

一棟札

一枚

文明九稔^{丁酉}八月十五日

石州邑智郡口羽郷奉造立八幡宮 一宇

大檀那大宅光慶 大工六郎右衛門

一棟札

一枚

于時永祿十一稔^{戊辰}七月吉日

奉再興八幡宮御宝殿一宇

大施主志道刑部大輔通良大工三吉次郎右衛門外一名

一棟札

一枚

天正十三年乙酉六月吉日

奉再興八幡宮御宝殿一宇

願主善九郎通平大旦那右馬頭大江輝光(元)大

工三吉次郎右衛門

一燭臺

一箇

但鍊製ニシテ作者ハ備中國丹治部住勝宗

ナリ天正二十年十月口羽城主通平ヨリ寄附ス

傳來ノ所由不詳ト雖トモ古來宝物トセリ

20 祖式村八幡宮

一棟札

壹枚

明應六年八月十一日

奉再興石劬仁万郡祖式八幡宮

大檀那源朝臣小笠原

一棟札

壹枚

慶長三年九月一日

奉再興石劬仁万郡八幡宮

本願主藤原朝臣渡辺想兵衛當神主

宇塩治部大夫鍛冶神五左衛門外壹名

21 中野村賀茂神社

一文書

壹通

但 永録(録)四年十二月十一日吉川元春賀茂神社拜殿ヲ建立シ武運

長久ヲ祈ル旨ヲ自書シテ當社へ納メラレタル願書ナリ

一文書

壹通

但 年中祭記ノ規式ヲ書シタルモノナリ

天正四年正月吉日撰者筆者不詳

一文書

壹通

但 年月不詳井原村雲井城主久永越中守ヨリ武運長

久ノ祈祷ヲ謝シ當社神主へ送ラレシ自筆ノ書翰ナリ

一棟札

壹枚

奉再建立

寛元元年卯癸十一月 人名不詳

一棟札

壹枚

奉再建立石州邑智郡久長庄賀茂大明神御寶殿一宇

元龜二年辛未五月廿九日大檀那吉川駿河守藤原

朝臣元春

一棟札

壹枚

賀茂御寶殿再建立之時奉行等事

于時元龜二年辛未五月廿九日木曜井宿

時之役人伊賀田但馬守作事奉行新見伊賀守

大工田坂五郎兵エ尉外ニ壹名鍛冶成合孫三郎外ニ

壹名下用方御小者源四郎

22 千原村八幡宮

一鎗

一本

但 装具焼刃柄等無之長サ一尺三

寸ニシテ銘ハ宗吉トアリ天明七年丁未八月十五日千原村花田柳兵衛ヨリ寄付ス

元該鎗ハ觀應二年十月中旬花田備

中守信州伊那郡ヨリ携帶シテ本國

那賀郡都治本郷某城ニ至リ天正年

中落城シ其家臣ナル花田柳兵衛

当千原村へ移住ノ際持来リ当社へ寄

付シ尔来鄭重保存宝物トナシタリ

一棟札

一枚

奉建立八幡宮 本殿

正和三年八月

正六位上行平衛門少尉三善清政

敬白

23 酒谷村八幡宮

一棟札

一枚

奉建立八幡宮 本殿

元龜二年^{辛未}九月四日

兵部大輔三善朝臣恵連奉行田中

縫之輔物申次郎左衛門

24 川本村八幡宮

一弓

一張

但厚サ六分ニシテ作者年月等不詳

傳ニ曰ク天福元年小笠原四郎長親公八幡宮御勸請ノ砌宮地ニ

心配ヲ凝シ給フ折柄洪水漲リ來テ川上ヨリ弓一張水流ニ隨ヒ當峯前ニ漂着ス則上聞ニ達スルノ処長親公感心不淺シテ是正ニ

弓箭神靈地ヲ知ラシメ給フ前表ナリ去レハ迅速ニ神靈ヲ御鎮座成

サシメ奉リ依テ弓ハ玉殿ノ傍ニ安置スト縁記ニ記載アリ

一縁記書

一卷

石見國邑智郡川本村郷社八幡宮ノ縁記

永正十三丙子年

撰者及筆者 從五位下山田伊豫守平朝臣道治

〔寺社史料26 迹摩・安濃・邑智郡 寺院〕

明治十二年七月調

社寺宝物文書目録

島根県 迹摩郡
安濃郡 邑智郡

下下下

〔迹摩郡

寺院寶物古器物古文書目録

島根縣 〕

1 佐摩村真言宗長樂寺

一棟札

永祿十一年戊辰五月

大檀那四品陸奥守大江朝臣元就

大宅朝臣就光藤原朝臣就久本願福泉坊

大工藤原朝臣字形不分明

裏二元就公花押アリ

一棟札

天正十年壬極月廿三日

施主藤原朝臣三宅老岐守

大檀主從五位下行右馬頭大江真人輝元花押アリ

時務平佐伊豆守就之時務林山城守就長

大工山根大和守本願權大僧都法印雲聖檀那

川村肥前守岩寄出雲守藤原朝臣弥三郎

一本尊役行者小角大菩薩厨子 老宇

老枚

老枚

竪四尺二寸 横三尺二寸 獅子牡丹彩色画後二天狗画

永祿十二己巳年五月十六日

狩野治部少輔藤原秀頼筆 寄附人傳來不詳

一大鼓

徑二尺五寸 長二尺二寸

老箇

毛利元就銀山ヲ領セシ時城山ト相對スル小山顛

二大鼓堂ヲ建テ時ヲ鼓ス堂ハ嘉永年間風災

ニ破損シ大鼓ハ当今長樂寺ニ存在ス近世ノ鼓

形トハ異リテ雅品ナリ

一書

八幡大菩薩 天照皇大神宮 二社之託宣 老幅

春日大明神 紙地竪四尺二寸老分横老尺七寸八分

龜山天皇御宸筆

寄附人毛利家藩士増田某 寄附証書紛失 名前不分明

ヨリ長樂寺へ寄附候由申傳

2 佐摩村真言宗清水寺

一棟札

慶長四年九月二日本堂再建

大檀那大江朝臣輝元卿

大願主當住寺法印權大僧都宥恩

伊達雅樂丞植田惣右エ門尉長田弥三左エ門尉

伊藤宗右エ門尉南條勘左エ門尉宮迫弥左エ門尉

青木文左エ門尉高橋五右衛門尉森田平兵衛尉

大工福田甚五郎小工同苗甚左エ門木挽長野源左エ門

老枚

鍛冶生越右京進

3 大家本郷真宗明円寺

一文書

壹軸

本願寺第九世法主殿實如眞筆法文四通明應六年

寄附人傳來不詳

一書

壹軸

紙地六字名號長三尺五寸
横一尺三寸本願寺第十一世法主殿頭如眞筆

當寺創建住職覺安天正年中石山戰場際兵糧尽力賞功

之レヲ賜ルト傳來享保年中本郷市中大火ノ災ニ關シ證書ナシ

4 大家本郷真宗浄土寺

一七條袈裟

一連

金襴地龍丸模様當寺五代目住職法覺

天文年中石山籠城ノ際軍功ニ依リ本山

第十二世准如上人ヨリ拝領シ奉納ス

5 温泉津村浄土宗西念寺

一書画

拾貳幅

画

壹幅

絹地阿弥陀佛五菩薩之画彩色豎六尺五寸

寸横貳尺六寸五分 右正曆五甲午年十二月

天台比叡山恵心僧都正筆四言八句ノ讚文

アリ尤自画讚ナリ當寺開山然休ヨリ傳フ傳來

不詳

画

壹幅

絹地山越阿弥陀佛之画彩色豎六尺横貳尺四

寸右僧都正筆年代以下同上

6 温泉津村日蓮宗恵琮寺

一寫經

壹部八卷

法華經紺紙金泥ニテ一紙廿四行一行十七字

普公之書寫也年
月不詳往昔ハ當村西樂寺ノ宝物之由然ニ當寺

元宝物細川玄旨法印之百首連歌ト彼是

協議シテ交替セシ物ト傳ヘ申也

一書

六幅

書

壹幅

唐紙豎一尺五寸横九寸五步曼茶羅宗祖

日蓮大菩薩之筆傳來及年月不詳當寺

廿二世日浄上人 奉納

書

壹幅

絹地豎一尺三步横四寸五步曼茶羅文應二辛

酉年二月宗祖之筆神職長上藤原兼益ヘコレヲ

授與傳來不詳當寺廿八世日在コレヲ奉納

書

壹幅

唐紙豎一尺一寸横三寸八步曼茶羅元應二年

四月八日 日朗菩薩之筆寄附人及傳來不詳

書

壹幅

唐紙豎八寸横四寸五步曼茶羅建武元年戊

七月八日 日像菩薩之筆傳來不詳當寺廿二世日浄

奉納

書

壹幅

唐紙豎一尺四寸横五寸一步曼茶羅天文八年

五月西京本國寺歷代日助上人之筆以下同上

書

壹幅

唐紙豎一尺八寸五步横壹尺三步曼茶羅天正十二年長月廿六日當寺開基日慈之筆

7 温泉津村真宗西樂寺

一書画

四幅

〔一書略〕

書

壹幅

紙地消息豎一尺七寸横八寸本願寺第八世蓮如法主ノ筆以下同上

〔一画略〕

一書

貳通

書

壹通

紙地消息豎二寸六分横四寸式分字数

三百八拾四字本願寺十一世顯如法主ノ

筆大坂石山籠城ノ際石見出雲兩國

防主中門徒中へ助勢依頼ノ消息年

月不詳

〔一書略〕

一百韻連歌

壹卷

細川幽齋玄旨法印ノ筆天正十五年

五月三日温泉津惠瑠寺ニ於テ興行題

書有之根本惠瑠寺ノ宝物ニ有之所往昔

當寺宝物ノ内菅家自筆ノ紺紙金

泥法華經ト協議ノ上交換スト古老ノ

傳説

8 温泉津村真言宗金剛院

一画

貳幅

畫

壹軸

絹地彩色觀音像豎貳尺貳寸五步横壹尺三寸兆典子筆延元二酉年三月開基鏡尊奉納

傳來所由不詳

〔一畫略〕

9 大國村真宗照林寺

一書

壹幅

紙地六字名號本願寺第八世蓮如宗主筆ト

言傳年月寄附人傳來不詳

10 大國村真宗照善坊

一書

壹幅

但 紙地本願寺八世蓮如宗主筆六字名号安永六丁酉四月

寄附安井善兵衛

11 大國村真宗大雄寺

一文書

老通

但 吉川元春ヨリ寺号拝領ノ直筆狀天正五年正月廿四日

當寺へ拝受

郡天川内村玉蓮山満行寺者浄土真宗之法場専修念佛之精
舎也所係洪鐘乃是長享三年治部少輔弘惟鑄之而寄附補刹
者也幹元録十四巳年三月寄附人大國村中原茂兵衛

12 天河内村真宗満行寺

一書

一幅

絹地宗祖見真大師筆十字名号年月日傳來不詳

寄附人大國村安井善兵衛

六字名号

紙地本願寺第八世蓮如宗主筆 寛保三癸亥年

一書

一幅

絹地宗祖見真大師筆九字名号年月日傳來不詳

寄附人大國村安井善兵衛

正月六日寄附鎌田梵幻

一書

一枚

紙地宗祖見真大師筆和讚年月日傳來不詳

寄附人檀家中

一鰭口

壹個

14 宅野村真言宗波啼寺

一書

一幅

絹地本願寺八世蓮如宗主筆六字名号年月日傳來不詳

寄附人大國村安井善兵衛

右志者大旦那周陽山口産藤原朝臣
伊藤宗右エ門尉秀忠伏願身宮安泰福壽
延長 慶長四己亥南呂吉莫 謹奉寄附
鰭口一ヶ之事 石州路仁摩郡 波啼寺
本堂掛納 觀世音薩埵御宝前者也

一書

一幅

絹地本願寺八世蓮如宗主筆六字名号年月日傳來不詳

寄附人檀家中

形丸壹尺八寸 重量 拾壹貫目

一書

一枚

紙地本願寺八世蓮如宗主筆 和讚年月日傳來不詳

寄附人檀家中

一書

一幅

15 磯竹村真宗浄圓寺

一梵鐘

壹

銘京西六条住吉田近江大掾藤原定慶作此重八十貫目鑄文石見国迹摩

16 静間村真言宗安樂寺

紙地六字名号寄附人傳來不詳
本宗八代目蓮如上人筆 年月日不詳

一画 老幅

絹地彩色理源大師像自筆年月寄附傳來不詳

一画 老幅

絹地彩色辨財天像弘法大師筆以下同上

一同 老幅

絹地彩色羅漢像恵心僧都筆以下同上

一同 老幅

絹地彩色天台大師像智證大師筆以下同上

〔安濃郡

寺院寶物古器物古文書目録

島根縣

1 刺賀村真宗極樂寺

一畫 老幅

絹地彩色觀世音像開眼師南山功德聚院ノ

筆施主賢泉房泉惣房惣門徒中

明應九庚申卯月日書之

2 池田村真宗浄善寺

一書 壹幅

本派中祖蓮如上人眞蹟六字尊號紙地綾表具

年月寄附人并傳來之所由不詳

〔邑智郡

寺院寶物古器物古文書目録

島根縣

1 吾郷村浄土宗定徳寺

一勅額 壹面

但寸方豎四尺四寸横貳尺三寸天正十七年中後陽成院

ヨリ賜ル文字寺号即定徳寺ノミ字ヲ書ス傳來ノ所由不詳

2 高見村曹洞宗盛椿寺

一棟札 一枚

奉再建堂 一字

眞元元丙子年六月吉日

当庵洞良尼代 願主祇園城忠盛公

大工棟梁中村奎蔵外一名

3 阿須那村真宗西蓮寺

一文書 一通

但天正四年中京都本願寺第十一世顯如宗主

ノ筆ニ係ル其由来ヲ左ニ記載ス

天正四年本願寺第十一世顯如宗主大阪ニ於テ

織田信長ノ攻撃ニ遭ヒ殆ント一宗之運尽ントス

於茲急ニ救援ヲ毛利氏ニ求ム毛利氏ハ直ニ兵

粮數百艘ヲ送り以テ之ヲ援ク信長拒戦スレトモ不

克僅ニ虎口ヲ脱シテ幸ニ開運ヲ得ルニ至ル茲ニ石

見國邑智郡口羽城主口羽下野守通良ナルモノハ
毛利家ノ大将ニシテカラ尽シテ数回ノ勢援ヲ為シ
タルニ由リ頭如宗主ハ毛利家ノ救援ヲ謝シ且將來
ノ懇情ヲ希望スル為メ口羽下野守通良ヘ送ラレタ
ル書翰ニシテ通良ノ三男口羽通元全年中携帶
當寺ニ入り當寺ニ入僧トナリ已來宝物トシテ保存セリ
一文書 一通

但年月不詳 石見國邑智具連口羽城主口羽通良
ノ筆ニ係ル其由来ヲ左ニ記載ス

年月不詳口羽下野守通良三男通元僧ト
ナリ本願寺頭如宗主ヨリ法名ヲ泉秀ト賜ハリ
當西蓮寺ニ入りタルニヨリ口羽下野守通良ヨリ
字細貝ト称スル地所ヲ寄付セル旨ヲ書シ該泉
秀ヘ送ラレタル書翰ニシテ已來宝物トシテ保存セリ

4 都賀本郷真宗善正寺

一棟札

一枚

奉再建立御堂

元龜三年壬申三月

現任職竹翁 大工萩原市右エ門尉

5 江尾村曹洞宗福應寺

一棟札

一枚

浄道場建寺而號福應使奉祈宝祚長久國家安全

元享元年酉之春

石見國邑智郡江尾村地頭渡邊式部恒

6 市山村真宗正蓮寺

一日丸名號

一幅

但シ絹地製ナリ傳來所由ハ左ニ記載ス
建保年間宗祖見真大師母公光姫沒後追

恩ノ為メ其遺衣兩袖ヲ方四寸ツ、ニ裁テ四十八トナシ其

一々ニ自ラ圓形ヲ画キ中ニ六字名号ヲ書ク回テ日丸
名號ノ名アリ而テ是ヲ有縁ノ道俗ニ授與シ以

テ善誘ス今當寺ニ傳フル所以ハ古老ノ口碑ニ據

ルニ當寺第三代住職服部孫左衛門入道浄心石山

戰爭ノ時軍功ニ依リ賞トシテ本願寺法主光佐ヨリ

天正十七年中下賜セラレタルモノト云フ

一佛像

一籠

但シ丈一寸八分木製ニシテ作者秦川勝其傳來所由ヲ左ニ記載ス

當寺第三代住職服部孫左衛門入道浄心石山戰爭

ノ時軍功ニ依リ賞トシテ本願寺法主光佐ヨリ天正十七年

中下賜セラレタルモノナリ

7 湯谷村曹洞宗長江寺

一邯鄲夢之枕

一箇

但南天木ヲ以テ猊ノ頭骨ヲ裝ヒ猊頭ノ形ヲ作

リ其後部ヲ枕ノ形ニ為シタルモノニシテ牙長サ一寸

二分齒ノ數上八十枚下八九枚アリ寄付人ハ石見國

邑智郡川本村元温湯城主小笠原長隆年

月及作者不詳

傳來所由古老ノ口碑ニ傳フル所ヲ掲ケンニ正親町天皇ノ御世年月不詳機内數百日雨降ラスシテ旱魃

甚シ為ニ植物悉ク枯ル庶民忽チ窮苦ニ陥リ

殆ント饑餓ニ迫レリ於茲天皇ハ宸翰ヲ惱マ

セラレ祈禱ヲ為シテ雨ヲ乞ハル、ト雖モ其効ナシ茲ニ

石見国邑智郡川本村元温湯城主小笠原長隆

ハ常ニ禮儀ヲ正フスルモノナルニ由リ之ヲ殿内ニ召

喚シテ能ヲ舞ヒ雨ヲ祈ラシメラル此時比叡山ノ方

ヨリ黒雲出テ忽チ一天ヲ蔽フ雷鳴轟々降雨甚

シ於茲叡感不淺萬民ノ喜悅限りナシ為其

賞該枕ヲ下賜セラレタルモノナリ該枕ハ吉凶ヲト知

スルヲ得ルモノニシテ小笠原長隆ハ常ニ之ヲ用ヒ毛利

氏ト戦争セシ時ノ如キモ之ヲ以テ一時勝利ヲ得タリ

ト云フ其後石見国邑智郡三原村元円山城ニ於テ毛

利氏ノ攻撃ニ遭ヒ該家滅亡ノ際其菩提寺タ

ル当寺へ寄付セラレタルモノナリ其他傳來不詳

一陣鐘

一箇

但銅製ニシテ經五寸重量百五十目寄付人石見国

邑智郡川本村元温湯城主小笠原長隆年

月傳來所由不詳ナレトモ古來宝物トセリ

8 祖式村真宗浄土寺

一文書

一通

但天正年中本願寺家老刑部卿法

眼ノ筆ニ係ル其由來ヲ左ニ記載ス

天正年中本願寺ト織田信長ノ戦

争ノ時本願寺家老刑部卿法眼

ヨリ當寺門徒中へ兵糧彈藥ヲ指

出スヘキ旨ヲ命令シタル書ニシテ古來

寶物トセリ

9 川下村真言宗甘南備寺

一鑑

一

但威シモハ赤色ニシテ年月寄附人不詳古老

ノ口碑ニ據ルニ佐々木四郎高綱之鑑ト云フ

傳來所由不詳

一寫經

壹卷

但理趣分ヲ寫シタルモノニシテ筆者ハ源頼家

ナリ年月寄附人傳來所由不詳

一寫經

壹卷

但般若心經ヲ寫シタルモノニシテ筆者ハ高祖

大師ナリ年月寄附人傳來所由

不詳

〔寺社史料47 那賀郡・神社〕

明治十二―十七年調

社寺宝物文書目録

島根県那賀郡 上

〔那賀郡

神社寶物古器物古文書目録

島根縣

┌

1 黒川村大祭天石門彦神社

一棟札

一枚

天正十九年辛卯十二月本殿造立大壇那藤原朝臣繁澤

元氏大願主神主嫡女處神主大中臣朝臣岡本大藏丞親貞

一棟札

一枚

永録三年庚卯十二月屋根葺替發記松平周防守康贊家臣

石川作右衛門昌元祠官右近輝正

2 原井村天満宮

一棟札

壹枚

天文五年庚申六月二十三日寺社奉行石川弥五左工門

社司江木賀内定廣謹言三沢次郎兵衛上柳半兵衛中

村彦右衛門本田七郎左工門

3 原井村八幡宮

一棟札

壹枚

4 日脚村八幡宮

一棟札

一枚

大永八年子九月廿七日兼林兼延兼定兼晴兼理兼續右京進

勝手神左工門女大施主六位丸実小六尉荒木鳥居大谷

一同

一枚

天文廿四年己卯十一月廿一日六位丸実七郎工門吉久兼謙兼藏兼嘉兼誠

一同

一枚

天正五年丁丑八月十二日六位丸実七郎工門大工内藤小五郎龜家惣右門

内藤出雲守

一同

一枚

天正十二年甲申九月廿一日六位丸実七郎工門奉行荒木筑前守永家

備前守

5 周布村春日神社

一棟札

壹枚

正中二丑年仲春 願主藤原氏

一棟札

壹枚

永正元甲子年護持吉賀加賀利重

源左工門利藤治左工門重信三秀醫士杏伯醫生

6 内村八幡宮

一棟札

壹枚

八幡宮御寶殿天文六稔丁酉臘月十四日 郡主
内信濃守藤原兼康 本願沙門長福寺住持慶繁
貞實菴住源長 神主新太夫 細文省略

永祿四年辛酉三月檀那吉川

一棟札

一枚

淳和元年^マ亥^マ閏八月十三日神主甚衛門
長左衛門

7 小坂村大歳神社

一文書

壹通

天文二年癸巳正月十一日寄附人信兼撰者人
筆者人不詳 神龜元甲子年中建立由来書

10 小国村最中山神社

一棟札

壹枚

應永四年四月再建大願主藝刃前大守沙弥
通啓小国村庄屋三浦喜三郎為俊

8 木都賀村八幡宮

一棟札

壹枚

永祿^一十一年五月三日
信心大旦那藤原朝臣藤兼 同元祥
御遷宮被行大宮司野上右門大夫 同息弥次良
惣大工増野長右 門 大崎惣右 門
小工河野三郎右 門 鍛冶新治郎新九郎

11 久佐村八幡宮

一棟札

壹枚

奉再興兩所權神殿 一字 文詞二窮呂神光不昧照徹
庶民至誠聖德無私鑑知願主懇意天地之長
州縣安泰共唯兩所權現三嶋明神威而不猛默而能知
此境稟務○之化地方誇繫壤之娛祝南山壽算祈
北關○泰冀靈鑑○謹○嘉慶元丁卯年七月
大旦那越前藝州大守藤氏為光トアリ ○八字証不祥○ナリ

12 七條村嚴島神社

一棟札

壹枚

仁安三年戊子九月十七日 從藝刃宮島奉勸請
云々勸請人不詳七條村青原ノ里卜記載

9 永安本郷八幡宮

一棟札

一枚

13 七條村八幡宮

一棟札 壹枚

于時承平四^辛午天八月十五日奉勸請

八幡大神宮伊木村百姓中云々餘ハ古筆ニテ

文字不詳

一棟札 壹枚

但此分承平四年度ノ棟札ノ裏ニ于時文祿二天

己八月吉日梵字三字有リ不詳奉新建立

八幡宮舞殿一字下ニ小字多載古筆不詳

14 今市村大社神社

一棟札 壹枚

天文三甲辰年三月再造大屋代大明

神一字 大旦那吉川元春 代官平

佐右ヱ門尉元保奉行

15 木田村應地山神社

一棟札 壹枚

但慶長三^{丁卯}三月十六日庄屋佐々田類三郎

神主二宮長門組頭佐々岡利三郎佐々岡政

次郎岡本儀三郎大工十右ヱ門鍛冶為吉

16 和田村八幡宮

一棟札 壹枚

但應永十一年^{甲申}十一月五日代官志賀三郎兵衛庄屋

谷尾長七神主姓名不詳大工佐右ヱ門六兵衛半兵衛

木挽角左ヱ門五兵衛鍛冶三右ヱ門中興願主谷尾
茂右ヱ門

一棟札 壹枚

但弘治三年丁巳八月吉日神宮寺宥祖宥識

一棟札 壹枚

但慶長年中月日姓名不詳

17 和田村山辺神社

一棟札 壹枚

但破損ニ付年月不分明再建立式内

山辺社辛卯年大願主福屋兵衛治郎

兼仲神主山根右京進好兼神田

者八色段原塚田

一棟札 壹枚

但再建立延元元年子九月三日大旦越

福屋播磨守兼香公代神主山根

左兵衛利兼裏ニ仁治二丑^方延元元

子迄九十六年ニ成ル卜書載有之

18 和田村嚴島神社

一棟札 壹枚

但應永九丙午正月日再建當社頭山根

六郎大夫兼吉同四郎大夫兼清

19 今福村八幡宮

一棟札 老枚

元龜二年四月神殿再建立大願主當司

山縣越前守大檀越吉川駿河守藤

原朝臣元春同少輔次郎元資

20 丸原村天満宮

一劍 老口

銘備州長船則光焼刃不詳長サ老尺五歩

寄附人湯淺英左エ門年月及ヒ傳來所由不詳装具ナシ

21 佐野村八幡宮

一棟札 老枚

天長元年辰九月十二日神殿再建立

大願主藤原朝臣周防藤九郎元盛

同周防兵部少輔兼政

一棟札 老枚

永祿元年庚午九月廿九日神殿再建

立大願主藤原元兼

22 上府村八幡宮

一棟札 一枚

天正八庚辰八月神官願主大工木挽屋根師不詳

23 下府村伊甘神社

一棟札 一枚

弘治二年丙辰十一月吉日奉再興符中濱宮 一字藤原高直福屋小
太郎大工七作小工二良願主丁卯同己巳

24 下河戸村天満宮

一棟札 老枚

永祿拾有天九月廿日大旦那油原豊

後守祐堅大工藤原三郎左兵衛

25 南川上村八重山神社

一棟札 一枚

天正二十一年巳二月本願寺屋敷與宗右衛門

大宮司村尾舊左衛門

26 井野村八幡宮

一鏡 老面

無銘文治二丙午年周布地字清所ニ御出頭ノ御

靈卜傳フ寸法三寸八歩厚六歩量目百三拾五匁

鑄文松竹梅鶴龜天下一ノ文字アリ形丸寄附

人不詳

一甲冑

札威シ糸年月不詳寄附人周布長門秀吉公

朝鮮征討ノ際奉納セシモノト傳

〔等社史料45 美濃郡 神社〕

明治十二十七年調

社寺宝物文書目録

島根県美濃郡 上

〔美濃郡

神社寶物古器物古文書目録

島根縣

」

1 中ノ島村八幡宮

一棟札

但永正十七年 社檀建立氏子中寄附

大願主 藤原朝臣彈正

兼綱并兼順

一同

但元龜三年 社檀再建氏子中寄附

大願主中務大輔藤原兼豊

大工藤井五郎衛門尉重貞

2 久城村櫛代賀姫神社

一棟札

尙枚天正二年九月本社建立氏子中寄附

尙枚明和二年九月本社再建同上

二枚

3 波田村八幡宮

一棟札

尙枚

延慶元年^{戊申}八月十五日神人内山少将

兼綱

三枚

4 都茂村八幡宮

一文書

内

尙通

津茂郷太夫敷ノ事天文十八年十二月二十

九日兼永在判

尙通

右同上全年十二月二十六日権六在判

尙通

津茂村宇津川村太夫分義弥九右^子門二

宛遣云々天正五年十二月小原彈正忠

在判

尙通

津茂郷八幡宮社領式ノ事弘治二年三月

兼永在判

尙通

津茂郷八幡宮五節句祭田ノ事年曆

不詳小原中 大夫連判

尙通

引地名ノ事天正九年三月兼里在判

尅通

津茂郷八幡宮宇津川新宮段石慶長四年八月増藤宅野不休連判尅通全上写

尅通

尅通

新宮神田ノ水通シ小田ノ事弘治二年三月

兼永在判

尅通

宇津川村新宮神田渡帳天正十九年二月

兼日左衛門進増野甲斐守連判尅

通全上写尅通

尅通

宇治地頭職之事建武五年尼是阿

ヨリ兼里へ尅通正平十五年兼里ヨリ兼永へ尅通

拾尅通

事情并二年月不詳

以上三十四通ハ当社神職原屋家ニ関スル

書類ニシテ当社ニ蔵シテ有之候尤筆

者ハ惣テ不詳

5 澄川村八幡宮

一甲冑

尅副

札威之毛等古相ニテ不明合殿丹

生那神社ハ天文之頃寺戸和

泉守ナル者丹波國龜山城ヨリ来

テ此地ニ住シ其子平吉ヲ祭リシ

モノニテ此甲冑ハ平吉ノ着用セラ

レシモノナリト古老ノ口碑ニ傳フ其年

月等不詳

6 上黒谷村八幡宮

一棟札

尅枚

永正拾四丁丑年卯月二十二日建立本願

主黒谷周防守藤原満善大工中山

次郎左衛門尉守信全小工三人全鍛

治井屋重右衛門全家頼火太郎

右ヱ門役人大江惣右衛門尉秀

元

7 市原村八幡宮

一棟札

四枚

壹枚

奉建立八幡宮社一宇當村守護神主梅宮朝臣

政光文治二年十一月十一日

尅枚

奉再建立八幡宮一宇事當村繁昌天正元年酉

九月十六日十二氏子田村仁左衛門神主田村善助

〔等社史料49 鹿足郡 神社〕

明治十七年調

社寺宝物文書目錄

島根県鹿足郡 上

〔鹿足郡

神社寶物古器物古文書目錄

島根縣

1 鷲原村八幡宮

一鏡

一面

無銘丸形表佛像アリ經リ三寸裏ハ釘ニテ板ニ附
有之ニ付鑄文及ヒ製造人年月重量等不分明
文明六年八月廿日寄附人名不分明傳來所由不詳

一全

一面

無銘丸形表佛像アリ經リ三寸五歩裏ハ釘ニテ板ニ附
有之ニ付鑄文及製造人年月重量等不分明享祿
二年卯月吉日寄附人名不分明傳來所由不詳

2 田二穗村喜時雨神社

一南蛮鉄銃

一貳挺

當社祭神龜井武藏守茲矩朝鮮証伐ノ節分捕ノ品物
ニテ長サ四尺八寸周圍貳寸五歩ノ臺長サ五尺六寸六歩周圍臺
共合七四寸七步玉目不詳筒口經六分火繩打鑄文無之旧藩
主龜井家重代所藏ノ所明治四年六月龜井茲監當

社工奉納

一施機翼虎銃

一壹挺

當社祭神龜井武藏守茲矩朝鮮証伐ノ節分捕ノ品物

ニテ長サ貳尺周圍七寸玉目貳分五分火繩打鑄□□□旧藩
主龜井家重代所藏ノ所明治四年六月龜井茲監當社工

奉納

一朝鮮人寐床并属具

一壹箱

當社祭神龜井武藏守茲矩朝鮮証伐ノ節分捕ノ品ニ
テ朝鮮人寐床并属具壹箱トモ明治七年東京
博覽會エ龜井從三位ヨリ可差出旨申來候ニ付差出シ
候所未帰候ニ付寸方装色等不分明旧藩主龜井
家重代所藏ノ所明治四年六月龜井茲監當社へ奉納

3 中曾野村八幡宮

一棟札

一二枚

正長元年再興造営支配下瀬源兵衛
尉源頼方 出納支配堀千若菅原末富
番匠支配 相川匠之助平信齒 屋根師
吉松藤二兵衛尉源時 一鍛冶山縣式部
尉藤原祐房杣方支配津守勘五兵衛
尉藤原俊直 遠近支配山根長兵衛尉
藤原重政 惣奉行羽角兵部前司源
朝臣頼遠大官司岡民部少輔藤原朝臣
頼秀

一劔

焼刃直焼長サ二尺三寸中心四寸六分装具

地金銅模様ナシ大刀造ニシテ銘備前國

住長■永録三年二月ト有之吉見正頼

奉納年月傳來之由緒等不詳

一古錢

四枚

紹聖元宝量目九分祥符元宝量目全上

皇宋元宝量目全上元祐通宝量目全上

古来ヨリ当社ノ宝物ニシテ傳來ノ由緒年月

寄附人等不詳

4 青原村八幡宮

一棟札

壹枚

治暦三丁未年八月廿三日登米佐内造榮ス

5 福川村八幡宮

一棟札

壹枚

弘安五年_(マ)壬午二月五日神主三浦備後守藤原政治

庄屋木村市右衛門大工藝州廣島上村惣右衛門

木挽野村治右衛門

6 朝倉村那智神社

一書籍

六百卷

大般若經版本弘治二年三本松旧城主

吉見正頼公寄附

7 六日市村上領十ヶ村郷社新宮社

一寫經

六百卷

大般若經全部箱入筆者加尼法欽玄祐其外數

人ニシテ明德四酉年ヨリ永禄十二巳年迄百七十

七年ノ間ニ調之紀州住人琴浦景則寄附

一棟札

壹枚

正應元年大宮司大江左近大夫

虫入ニシテ月日及
文面不詳

一面

二面

木面石州三本松城主吉見三河守正頼自作依宿願

永禄五年八月吉日寄附

8 立河内村宗兼神社

一劍

一口

焼刃乱焼装具ナシ銘左近長光寸法三尺一寸一步石州津和

野旧城主吉見ノ一門上領玄蕃所帶ノ刀ニシテ立河内村下森久左

エ門所蔵ナリシヲ明治八年月日不詳寄附ス其他傳來不詳

〔寺社史料44 那賀・美濃・鹿足郡 寺院〕

明治十二丁十七年調

社寺宝物文書目錄

島根県 那賀郡
美濃郡 鹿足郡

下下下

〔那賀郡〕

1 原井村真宗顯正寺

一書

紙地四字名号筆者見真大師年曆及傳來所由

寄附人不詳

一幅

一書

紙地和讚二首筆者見真大師年曆及寄附人

傳來所由不詳

二幅

一寫經

紺紙金字五行 筆者弘法大師年曆及寄附人

傳來所由不詳

一卷

一書梵字

蓮華ノ中二六字名号筆者弘法大師年曆及

寄附人傳來所由不詳

一幅

3 岡崎村真宗淨蓮寺

一書

紙地筆者蓮如上人傳來所由并二寄附人年

号月日不詳 十字名號

壹幅

一書

紙地筆者實如上人傳來所由并二寄附人

年号月日不詳 六字名號

壹幅

4 芦谷村曹洞宗龍雲寺

一畫

紺地彩色筆者弘法大師年号月日不詳

寄附人橋本シモ傳來所由不詳 十三仏ノ像

壹幅

5 矢原村真宗安樂寺

一畫

筆者九條殿太政大臣兼實公大鏡山之三字

萬延元年九月三分妙典一同同人ヨリ寄附

壹幅

6 波佐村曹洞宗永昌寺

一書籍

天文年中尼子伊豫守經久ノ寄附傳來所由

不詳 法花經判本

八冊

2 長濱村曹洞宗訂心寺

一画

紙地黒画羅漢像嘉吉三癸亥筆者佳木筆

十五幅

7 上府村臨濟宗安國寺

一文書

壹通

撰者筆者足利左衛佐永徳二年五月

七日同人安國寺ヲ諸山ノ列ニ被任候文書

一同

壹通

撰者筆者織田信長年月不詳只四月

十一日トアリ長州國清寺當ノ文字ニテ

昔時ノ任職安國寺江移轉ノ節持

参スト口牌ニ傳

一画

壹幅

紙地布袋墨画筆者雪舟年月日

不詳安永四未冬佐々田長兵衛寄

附傳來ノ所由不詳

一扁額

貳枚

豎壹尺五寸横貳尺壹寸伊甘山ト安國

寺トノ文字筆者朝鮮國■齋居士

年月日不詳本寺東福寺住職天瑞

和尚朝鮮書契御用ノ節依頼シテ

求之

8 上河戸村浄土宗浄国寺

一扁額

一面

豎二尺一寸横壹尺 後奈良院勅筆

浄国寺ト云文字アリ年月日及寄附

傳來所由不詳

一画

一幅

紙地墨繪筆者雪舟永正元甲子十月

十五日美作国津山泰安寺住良圓寄附十六羅漢ノ像傳來所由不詳

一書

一幅

紙地筆者普光觀智国師老少元來

無空院後前難道ト云文字アリ

慶長二丙年二月十五日同人ヨリ當

寺先住職春問賞ヒ受之ヲ寄附ス

傳來所由不詳

「美濃郡

寺院寶物古器物古文書目錄

島根縣

┌

1 益田本郷真宗順念寺

一袈裟

壹枚

紺地■紅錦七条之袈裟抑此袈裟ハ

元征夷大將軍源頼朝公裝束ナリシガ

然ルニ永禄天正ノ頃以前當寺天台宗ノ時

年曆不詳第三世住職ハ源範頼公ノ末男ニテ

親感菩提ノ為袈裟トシテ着用シ從

其爾來相傳ノ袈裟■往事ヨリ傳語ケリ

2 益田本郷臨濟宗医光寺

一畫

一幅

紙地山水画墨画雪舟ノ筆年号永正ノ頃
当寺住職中ニ書置タルモノナリ

3 益田本郷曹洞宗妙義寺

一画

十八幅

内
十六幅

紙地雪舟筆墨画十六羅漢頭陀圖年月
寄附人并傳來ノ所由不詳

壹幅

紙地雪舟筆彩色画釈迦如来圖年月寄附
人并傳來ノ所由不詳

4 益田本郷時宗萬福寺

一書

壹幅

聖武天皇光明皇后御震翰紙切レ紙年月
寄附人傳來所由不詳

一畫

十四幅

内

壹幅

管相公像紙地墨畫管相公自筆三代師阿月
眞寄附年月傳來所由不詳

壹幅

弘法大師自筆蓮糸織紺地金粉佛畫十一代目
但阿惠教寄附年月傳來ノ所由不詳

壹幅

瀧見觀音像尊觀法親王筆紙地墨畫年

月寄附人傳來所由不詳

壹幅

達磨大師像唐ノ周文筆紙地墨畫廿一代

目周山寄附年月傳來ノ所由不詳

〔中略〕

一棟札

七枚

内

壹枚

應安七年十一月益田越中守兼見公再建三代

月真ノ時大工右ヱ門尉

壹枚

屋根葺替天正十四年八月十五日大檀那藤原朝臣

元祥十二代弥阿證善ノ時奉行品川大膳進

大橋京右ヱ門尉大工播州住塚本四良右ヱ門尉

5 中ノ島村曹洞宗西福寺

一画

壹卷

紙地墨画達磨ノ像雪舟筆跡亭和

三年之夏當郡下本郷村大喜庵主一夜

寄宿ス夢ニ一老人来リ云フ我ハ雪舟也此

寺ニ吾筆跡ノ高祖ノ像故紙中ニ埋没

ス望ラクハ君是ヲ求メヨト夢醒テ故紙
ヲ点検シ果シテ此像ヲ得タリ依テ表
装ヲ加エ當寺ノ重寶ト為セリ尤寄附人不詳

6 丸茂村曹洞宗大智寺

一畫 老幅

無準禪師之筆渡江達磨宋蘭溪贊文

寄附人并其年月傳來所由等不詳

一劍 老口

両刃ノ劍銘正英焼刃不詳寸法刃老尺

八寸重量貳百弍拾目装具真銅

一腰掛 貳筒

一陳鳴鉢 老箇

地金唐金模様ナシ重量弍百弍拾目右

三品年月不詳寄附人藤井甚右衛門

往時豊臣秀吉朝鮮征伐之時甚右

エ門彼地ニ於テ責取タル者ナリト云ヒ傳フ

7 横田村真宗正法寺

一棟札 一枚

天正三乙亥開基正誓建立慶安三庚寅年

第四世順勝再興ノ所由緒而已ニテ棟札無之元文

四己未年九月十一日第七世住普觀代再建立

8 梅月村曹洞宗聖清寺

一畫 十六幅

紙地彩色ニテ十六羅漢之畫像ナリ畫師ハ

雪舟ト云傳フ年月及寄附人并傳來ノ所由不詳

一畫 壹幅

紙地墨畫ニテ達磨畫像ナリ畫師ハ同シク

雪舟ト云傳フ年月及寄附人并ニ傳來ノ所由是亦不詳

一硯 壹箇

質ハ石ニテ長八寸幅三寸三分重量六百二十目畫師

雪舟ノ硯ト云傳フ、年月及寄附人并ニ傳來ノ所由是亦不詳

「鹿足郡

寺院寶物古器物古文書目錄

島根縣

1 後田村真宗常光寺

一阿弥陀佛立像 一

長サ老尺恵心僧都自作ニシテ西京本願寺准如法主ヨリ年月日不

詳開基蓮齋へ授与セラレシ者ナリ

2 後田村真宗遍証寺

一木像 一軀

宗祖見眞大師七十二歳即寛元癸卯ノ春京都五條西洞院

花園庵室ニ於テ自ラ彫刻スルモノナリ自後淳信禪尼護持セ

ラレシ處又其後三條殿ノ宝庫ニアリシカ故アツテ文禄年中

開基了念ニ授与セラレシ以来當寺ニ所藏スルモノナリ

一書

一幅

紙地ニテ見真大師ノ真跡六字名号ニシテ其傳來ノ所由年号等不詳

3 後田村曹洞宗永明寺

一書

老幅

紙地ニテ文長文ニ付省ス宗祖道元国師筆寄附人傳來等年月不詳

一畫

老幅

絹地涅槃極彩色兆典司筆寄附人傳來等年月不詳

一羅漢畫像

拾六幅

絹地羅漢像極彩色李龍眠筆寄附人傳來等年月不詳

〔等社史料34 海士郡・知夫郡・神社〕

明治十二、三年調

社寺宝物文書目録

島根県海士郡知夫郡

〔海士郡

神社寶物古器物古文書目録

島根縣

1 海士村大山神社

一棟札

其一 天正元年酉九月吉日 神主 村上祐九郎

八枚

2 崎村三保神社

一棟札

其三 永祿十二年己卯二月吉日

六枚

神主 渡辺助藏

息男 源太郎

孫太郎

敬三郎

内義 とし

息女 くに

導師 觀音寺快遍

建興寺堯慶

神樂 太夫治部

大工 八兵衛

新左衛門

〔知夫郡

神社寶物古器物古文書目録

島根縣

1 浦鄉村由良姫神社

一刀

銘備前國長船清光作 長サ一尺八寸五分直刃

鉏切羽銅縁々頭赤銅地蜜柑ノ模様柄淺黄

絹糸卷鞘黒塗寄附主傳來等不詳

一刀

銘備前國長船祐定ノ作 長サ二尺四寸柄淺黄色

木綿糸卷縁頭赤銅ニ鶴丸ノ模様 目貫銅唐

獅子 鉏切羽銅地ニ金焼付鞘墨塗寄附

主傳來等不詳

一同

〔棟札〕

壹枚

奉造立鎌倉持時御代官堅□□大工秀光

吉定小工次郎兵ヱ尉次郎左衛門□享十

年戊十一月廿五日

2 浦鄉村日吉神社

一同

〔棟札〕

壹枚

長祿以下文字不詳

一同

壹枚

永祿二九月以下文字不詳

一刃

壹口

天政六年八月銘備前住長船祐定作

焼刃鑄身無鞘ニシテ装具ナシ長サ

式尺三寸寄附主及傳來ノ所由等不詳

一同

壹口

銘備州長舟源兵衛尉祐焼刃直刀長サ

壹尺五寸八分鞘黒ダ、キ塗柄唐木綿

卷縁頭共ナシ目貫赤銅獅子切羽

焼付ヶ色鴉目真鍮鍔鉄地金形

模様鏝ナシ鉦銅明治九子年五月

九日当郡美田村川上元龜寄附傳

來ノ所由不詳

3 美田村大山神社

一棟札

一枚

奉棟上大永八年子戊五月二日供養舞幢子重八人

三嶋大衆二百人伎樂本願宥弘名假惠明導師

開山金光寺住勢應僧都松養寺舜宥法卯

長福寺僧勢善別當旦那笠置伴清助備

中守小旦那妙忍小旦那妙巖

當國守護伊豫守源経久朝臣御代官石塚

出雲守貞九郎兵衛大工管原經重真野宗六治

部左衛門鍛冶又四郎奈羅部九郎兵衛新兵衛弥

左衛門太良兵衛赤木修理野村宗右衛門孫右衛門

4 美田村美田尻神社

一棟札

壹枚

天正十八寅年九月廿八日本願笠置善

左エ門尉伴正綱

5 美田村焼火神社

一色紙

一枚

後醍醐天皇ノ御宸翰也元弘年中當國御遷幸

ノ御時御寄附有之候由

一劔

一口

長サ九寸五分乱焼刃無装具白木鞘也助宗作承久年中

後鳥羽天皇當國御遷幸之砌風波甚シク御船如簸

殆危シ帝當社ニ御祈念被為遊カバ忽風波穩ニ相成

■首無恙岸ニ着ケリ則御社参御寄附有之候

ヨシ傳來ノ事由不詳 以下共

6 宇賀村比奈麻治比賣神社

一棟札

一枚

永正十六年己卯六月十六日三好隼之輔神主

宇野鹿之輔源治道

一同

一枚

永祿十二己巳年九月十七日毛利元就為宰使佐田

俊兼神主宇野美弥源義信

一同

一枚

慶長五庚子年五月日不詳堀尾帶刀役所後藤

兵左エ門神名職宇野形部源能薦

一劍 一口

燒刃私焼装具等無之長式尺毫寸無銘應永

式拾年癸巳六月隱岐直治寄附傳來不詳

一面類 一

應永廿年癸巳六月隱岐直治寄附模樣

ナシ傳來ノ事由不詳

7 宇賀村真氣神社

一棟札 一枚

天文廿一壬子年霜月廿一日御代官梨子三左衛門神主宇野

左衛門尉源■雄

8 知夫村天佐志比古命神社

一鏡 一面

無銘形丸經四寸二部量目八十五匁鑄文ナシ貞應

二年九月廿九日佐藤行部太夫貞重寄附傳來

事由不詳

一同 一面

無銘形丸經四寸式分量九十五匁鑄文ナシ貞應

二年九月廿九日佐藤行部太夫寄附傳來ノ

事由不詳

一縁記書 一通

延應元己亥年正月撰者佐藤形部大輔貞重筆者

同人

〔寺社史料43 周吉郡・穩地郡 神社〕

明治十二、三年調

社寺宝物文書目錄

島根県 周吉郡 穩地郡

「周吉郡

神社寶物古器物古文書目錄

島根縣

1 東郷村小田神社

一棟札 壹枚

建久三年八月日 大工名其外名前不明

2 飯田村宮原神社

一棟札 一枚

永正十八年一月十日 大工其外名前不詳

3 犬來村三穗神社

一棟札 一枚

天正十年十一月十二日 大工其外名前不明

4 今津村嚴島神社

一棟札 壹枚

永正十七年辰霜月十五日 神主藤原六郎右エ門

5 卯敷村白髭神社

一棟札

壹枚

天正四年十月

神主不詳

大工源左衛門

一同

丁卯六月日黒見与阿弥陀佛於大壇那奉建立者也 大壇那
山名伊豆守源之武御代官姓名国造七郎介則貞職弁

一枚

寛正三年壬午十二月十三日

右造宮上葺意趣者長祿二年戊寅八月廿四日大風吹社壇

打破畢仍當国守護京極殿依御下知守護代隱岐守国中相懸

此間造宮云々并御遷宮 隱岐五郎左衛門尉清秀小守護代

職弁重栖七郎右衛門清重當国造吉田清信

一同

一枚

永祿十一年戊辰四月十五日

右社頭者從建立以來雖造營及每々破損之際從永祿十一年

戊辰三月五日作事始之上葺既畢同四月十五日御旨拳御遷

宮成調処也 大壇那當国守護佐々木左衛門大夫為清

同舍弟三郎五郎景房勸進本願山伏如意坊作事奉行稻原

清左衛門信重當国造吉田宮丸

6 下西村玉若酢神社

一棟札

一枚

正和元年壬子八月日

右依建立是ヨリ以下国中勸進被建立既及八十余年至壬子朽

損表葺御神体被雨露打給爰西郷公文僧久尊相語聖教泉

坊道前少々勸進加自力從七月廿一日作始秋裡建立御遷宮

畢 大壇那但馬坊久尊勸進聖人教泉坊小工蓮性坊覺慶

宥澄其外押寄不知人数

一同

一枚

應安七年甲寅正月十一日

右建立者自聖教泉坊之建立至應安七年甲寅及六十二年

於朽損御神体雨露打給爰於佐々木薩摩守大壇那御代官

来海六郎左衛門尉秀重當国造七郎介則貞相共於右兵衛尉

藤原支長大工小工不知其数同心奉建処也

一同

一枚

至德四年丁卯四月廿一日

右造營棟上者建立之後十四年至德四年丁卯年山名伊豆守於

大壇那以米二十石面々六人給人来海六郎左衛門入道賢覺国造

七郎介則貞相共被造營棟上畢并門客人神社共同以至德四年

7 下西村和氣能須神社

一棟札

十三枚

慶長元年酉六月廿八日改造 一枚 神主中西四郎兵工

〔以下略〕

8 西郷港西町國府尾神社

一棟札

拾九枚

延慶三庚戌年五月吉日

新建立 神主村上左京亮源高秀

国主佐々木清秀

建立 神主村上中務少輔源高景

国主 佐々木薩摩守

至徳三丙子年九月吉日

修覆 神主中務大輔源高進

国主 山名伊豆守

長祿二戊子年六月吉日

新建立 神主村上刑部少輔源隆實

国主 隱岐五郎左衛門尉清秀

永正八辛未年五月日

修覆 神主村上刑部大輔源高明

国主 隱岐新五郎左衛門尉宗清

永祿十一戊辰年五月吉日

建立 神主村上筑前守源高輝

国主 佐々木左右衛門大夫為清

〔以下略〕

9 西郷港西町水祖神社

一棟札

八枚

奉再建立天満自在天神 當旦那伊後清兵衛尉

天文廿二年丁卯四月

代官宝定寺與四郎公清疊

〔穩地郡

神社賣物古器物古文書目録

島根縣

「

1 都万村高田神社

一棟札

一枚

至徳四年丁卯九月其他不詳

一棟札

慶長三年戊戌九月神主坪井久三郎

2 小路村熊野神社

一棟札

一枚

天文十七年 小説不詳

〔寺社史料42 島根県全郡：神社・寺院 追加分〕

明治十二丁十九年調

社寺宝物文書目録

島根県神門郡 下

1 神門郡上島村河内神社

一棟札

壹枚

文明参年卯月地頭禾廣神主泰吉藤原泰吉

一同

壹枚

文龜二年九月廿九日神主藤原吉定願主碓田兵市

2 安濃郡池田村高田八幡宮

一棟札

壹枚

天文十八年乙酉十一月建立神主中務大夫

藤兼久代官平三左 子門尉願主佐波越

前守三善朝臣興違

3 安濃郡池田村高田八幡宮

一棟札

壹枚

天文十八年乙酉十一月建立神主中務大

夫藤原兼久代官平左 子門尉願主佐

波越前守三善朝臣興違

4 飯石郡乙加宮村禪定寺

一文書

壹通

文祿四年九月廿日佐世石見守ヨリ高三拾七石八斗

四升壹合ノ地寄附書筆者不詳

右者禪定寺附屬古文書ニ御座候處然ルニ明治十七年

六月十一日寺院寶物古器物古文書目録進達致候際誤テ

書載洩ニ相成候ニ付今更届洩等不都合之義ニ者候

得共何卒該目録中工御記入被成下度此段御届仕候也、

5 周吉郡西郷西町水祖神社

一棟札

壹枚

天文二十二年寅四月当檀那伊後清兵衛尉名乘代官宝定寺與四郎公清量

一同

壹枚

天文廿三年寅二月当檀那伊後清兵衛尉名乘代官宝定寺

與四郎公清量

〔中略〕

右ハ客年十一月廿日火災ノ際焼失致候条、此段御届

仕候也

明治廿二年一月十九日〔以下略〕

島根県立図書館所蔵 「神社由緒書」 (明治三十五年)

〔寺社史料92〕

島根縣神社由緒書 一
八束郡 上

1 講武村大字北講武 八幡宮

○棟 札

奉建立八幡宮 養和元^{辛丑}八月日 社司兩人

八幡宮奉建立 ○ 大旦那國守尼子民部少輔晴久公

本願道椿 脇旦那宮廻宗左衛門尉平利正是也

^{二百}尼子式部少輔殿 ^{百五十}朝山殿、

^{百五十}隱岐殿 ^百熊野備前守殿

^百野波殿 ^{二百}雜賀殿 ^{五十}高尾殿

大工柚木迫熊千代名代細田勘解由同亦次郎

長迫与市左衛門 高井神右衛門

夫奉拝明當社之古來靈德莫大 忝日

神繼胤日城人帝之曩租神武聖君弟

十六世應神天皇變作仲哀天子与神

功皇后大子也爰皇后為散先帝崩御

之胸波押渡万里滄海輒々随三韓御帰

朝之時此君誕生坐備^リ玉^フ 一天聖主異國

本朝何不仰此勅風既聖壽經 一百十

一歳之星霜崩御欽明天皇御宇此尊

靈三歳小兒^ト頭^レ暫立竹葉宣我此日本

人皇十六代譽田天皇護国靈驗威力

神通大自在王菩薩也然今為王法鎮

護三韓降伏出現此所給由依御詫宣

揭焉則奉祝宇佐八幡宮自尔以來至

澆季誰非此薩陲之餘裔信^ヲモ信^シ仰^ヲモ可奉

仰之而已然去養和元^{辛丑}移御影

於此加賀庄延福寺名一宮立社頭於

西谷村常磐松樹林間奉崇惣社者下

化衆生之本誓無怠故此氏子者常生

善處受諸妙樂子孫繁昌現世之怨敵

還而起慈代々繼踵榮其家後生亦不

誤之者也、

御造營時當庄地頭殿御奉加錢事

壹貫五百文 宍道分 五百文 同公文分

五百文 熊野分 五百文 柏尾分

五百文 黒田分 五百文 野波分

五百文 末廣分 以上六貫五百文

右往古以來定例如件

當社頭依大破之節天文廿三^{甲寅}之

年令造立畢 本願宮迫宗左衛門尉

平宗正 大工柚木迫又次郎藤原
時代官安田六郎右衛門尉 青砥勘
解由左衛門尉藤原盛重 内田與三
右衛門藤原重久 遂功力於修造欲蒙
冥助於自身者也

2 御津村大字小島 御津神社

○梁 簡

〔朱書〕吐普加身多女寒言神尊

于時永祿三年護持施主本願神主難波助右衛門

奉造立小嶋大明神 一字天長地久御願圓滿富貴自在

諸人扱樂如意吉祥守護所

八月吉祥日

大工 秋山小三郎
鍛冶 田中弥兵衛

利根陀見波羅伊玉意喜餘目出玉

小笹与市右衛門 井上長右衛門

松浦藤兵衛 矢野市兵衛

小笹善右衛門 小笹久左衛門

十二氏子中

○〔朱書〕
〔裏〕

フキノコスヒウカノクニノミヤサキノミヤシロハイマニ
チハヤフルナリ

3 野波村大字瀬崎 爾佐神社

〔朱書〕
〔棟札〕

〔朱書〕天下太平 天正八年

奉造立爾佐大明神 一字成就所

国土安全 辰十月十一日 神主塩田長門守

〔朱書〕
〔裏〕

4 野波村大字野波 日御碕神社

〔朱書〕
〔棟札〕

〔朱書〕天下太平 天正九年 時代官山縣孫左衛門

奉造造日御碕神社 一字成就

国家安全 辛巳三月吉日 神主塩田式部

〔朱書〕
〔裏〕

奉修造三崎十羅刹女御社殿事厥唯

當社十羅刹女新造殿宇康健佛法擁護神祇興隆當所大檀

那元棟同時代官山縣孫左衛門本命之辰武運長久并惣地

下十二之氏子老幼男女共大工榎原四郎兵衛尉同小工與一左衛門

鍛冶青戸六郎左衛門各々息災增福如意満足如件

天正九年辛巳三月吉日 神主塩田式部大夫敬白

〔朱書〕
〔裏〕

西見渡小島 二御殿アリ天八拾月

拾七日夜大浪立御神吹寄濱邊 工候

間斯所御神御坐候也當村福貴繁
昌諸人快楽処者也

5 千酌村大字笠浦 日御碕神社

〔棟札〕

〔朱書〕

于時天文廿二癸丑歲

地頭代官殊者

奉建立宮諸願成就天福皆來地福圓滿即除各々守護所也

三月十三日

神主宮代新右衛門

〔朱書〕

地頭源臣尼子紀彥御代官大熊右京進同下代岡又右衛門

〔朱書〕
〔表〕 皆永錄四年

奉建立拾羅刹女當浦富貴自在十二氏子息災延命者也

辛酉六月廿五日

6 片江浦大字片江 玉結神社

〔棟札〕

〔朱書〕

文錄二癸巳年

奉建立玉伊大明神 二字成就國君松平出羽守

神主石川大膳

7 下宇部尾村大字宮谷 横田神社

〔棟札 以下三枚〕

〔朱書〕

天正十九年

〔大字下宇部尾區長所所藏〕

神主藏太夫

○奉造立美保横田両社大明神御神前 二字成就所

辛卯八月吉日

8 持田村大字西持田 持田神社

〔棟札〕

文 永 二 年

奉建立大宮大明神 一字成就攸 本願内田孫兵衛之也

三 月 吉 日

天正五年

奉行山縣太郎右衛門平春忠

奉建立大宮大明神社

大願主吉川少輔三郎平元棟

丁 丑 十 一 月 吉 日

代官山縣孫左衛門 春陳

9 秋鹿村大字秋鹿村 秋鹿神社

社藏古器物

○ 一 鎧 甲

一 着

毛利元就雲州出陳中寄附

○ 一 太 刀

一 口

秋鹿鱗 尾城主 大廻三郎右衛門正次寄附

10 秋鹿村大字岡本 多太神社

一 創建詳カナラス唯現在奉納ノ棟札寫左二

永禄九年丙寅霜月廿五日造営

天正八庚辰歲十二月吉日修覆

〔以下略〕

11 長江村大字西長江 国司神社

○

〔棟札〕

大旦那佐々木政慶

奉再興國主大明神御宝前 本願 大禮三郎右衛門 清長 敬白

皆天正七_{己卯}歲十月十日

〔朱書〕

當御造榮入辻之事米方三拾俵代四拾貫文

〔朱書〕

〔朱書〕

○ 奉建立國司大明神御宝前 敬白

〔朱書〕

慶長三年九月廿三日敬白 南波彦左衛門

12 佐太村大字佐陀本郷 惠曇神社

○ 〔朱書〕棟札

建立 天文十年 辛丑十二月八日 神主 神兵衛儀次

13 惠曇村大字片匂 八幡宮

○ 棟札

板面朽蝕字形不可認モノ 三枚

但 内壹枚ハ弘治二_{丙辰}年奉造立云々ト社記ニ見ユ

其余ノ二枚年代等總テ不分明

14 惠曇村大字手結 津上神社

○ 棟札

板面朽蝕字形不認 大永七年ノ棟札ナリト傳フ

15 津田村大字東津田 鷹日神社

社記

棟札寫

御棟上天正十八年_{庚寅}十二月廿六日 両大官

表 御正殿 守護大江朝臣散位輝元 大工 今井平次兵衛

御造宮_子 御八幡神宮寺法卯秀尊

裏 本願 田中善左衛藤原朝臣秀次

16 意東村大字下意東 筑陽神社

○ 棟札

于時天正八年 大壇那三刀屋彈正忠久扶 神主波多野平兵衛尉慶家

奉建立意宇郡内意東庄大森大明神社 一字成就所

庚辰歲十二月吉祥日 本願佐方平三兵衛尉同次良右衛門

大工渡辺次良四郎

17 岩坂村大字西岩坂 志多備神社

棟札

應永十年九月九日奉造建磐坂桑次志多

備權現社 一字別當莊内施主木梨九藏石

藏金之丞石井久七長寫與 一右衛門役人

飯塚新五武藏庄助大工近藤正作小工市

左衛門

〔寺社史料93〕

島根縣神社由緒書 二一
八束郡 中

1 法吉村大字法吉 法吉神社

○刀 老口

銘 豊後國平盛次

長 貳尺三寸五歩

傳來 白鹿城主松田左近ノ佩用物

2 千酌村大字千酌 爾佐神社

〔朱書〕
〔棟札〕

〔朱書〕
〔卷〕 于時天文廿一子歲

奉建立宮諸願成就天福皆來地福圓滿即除各々守護所也

四月十五日

神主宮代新右衛門

〔朱書〕
〔裏書〕

地頭源臣 尼子紀劬御代官大熊右京進同下代岡又右衛門

〔朱書〕
〔卷〕 于時天正三天

奉棟上三社大明神御新殿所 神主岡源大夫

乙亥十一月 日

御代官山縣英頼
諸氏各敬白

3 秋鹿村大字大垣 内神社

○棟札写 (拔出)

奉再興高宮大明神大鳥居 壹口

大壇那

毛利輝元公建立宿願成就
家運長榮祈所

大宮司

家原修理大進秀勝敬白

于時 弘治二龍次丙辰春三月吉辰

○社頭回祿伊後始テ建立棟札

奉遷宮足高大明神

護持大壇那

聖護院准三宮道澄公
二品親王道勝公

抑南瞻浮州大日本國山陰道八雲州秋鹿

郡大野庄天下之聖護院從往古依為御本

領當社任先例被成御建立畢

日本一統前関白太閤秀吉公當国守護毛

利宰相輝元公中國守護御代

聖護院 御代官波並宮内大輔元村
同 源太郎元繼

文祿三甲午年霜月朔日

高宮社職從四位下

家原大宮司 小野秀勝

社藏古器物

一神鏡

壹面直徑六寸

慶長元丙申年本宮山ニテ牧童之ヲ得依

テ當社ニ納ム

一鑿前立鏡

貳面直徑一十八分
柄 三寸七分

赤川李允就武
二宮隨崎守右忠

寄進

一具足

毛利中納言輝元

寄進 壹領

一野太刀

寄進 壹腰刀長二尺七寸
鞘八寸

毛利中納言輝元

寄進

一社號掛物

壹幅

聖護院准三宮道澄公筆

4 乃木村大字乃木 宇賀神社

○棟札

武將鎮治御太守御武運長久

○奉再興 野城神社三座 一字

神主 村上氏

永祿五壬戌年二月

惣氏下

5 法吉村大字黒田 照床神社

○棟札

〔朱書〕慶長四年

神主形部 地下中

奉造立末次之内黒田寺床大明神守護所

神在月吉日

大工松本 敬白

○鎧

銘 正平五年五月六日ノ八文字ヲ染

貫キタル揉皮ニテ製作シアリ

壹領

6 法吉村大字比津 比津神社

○梁簡

〔朱書〕

〔表〕

7 生馬村大字薦津 天若宮神社

(棟札)

天正十一年未九月廿五日 敬白 神主

〔朱書〕氏名虫喰ニテ不詳

奉造立當所繁昌

家内守護七難則滅亡福則生

如意惡魔退散奉祈所而已

井上九郎右衛門

四郎左衛門

福 豊右衛門

福田二郎衛門

足立平左衛門

福井藤右衛門

8 生馬村大字東生馬 生馬神社

○刀

壹口

右意趣者奉為天長地久御願圓滿殊者

護持信心大檀那平朝臣千葉元胤丙申

歲中務少輔武運長久子孫繁榮社頭安

欽新造樹上棟突貫大明神御寶殿 一字

穩威光自在當祈豐饒諸人快樂富貴永

盛之處右地頭備後之國加茂住栗原方

也同時之代官田総忠右衛門尉里清乙

巳之歲 本願者青砥七郎右衛門

于時天正十二年甲申歲卯月吉日良辰敬白

大工加納次郎四郎

〔朱書〕

〔裏〕

雲州島根郡法吉郷比津村□□

銘 備前長船祐定
長 貳尺貳寸

9 講武村大字名分 大井神社 小井神社

○梁簡

社司猿田以下不明

奉建立大井宮大明神社
講武大明神社 一字成就

天正八年八月十二日 庄屋次郎右五門

[寺社史料94]

島根縣神社由緒書 三

八束郡 下

1 大庭村大字大庭 神魂神社

古器

一豊後僧定秀太刀 一振

天文十三年九月五日尼子晴久奉納

一紀新太夫行平太刀 一振

天正六年九月十七日吉川元春同元長奉納

一尼子晴久公初着鎧 一領

尼子晴久奉納

一御鏡 一面

吉川廣家奉納

但裏面ニ左ノ文字アリ 朱書

奉寄進大圓鏡伊豫縣
伊豫縣社

右日城之良將太閤殿下揚

旌旗於朝鮮被渡諸將之時所

取之者也 所冀

帝制益增長 武運弥宏泰

祝釐々々 謹白

皆慶長戊戌林鐘吉辰

豊臣羽柴從四位上雲州吉川侍從廣家朝臣

2 湯町村大字湯町村 八幡宮

棟札寫

一 永正拾四年建立之棟札年號建立之譯斗相見申候

一天文拾五年之棟札年号斗相見其外字象相知不申候
一天正拾參年上葺之棟札年号上葺之文字斗相見
其外字象知不申候

5 来待村大字上来待 本宮神社

棟札 壹枚

表 本宮大明神 一社奉修覆随神門

裏 永録二年三月吉日 十二氏子
神主今岡

3 玉造村大字玉造 玉作湯神社

社藏古棟牘

地頭湯宮菊丸十二歳 代官入江与一 大工内田小三郎仕手源兵衛

上棟湯姫大明神 社頭 一字 永禄元年九月廿日

本願法印明英別火松浦次郎四郎 鍛冶長谷川帶刀 小大工福間五郎左衛門
中古湯姫大明神卜称セシコトアリ

古器物

弘安三年当地領主佐々木伊豫守信仰ニヨリ寄附セラレタル陣太鼓今尚社殿ニ存在ス

6 宍道村 氷川神社

(表面)

一切皆善一切宿皆賢 諸佛皆威徳 天正十三稔乙酉 勲力檀那成田惣兵衛慶資

奉修覆祇園御社 一字 大檀越京極佐々木完道政慶 大工松浦新兵衛幸次
願我常吉祥 林鐘日 代官成田采女佑慶孝

(裏面)

下代 長田九郎左右エ門久次
棟梁 渡邊

4 玉造村大字大谷 一人女神社

寶曆十四年甲申二月神社萬指出帳所載天正九年建立ノ棟牘写ハ左ノ如シ

于時天正九年九月吉日
奉建立棟上一人女大明神右奉天長地久為

但此外ハ文字判明ナラス

7 波入村大字入江 三所神社

(棟札)

于時天文貳拾二年 事代主命

奉造宮揖屋三所大明神 大巳貴命 神主名不見
癸丑六月三日 美保津姫命

于時天正十四年

奉再興揖屋大明神二字
神主名不見
丙戌三月九日

8 二子村大字二子地神社

(棟札)
于時永正七年
奉造立地神大將軍棟札
願主各々等
庚午十一月初日
御尊神 ■ ■ 一座

維時天文十八年
奉造立棟上地神大將軍
願主名 (フルビテ不見)
己酉梅公吉日

弘治三年
棟上家門無 ■ 繩災疎流得大來慶 (神主名不見)
丁巳十月吉日

9 大芦村大字將軍將軍神社

○梁簡
(表) 四方乃國中^仁雲^乃鳴根郡大蘆浦此地鎮坐大神^乃
奉修覆下將軍大明神一字成就守護^{神主小貝氏丹波守}
大破^仁奉上葺當里^乃氏人息^災延命^攸
(裏) 天正十年 諸奉行 庄屋伊四良
當國大守諸侍 本願<sup>田中助右五門
小豆平口</sup> 十二氏子中

壬午九月十九日 諸役人
大工石川伊助
木挽長九郎

10 法吉村大字春日松崎神社

棟札
慶長三^{戊戌}
奉造立武甕槌明神一字
三月

11 片江村大字片江上戸神社
(朱書)
○ (棟札) 一
天正十八年
奉建立藏王権現御寶前 大日本國神主神左衛門
戊寅十一月日

12 片江村大字七類美穂神社

(朱書)
(棟札) 一
文錄二年
奉建立三穗大明神本社 一字成就 神主石川大藏
巳十月吉日

13 本庄村大字上宇部尾津森神社

島根郡上宇部尾村神社指出帖<sup>享保十二年
未六月書出</sup>
一津森大明神 經津主命
奉建立
永録六年十月吉日

14 東川津村大下東川津 伊豆御魂神社

棟札

天文十八年

奉建立羽黒大権現一宇

七月十六日

15 佐太村大字佐陀本郷 須賀神社

○棟札

天正四年

奉造立清地神社 社司幡垣氏

子九月十三日

16 忌部村大字東忌部 大宮神社

○棟札

〔朱書〕〔表〕 一切日皆善 一切宿皆賢 諸佛皆威德

〔梵字〕

羅漢皆行滿 以此誠実言 願我成吉祥

右致萬□□□□者奉□□□□願円満

殊大檀那三刀屋彈正忠久扶代官梅波院

安倍善左衛門尉奉行常樂寺聖香大工桑垣太

良左衛門、各息〔災〕延命子孫繁昌公國和合

所望満足重羨保内安全万民快樂 一求

願如意吉祥如件

元龜三年□□月吉日 和田大膳

〔朱書〕〔裏〕 文字不明略ス

〔朱書〕〔表〕 右旨趣者〔辛酉〕御歳息〔災〕延命御武運長久為家

奉造榮當所大宮事時之代官淨光寺中村太郎左衛門者也

神主治部太夫大工松浦四郎治郎別而者當村之氏子

致面□□□□□□本願 (此ヨリ下木朽損ス)

天正廿〔壬辰〕年 敬白
三月七日〔酉〕宿

諸願成就□□□□

〔朱書〕〔裏〕 文字無シ

〔朱書〕〔表〕 一切日皆善 一切宿皆賢 諸佛皆威德

〔梵字〕 奉造榮當所大宮精舎 一宇

羅漢皆行滿以此誠実言願我誠吉祥

本願桑垣彦兵衛藤原家清當時之代官中村太郎左衛門并松長又兵衛

神主和田治部左衛門 大工桑垣五郎左衛門 鍛冶鍛冶屋又三郎

奉為大旦那〔辛酉〕御歳御武運長久御願円満之所 〔梵字〕

山大工足立十郎兵衛村上藤兵衛其外當保氏子各廿歳

右意趣者各々為息〔災〕延命諸願成就也

奉成遷宮頼成寺〔示〕壇 敬白
法印

〔朱書〕〔裏〕 慶長二〔丁酉〕歳拾月吉祥日

〔朱書〕〔表〕

奉造榮當所大宮精舎 一宇 神主和田治部

慶長二〔丁酉〕十月吉祥日

〔朱書〕〔裏〕 文字無シ

島根縣神社由緒書 四
能義郡

1 廣瀬町大字廣瀬村 富田八幡宮

一古器物

一矢 老筋

長サ四尺壹寸 丸サ貳寸六分

悪七兵衛藤原景清當社ヲ月山ヨリ今ノ地ニ遷奉ラン為メ

空中ニ射シ矢ナリ

一大身鍬ノ穂 壹本

穂長サ壹尺八寸

銘 箕輪崎住人吉勝作 天正三年八月吉日

山中鹿之助幸盛ノ鍬ナリ

2 布部村大字布部 布辨神社

社藏ノ棟札

奉行河本與四郎源秀明 大工勝野太郎右エ衛藤原幸清

奉建立二所大明神神殿 一字者大檀那宇山飛驒守藤原朝臣久秀

御遷宮棟上同日辰巳時作之畢

神主恩田惣右エ門重親 一子惣左エ門正親 天文七年戊戌八月十五日

導師権大僧都法印境尊

御地頭三沢少輔八郎源為虎代官野尻内藏人佐慶景下代同名久右兵衛尉慶重

彼宮在所改古所
新地建立也慶重
氣遣馳走云々

3 井尻村大字市中屋 八幡宮

社藏ノ古文書 (古棟札五枚) (天正以後ノ分ハ略ス)

寛喜二年

奉造立八幡宮 一字成就 国主佐々木信濃守泰清

寅三月三日

元享元辛酉

願主 刑部

奉建立八幡宮 領主山田七郎入道重賢 神主羽田野武藏守家守

四月五日

大工泰清

應永十六己丑

嫡子地頭千代房丸高秀

奉崇出雲國能義郡鶴見八幡宮 國主佐々木治部少輔高範 神主羽田野右エ門尉家正

十一月五日

代官 長谷入道淨祐

天文十六年己巳

奉造立八幡宮國主尼子民部少輔清久(晴) 神主池田次郎右エ門藤原義重

十月十九日

大工渡辺太良右エ門

永祿四辛酉

奉再興井尻八幡宮國主佐々木修理大夫源晴久 本願小林太郎兵衛則延
宇津木又六親久

四月五日

4 安来町大字安来村 賀茂神社

古器物

鰐口老個 大永六年二月吉日敬白伯州會見郡山根助

太郎

太刀巻振

銘云備州長船康光 應永三拾三年午二月日

5 赤屋村大字下小竹 玉神社

古器物

甲冑 正平六年ノ作

6 山佐村大字上山佐 山狭神社

玉殿

山狭神社玉殿 本願主

弘仁十己亥

安井大太郎
鴨木惣左衛門
佐伯喜平

棟札

奉迁立二所大明神 上うきの事 本願八佐

左衛門

「宋書」
「茲ニ文字アレトモ不明」

いりまい 「宋書」
「茲ニ文字アレトモ不明」 以上地下衆より 「宋書」
「茲ニ文字アレトモ不明」

大永元年辛巳十一月廿一日是成就所也 「宋書」
「茲ニ文字アレトモ不明」

右棟札裏文字不明

7 山佐村大字下山佐 山狭神社

棟札

表 奉再興山佐権現一宇

裏 天文十八西霜月廿八日迂宮

權那佐々木源彦三郎
神主金山与三左衛門平久次

社殿焼失シタル事有之是ヨリ前ノ棟札無之

8 井尻村大字市中屋 天満宮

一社蔵古文書 (舎棟札三枚) (文字不詳ノ分及ビ天正以前ノ分ハ畧ス)

奉建立當社拝殿一宇成就神信心大施主平朝臣久泰

大永七年

亥月日 (不詳)

神主本願共文字不詳

天正十六年

奉造立天満大自在天神 藤原朝臣南方半介政家

子 八月二十二日

雲州能義郡井尻保一分大旦那并本願衆高木分左

工門 次

神主 宮田源太夫

大工 足立及左工門

十二五性民運長久子孫繁昌

9 安田村大字安田 八幡宮

寶物古器物

一丸飴板

裏ニ出雲国能義郡安田之八幡宮御神前奉施入御正

躰事右意趣者天長地久御願円満殊者国中安穩取

分信心大施主子孫繁昌諸人快樂心中所願皆令満足

祈念如斯 永享二年九月二十九日願主宗何敬白

一面

作者年月不明尼子経久寄附傳來虫喰半面之者也

二弓

長サ八尺作者年號不明佐々木義清寄附傳來
一丸盆

渡壹尺式寸永正拾六年霜月安田八幡宮寶前置

井上秀重

一大般若經写本

壹冊

永享二年九月日

一大般若經

虫喰殘少存在

至徳三丙寅年

10 安来町大字安来 糺神社

賀茂糺兩社御遷宮沿革記録

糺勸請

一爰雲州八枚庄内より為貢物青銅一千貫文宛毎年

都江貢納此時賀茂糺兩社氏神ニ勸請願仕宝龜

九年^{戊午}十一月神祇長諸魚公^カ御書附被下ニ神勸

請歸国神社建立安座仕

一大同二年丁亥三月賀茂糺兩宮建立御神體奉入御

一天安元年^{巳丁}十月兩宮修覆御神體奉入御

一延喜三年癸亥^北月^北右同断

一康保二年^{巳乙}三月七日右同断

一万壽二年^{巳己}三月 右同断

一承德元年^{巳丁}十一月 右同断

一久安三年^{卯丁}八月十一日右同断

一建保元年^{酉癸}四月廿一日右同断

一建治二年^{子丙}三月 右同断

一曆應四年^{巳辛}九月三日右同断

一明德四年^{酉癸}八月十一日右同断

但<sup>汪宮之筋地せまく二村山寶宮脇後山
実重喜八代ニ上ル</sup>

一文安五年^{辰戌}八月朔日右同断

一長享二年^{申戌}三月四日右同断

一永正十七年^{辰庚}三月七日右同断

一天文二十三年^{寅甲}八月朔日右同断

一天正十八年^{寅庚}十月十九日右同断

〔以下略〕

11 比田村大字梶福留 八幡宮

當社ハ大永以前修繕棟札文字不詳

大永六年丙戌十月修繕ト棟札ニ見ヘタリ

12 井尻村大字横屋 熊野神社

金剛力士ノ像

力士像ニ軀木造高サ六尺二寸尼子氏ノ寄付

ニ係ル田蓑日記ニ云神社ノ門ノ兩傍ニ二王像立

リト是ヨリ先キ村民某此像ヲ再修セシトキ腹内ニ左

方ノ如キ木牌ノ書藏アリテ檢出シ今猶存スル也

一尺四寸

天 天文三甲午十月

大願主佐々木天子下野守源幸久即作

天 天文三八尼子經久ノ世ニ当ル幸久未タ考ヘサレトモ尼子氏ノ族

ナルベケレハ尼子氏當社尊信ノ一端ヲ徴スベシ

〔寺社史料95〕

13 比田村大字西比田 市原神社

當社大古修繕棟札文字不詳

應永廿一年甲午八月 日修繕卜棟札二見ヘタリ

島根縣神社由緒書 五
飯石郡

1 掛合村大字掛合 狹長神社

○棟札

大檀那多賀山藤原朝臣道定

代官藤原朝臣白次
神主勝部朝臣久高

大衆寺

奉再興雲刃飯石郡掛合佐中勝手大明神御社成就于時天正十一年癸未陸月晦日

同藤原朝臣道信

代官藤原朝臣水間定長
大工藤原朝臣吉次
藤原朝臣大田信吉

棟上己午時遷宮丑時 欽白

2 一宮村大字給下 三屋神社

○棟札

〔表〕

〔朱書〕 一切皆善 一切宿皆賢諸佛皆威德 于時延喜二壬戌年

〔梵字〕 奉再建 一宮大明神社殿 一宇 願主藤原朝臣義基

〔朱書〕 羅漢皆斷漏以此成實願我成吉祥矣 十一月十六日

〔裏〕

誠忝當社者素淺嗚尊御子大已貴命天下

惣廟神明也然求化生則明劍振虛空時此

郷中留後御劍成三段二段二ヶ國一段當社

一爰以一宮顯給依是此所三刀屋名一國

一宮國中靈神日本地神是也三刀屋申者

當社根本也故一郡諸社無族有勒社役事

天下泰平國家安穩御祈禱社役也

〔朱書〕
〔此外文祿二年ヨリ明治二十五年マテ棟札拾枚省畧〕

于時文永三年丙寅霜月十六日

〔朱書〕
〔表〕

忝當社者素戔鳴尊御子大己貴命也天下惣廟此所降臨座可求化生然明鏡振給則鬼神譴惡心天下國土納社日本三宮是以此所三刀屋名一國一宮靈神也日本天下地主是也一郡悉當社勸仕役無族有社例根本也

〔朱書〕
〔裏〕

願主藤原朝臣義春

素戔鳴尊社

八重垣社 三刀屋郷中土ヶ村惣氏神

手摩乳社

足摩乳社

三鳥居此時建立

〔朱書〕
〔表〕

社僧峯寺阿嚴院快咏

〔朱書〕
〔裏〕

〔朱書〕
〔表〕

神主藤原兵部大夫信助

〔朱書〕
〔裏〕

代官源之南三良右衛門重勝

〔朱書〕
〔裏〕

右致精誠所者奉為天長地久侍者庚子之

御歳武運長久御子孫繁多向敵消滅郷内

安穩上和和睦斷惡修繕疾疫退去年々無

難七難即滅七福即生如意吉祥如件

3 頼原村大字頼原村 由来八幡宮

○御神體背向書寫

出雲國飯石郡来島之莊之内油來之村八幡宮神祇

奉造立願主大壇那地頭三善之駿河守久清之建

也奉行代官者神田三郎右衛門為地下萬民安

徳也

勸進景山神主十郎右衛門兼

作者佛師清慶作

皆文永貳稔十月十五番申之時安座開眼也

○随神門棟札

〔朱書〕
〔表〕

一切日皆善一切宿皆賢 諸佛皆威徳 奉行三善朝臣森長門守正重

奉新造立棟上門客人殿兩社至祝至禱 三善朝臣善四郎隆連

羅漢皆行滿 願以此滅實願我我吉祥 大工 源通

天文九年庚子二月廿日棟上

〔朱書〕
〔裏〕

奉勸進 松田大監物 坂井牛兵衛 瀬淺右門 樋口三郎右門 保木又兵衛 柴山清兵衛 柴山文右門 同 喜左右門 荒木 羽賀六兵衛 福道善右門 則武助左右門

〔朱書〕
〔裏〕

中西多兵衛 宮野傳右門 百々半右門

○染紙奉納證

奉寄進法華經 壹部

難波助右衛門尉藤原朝臣家次

永祿五壬戌六月吉日敬白

〔朱書〕
〔經卷ハ慶長年間社頭大炎ノ時焼亡セシ由云ヒ傳之〕

○椀

壹個

經八寸五分 深五寸八分
銘 奉寄進御器二十富永山城守大
伴長保朝臣
右為武運長久子孫繁昌如意吉祥如
件

于時永祿九年丙寅五月吉日

備考

多賀美作守日記

出雲^八木社

一番 意宇郡 平濱八幡
二番 能義郡 安田八幡
三番 飯石郡 須佐八幡
四番 飯石郡 油來八幡
五番 仁多郡 横田八幡
六番 神門郡 朝山八幡
七番 大原郡 木次八幡
八番 大原郡 佐世八幡

(石多賀美作守殿日記)

源頼朝公御建立之社出雲一國八社奉敬者
也當國之靈神殊又其郡内者余社無並事者
也

4 多根村 多根神社

○棟札

○傳 二日御當社棟札ノ内當村ノ内円通寺干渉シテ記入セリシ

梵字アリシヲ神主家九代目伊達伊豆ト云ヘル人其ヲ
穢レト為シ且多年僧徒ノ暴威ニ厭セラレシヲ憤リ
則チ梵字ノ有ル古棟札ヲハ悉ク焼却セリト故ニ今古
棟札存在セス依テ寶曆十四年其筋ニ書出シ
タル謄本ニ就テ抄出ス (該謄本ハ多根村伊達一行
所藏ス)

于時永祿五年壬戌霜月廿三日

大壇那已御歳諸願成就

○奉造榮雲州飯石郡多根郷内
多根六所大明神御寶殿

恙地成就

當神主 午之歳

多賀山大工

惣地下十二歳 (此外文字
不知)

于時天正十八年五月二日

大壇那多賀山藤原通信

○奉造榮雲州飯石郡多根郷内
六所大明神御寶殿

恙地成就

當社神主并市

大田石見午之歳

多賀山大工

惣地下十二歳

5 多根村 星原神社

○棟札

天文拾辛丑卯四月二日御遷宮

○奉建立星原大明神

飯石郡多根郷ノ内森脇
造榮所成就也

當社

藤原与右衛門誠秀

大工吉木四良兵衛

(此外古棟札二而不讀)

○ 皆天正伍稔丁丑陸月十三日

大壇那藤原朝臣通定

○ 奉造采星原大明神御寶殿成就所 神主 因幡太夫并市

棟上 己 午遷宮丑剋白

棟梁大田太良右衛門藤原信吉

大工 三上倭吉

小工 吉木氏

6 松笠村 天満宮

○ 棟札

< 檀那内田助三郎 大工小谷新兵衛三口合力并五郎右衛門二口合力謹白

○ 奉建立御社頭天長地久御願円満福聚增長皆令満足如意吉祥如件

> 三上源左衛門尉生年長七十歳日数五十六日

天文四白乙未十月十日 ■□□

(裏) 作者

吉田之仁人
杉戸之仁人

宮崎三郎兵衛
小大工三良左衛門

○ 致立願藤原康家 「所謂祐之」

○ 奉修理天神宮

天文拾参年十月始吉日 十一月九日 敬白

○

(佛語)雲州飯石郡多祢郷下北迫村天神御宝殿造立檀那藤原朝臣白根彦左衛門尉

○ 奉造立天満天神御宝殿棟上急急如律令 奉行共二五郷豊饒五穀成就万民快樂各々
如意吉祥并大工三上清右衛門尉上下万 敬白

(佛語)民息 災 延命所希如件于時天正三年 乙 亥十月古頼□□大小等

7 鍋山村大字乙加宮 大歳神社

○ 棟札

于時天文廿二年 癸 三月初二日御迂宮成就皆令満足敬白

奉造立大歳大明神御宝殿大壇那 己 歳并大官 壬 歳神主 壬 歳各惣

下十二歳大工名原式部太夫小工同名藤左衛門

8 鍋山村大字乙加宮 日倉神社

○ 棟札

大壇那 一源 原誠久 同源 敬久大勸進 壬 御歳御代官源秀家

奉造立八幡宮雲州飯石郡多根郷宮内村日倉別宮御造營成就砌

神主平朝臣清重同左衛門四良并左京大夫
并橘久氏并藤原定通并式部大夫清重

本願天台僧禪定寺當住慶圓律師

鍛冶大工成相四良兵衛藤原重則大工吉木
源五郎原久康頭量中島藤原忠次小工各等

天文廿年三月一日木切初番匠以上一千五百八人手間也

天文廿一年 壬 陸月晦日新初

天文廿二年七月十六日始 同霜月造

御棟上天文廿二年十一月十七日 庚 日巳剋成就

御遷宮同日丑剋宮渡成就

天文廿二年 癸 十一月十八日所願成就満足敬白

天正八年 庚 曆四月廿八日成就畢

奉上葺雲刃飯石郡多根郷宮内村日倉八幡宮御造營成就ス

大壇那藤原朝臣通定代官藤原定能
太田太良左衛門

9 田井村大字深野 深野神社

棟札 壹枚

享祿元年月日不詳 神主絲原新五右エ門

10 吉田村大字吉田 兔比神社

一社藏棟札自元龜四年至明治十四年總計拾枚
アリ只再建又ハ上葺ノ年月日及ヒ當時ノ
神官本願等ヲ記載セルノミ

11 志志村大字八神 雨神社

棟札

雨大明神棟札之事

南瞻部劬大日本國山陰道出雲國飯石郡波多郷仙
道八神村今雨ノ宮各氏子等建立 一字之社檀雖奉
神德之圖乎先年此國一乱之時不得遁火災草葉之
下止所三善之朝臣惠連公臣下連護起元一志一心合
掌今年奉造立社頭仰神明之加護願神慮感德
專祈三善朝臣惠連公丁未歲并臣下連護君臣和合
武運長久天下泰平國土安全諸人快樂秋月即各
願圓滿庭而已願主飯島修理進連護

于時天正六戊寅年九月吉日

祠官 和泉

正八幡宮但雨大明神卜相殿二祭 祭日八月十五日

尊號 譽田別命

祭祀式八月十五日神官社二詣後勅行奉幣種々
供物ヲ捧御祈禱神樂次二御靈石迄御幸行法

橋本和泉

奉建立雲劬飯石郡波多郷仙道八神村八幡宮殿成就

于時元龜三年壬申八月日

本願主役人三善連護息災延命

12 来島村大字上来島 金屋子神社

社藏古文書

于時天文貳拾年辛亥神在月拾五日

奉再建立上来島村杵戸金屋子大明神社壹宇

大壇那三善光清朝臣御武運長久祈攸

鑪鞴鍛煉成就惡魔退散

社司万大夫朝成施主鑪鍛冶鉄穴上来島村中

金屋子神奉加帳寫

天文貳拾年辛亥二月

抑上来島村杵戸金屋子神社之由来者村下八郎右エ

門卜申モノ（筆跡不詳）此八郎右エ門當時鈔方々御用ニ

ノ天秤卜申ス踏吹ヲ工夫致シ當國者不及申隣國其

外國々ニ右金屋子神ノ御供致シ踏吹相教ニ夥敷

銚湧出シ其節迄ハ差吹ニシテ誠ニ纔敷事ノ由右踏吹

相用候故鉄山大ニ繁昌鉄砂方モ夫々ニ準シ一同悦事

無限是八郎右エ門工夫不成有而已全金屋子神ノ御

神德ナリ然ルニ右御社柱ノ根朽大風雪恐敷再建仕度

處余程ノ入用相懸儀多勢ノカナラデハ難出来今

般奉加致シ當暮ヨリ材木用意春成就ノ心願

二御座候御加情ノ(筆跡不詳)

一銀壹封

大山鍛冶屋虎之助

一全 上

奥畑鍛冶屋勇兵衛

一全 上

茂加谷鍛冶屋幸十

外畧ス

(右は近世の作也)

于時文録貳年癸巳三月中子日

奉上葺上来島村杵戸金屋子大明神社老宇

大壇那松田内記尉長遍御武運長久祈攸

鑪輔鍛煉繁昌惡魔退散

奉行者難波甚右工門周親

社司大炊大夫國永全丹治介時芳

施主上来島村中鈿鍛冶屋鉄穴

13 大呂村大字茶屋 須佐八幡宮

○棟札

大教之諸惡莫作修繕奉行云云

>>< 奉再興八幡大菩薩大壇那辛酉 癸巳大宅朝臣高橋越中守常光 同神三郎家光

以茲當社備淨繕吉祥如意弘治二年丙辰 霜月十日 神主

大教之諸惡莫作修繕奉行云云

>>< 奉再興當社八幡大菩薩大壇那藝州二入熊谷少輔九良元廣

同奉行施主桐原肥後守實久

以茲修當社備蒲淨繕吉祥如意

天正七季己卯八月十五日 神主

14 西須佐村大字反邊 多倍神社

○棟札

■造劔大明神御寶殿

右意劔有一字之事 天長地久御頁別左官神主

文字不詳祈念能登守 亭録二稔霜月吉日

裏面 七難即滅七福即生急々如律令

伏王道陽々天子穆々天長地久國家平昌武運長久以下不詳

>>< 上棟欽 ■ 再興惠祈大且那庚子年 平朝臣熊谷右臣大夫 廣實

蘿曇萬安黎家千秋矣繁昌龜齡鶴算蒸民快樂五穀以下不詳

永録十年丁卯菊月吉日

15 中野村大字中野 中野神社

○棟札

一切日皆善 一切宿皆賢諸佛皆威徳棟上

○奉建立蛇一權現御前殿迂宮右意趣者當郷々地頭藝州毛利志道大江朝臣元幸并

羅漢皆行滿以斯誠実言願我成吉祥巳時

于時慶長四曆己亥卯月如意吉辰 各々一結衆 敬白

代官齋和泉守保忠 神主陶山右門 大工伊藤右三門保次

遷宮社傳壽福寺 本願 静默庵

16 一宮村大字給下 八幡宮

○社領證文

以上

近年其方裁判之社領九石九斗之辻如先書
出今度は御檢地帳面を以自代官衆可被請
取候社役等之儀不可有油断之事肝心也仍
如件

慶長貳 三上平兵衛 書判

三月十六日

中将との

17 田井村大字深野 八幡宮天満宮合殿社

棟札 壹枚

享祿二年三月廿八日 神主絲原新五右エ門

〔寺社史料90〕

島根縣神社由緒書 六

大原郡

1 海潮村大字南村 海潮神社

棟札

奉再造大日本國豐葦原ノ中津國水穗郷雲刃大原郡牛
尾ノ疸大森大明神御宝前

信心之大守神中澤牛尾大藏左衛門春信

全信心之女大願主亥之御歳

葛西藤左衛門藤原宗清 青木八郎左衛門藤原辛次

神山根市之穴造營

神主仁田平治兵衛藤原重正 大工長野内藏助

天長地久御祈願所社内安全如意満足

于時天正九歳^{辛巳}十一月十一日辰ノ時遷官

2 屋裏村大字猪尾 猪尾神社

棟札写

奉興起王子権現宮殿夫以一日願望榎楠○

○権現喜恢當村當○公私榮○■取吉日辻

居領主完道兵庫助國清神職春木又五郎大

江園山次郎左衛門宗繁天正四稔丙子十一

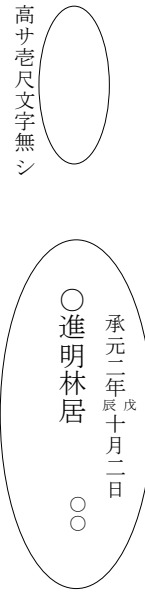
月初五日日本願深田源左衛門月龔白

裏ニ大原郡猪尾村トアリ

上文ノ○印ハ不明ノ文字ナリ

〔甲略〕

以上ノ品ニテ天正以前ノ創建ナル事ハ明
ラカナレド尚古社ノ傍證ト爲ベキモノア
リ今度神社帳ノ調査ニ付ヘテ玉殿近ク調
ベタルニ奇品発見セリ左ニ圖シテ以其筋
ノ参考ニ供フ



高サ壹尺二寸余○印ノ処文字確ト分カラズ
進明林居モ推讀ニシテ誤リ無キニシモ非ラ
ザレドモ承元二年ノ四文字ハ明ラカナリ
承元二年ヨリ明治三十五年迄六百九十五年ナリ

3 屋裏村大字砂子原 比和神社 社職其他古文書

永正十五年再立棟札大永五年再建棟札等アレトモ文字見へ難ク寫ハアレトモ天正以前ニ
文字見安キモノ壹枚ヲ記サン
奉再興大原郡福田庄砂子原村日和大明神社 二字
正神主上田新左エ門 權神主松浦藤兵衛 代官沙門東偉并慶好
奉行安部藏人 地頭中澤幸清 (此他文字見へ難シ)
天文拾三年季冬初二日書之

右ノ外永録六年以后明治十九年迄ノ再興再建上葺等ノ棟札拾五枚アレトモ茲ニ略ス

4 屋裏村大字大崎 天津神社

天文元龜文明年間ノ棟札アリ

5 屋裏村大字大竹 赤秦神社

永禄年中ヨリ明治マテノ再建修繕棟札數多アリ

6 加茂村大字立原 須美禰神社

棟札

奉再興道祖大明神社内事
奉建立宇治大明神社内事
奉建立若宮事
信心大壇那佐々木新四郎源久豊代官松尾右馬
尉橋朝臣重長 惣奉行平井神兵衛尉久
秀 神主波田野五郎左エ門伊知平井神兵衛
尉
皆 天文七年戊戌菊月十四日

全

須美禰神社奉再興道祖大明神社檀之事

宇治大明神社檀之事

若宮社檀之事

信心大壇那源朝臣飯沼立原備前守幸隆

宇治之社再興越崎又六左エ門爲則同井上三

郎兵衛尉雲州大原之郡大西庄立原村三社之

事神主波田野新左衛門

永録三年庚申霜月念八日

此他數枚ノ棟札アレトモ天正以后ノモノナレバ茲ニ略ス

幅三尺四寸五分

7 神原村大字神原 神原神社

慶長年中ヨリ正保寛政元禄正徳享保寛延天明
文化年間造立再建ノ棟札アリ

11 幡屋村大字幡屋 正八幡宮

棟札

幡屋神社
境内攝社

奉建立八幡宮上葺事 神主藤原朝臣斎藤嚴島

8 神原村大字宇治 宇能遲神社

延徳年中ヨリ天文慶長延宝元和享保宝曆
年間マデノ再建修繕ノ棟札記録等アリ

全

右ノ外文字見ヘガタシ

9 神原村大字南加茂 松林貴船神社

天正十五年丁亥十一月二日地頭藤原朝臣山内少将四良廣
通建立棟札 壹枚

10 日登村大字宇谷 布須神社

○碑石彫刻文字

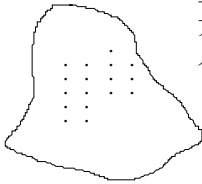
御室山

布須神社

□□長一

建久二年九月

○花崗岩



高二尺九寸五分

12 春殖村大字大東下分 春殖神社

社藏古棟札

(一)

源朝臣吉田唐菊丸

鍛冶藤原朝臣長谷川善右衛門

雲州大原郡幡屋八幡宮造宮
古来靈社地 森樹高山妝 益窺前村看
田家富貴疆 於茲巫祝詣 于朝于暮常
然而四衆聚 礼奠猶不遑 或時及修理
神主錦施央 二十干支 氏裔好男償
自身提銚鉞 木材選否臧 造營頓成就
聚力功難量 迁宮擇日處 隆魔尽他方
郡中招社主 恰鎮譌甘棠 人民皆快樂
檀越人繁昌 希一天静謐 作如意吉祥
大檀門宍道備前守政慶代官平田屋佐渡守家秀
本願蒞田十兵衛丞忠幸 大工松浦新兵衛幸次
神主斎藤民部
皆天正十八稔庚寅十一月初五日 謹書之

奉建立大永^四甲申年^{日不明}大日本國雲劬大原之郡大東之郷針江之村八幡大菩薩社頭一字

天永二年^{丙戌}十一月十八日

勝部朝臣淺原美濃守明滿 大工與立鍛冶屋与三郎藤原吉次

大工藤原山本与三良長次

(一) 地頭藤原朝兒玉左子雨尉良勝 大工山本六郎左子雨鍛冶長谷川太郎左子雨

一同

壹枚

奉建立一字事天正十四^{丙戌}八月十五日雲洲大原郡大東庄針江村八幡大菩薩喜見納受之所

奉建立大月大明神御遷宮御地頭藤原朝臣山内新左子雨隆通神主岩佐藤次良

代官藤原朝臣足立源三兵衛信次 神主藤原朝臣佐野民部太夫久行

御代官稻田孫十良 小工藤原土江藤右子門久幸

名代稻田九良左子門尉

天正十三年^{歲次}五月十四日午^敬剋^白

13 春殖村大字大東下分 稻荷神社

社藏古棟札

(一)

奉再建永享二^{庚戌}

(他文字朽不見)

(二)

奉再興大永二^{壬子}二月雲州大原郡大東之○下分○稻荷○岩熊山城守^{願之所}

(此棟札者左右共中心丈ケ残レルモノ文字微カニ見ユ)

(三) 代官藤原朝臣原与一左衛門

大工藤原山本六左衛門
鍛冶藤原長吉又五郎久清

(棟札不明) 奉建立天正二^{甲戌}閏月拾日掃部大尉神主等 宇者雲州大東之庄(西)大壇那藤原朝臣兒玉左衛門良勝敬白

神主平朝臣岸田宗右衛門秀家 十二氏子息災延命祈所

事

16 阿用村大字下久野 八幡宮

社藏古文書

仁治元十月成住

(文字不詳) ○○如律令八幡宮石之御宮神田壹貫貳百文也

神主 彦右衛門

右ハ長サ一尺八寸二分幅三寸二分ノ杉板記録ニシテ裏面ニハ數多ノ記

全面ニアレドモ木質朽損讀ムコト能ハズ

延徳三年八月十五日改造

地頭大中臣朝臣忠經

神主 藤井

御神体ノ臺ノ裏ニ正ノ如ク記載アリ

仁治元年以前ノ事実不詳又コノ延徳三年迄二百五十餘年間ノ事実亦不詳蓋シ石宮ナリシヲ以テ修覆等ヲ要セザリシニ因リテナルカ

15 大東村大字金成 大月神社

一棟札

壹枚

奉建立大月大明宮御遷宮地頭金坂越前守源昌信神主入江善兵エ

小工藤原又五良

永正十六年 (月日不詳)

奉修覆八幡宮地頭大中臣朝臣爲経神主藤井

(棟札寫)

14 大東村 熊野神社

社藏棟札

明徳五年^{戊戌}五月十七日内殿建立ノ棟札アリ

河□宗左衛門 大田七左衛門 □□□□□□□□

23 海潮村大字塩田 御武神社

社蔵古文書

棟札

奉再造御武大明神 二字
永祿十年九月二十九日

(裏)

九月廿六日 山田村地頭祖式次郎右衛門尉

郡司藤原兒玉伊賀守

代官 栗橋伊賀守 神主波多野内藏丞
同 多根宗左衛門尉 鍛冶井上吉郎右衛門

棟上入目悉皆勝部多根和泉守春房歳

山田六良右衛門尉_巳年

本願大用寺住持_巳歳

24 海潮村大字小河内 川原神社

古器物

金幣 壹本

切下ケノ脚ニ 川原社神中澤豊前守家壽乙

未歳如意満足所天正二年七月吉日卜彫附

有リ

25 春殖村大字山田 岩根神社

社蔵古文書

○棟札

于時永祿四年仁和寺御地頭佐々木馬之助 大工山本三郎 (下不明)

○奉造立妙見大菩薩御寶殿 一字雲州大原郡別當中納言 (下不明)

山田村地 備前守

本神主淵戸波多野 (下不明)

(表) 于時文祿五_丙曆仁_申和寺地頭 平賀太郎左衛門尉 代官多根和泉守春房 (下不明)
多根宗左衛門尉 司 何窪助右衛門尉 大工山本久右衛門 (下不明)
兒玉藏太夫就奠 代官山縣東市祐 別當兵部卿

○奉建立雲州大原郡妙見社頭 一字之事大江朝臣毛利中納言輝元奉行源佐世石見守_元

正和二年癸丑九月廿九日 神主 橋次麻呂
康正二年丙子九月九日 神主 橋文麻呂

4 川跡村大字稻岡 大年神社

一棟札寫シ

雲州神門郡稻岡村 萬民豊樂之所 大工奈木良平右衛門元保
奉再興大年大明神 御寶前 大壇那佐々木朝臣完道少輔九郎
于時天正九辛巳年九月廿八日 神主宇田川市助綱重

5 川跡村大字武志 鹿島神社

一棟札寫シ

大壇那佐々木朝臣完道少輔九郎
奉造立鹿島大明神御寶前 遷宮執行神主小汀力男直重
于時元龜元庚午年九月十日
無上靈寶神道加持神門郡武志村
出雲郡井上村十二之氏子息災延命家門繁榮所

6 川跡村大字高岡 八幡宮

一棟札寫シ

一切日皆善 一切宿皆賢諸佛皆威德 坂本壹岐守良家 佐藤對馬守家信
奉再興八幡宮御寶前大壇那源朝臣完戸弥三郎元孝代官上山與三兵衛朝頼
羅漢皆行滿以此誠實言願我常吉祥 神主長田左景亮可和 大工奈木良久富

取次新右衛門 長田源十郎

天正十年壬午神在月九日 神宮寺祐旻 並當村十二歳氏子
坂本源五郎 佐藤彦次郎

7 大津村大字大石 大年神社

一棟札写

大檀越鹽冶三郎左衛門尉
奉再興神門郡
塩冶郷大年神社 神主本庄蔵大夫

天正十一未九月吉祥日

8 塩冶村大字天神 天満宮

社蔵其他古文書

古棟札拾枚 其一

天正六年戊寅十月吉日當社再興且那藝州小早川左衛門助
依為當用天神社米百俵取替當郷奉行須田五郎左衛門
河井四郎右衛門井上宗右衛門馬場宗三郎卜記載アリ

9 朝山村大字馬木 熊野神社

古棟札記載事項

古棟札ニ保安元年子穠九月廿八日久奈爲乃神社御社頭
再興記惣本願當社神主藤原華田俊信述粵雲州
神門郡馬木村鳥巢坐神者熊野三所也其三所ハ所謂
速玉男事解男伊弉册三神也蓋往古從紀伊國牟婁郡有馬村勸請神靈於當地以降官殿高樓
巍々而以庶民爲群崇敬白益月盛也尚幸儲
神領田社前■修祭莫四時不怠其祭者示宜
以三方之灵也柳祭之式者正月元日御節餅備
御神膳御祝辞白同七日七種御粥供民家群
會御田植御神事又音樂始也三月三日御花祭

并鎮百手四月朔日御膳供更衣祝事五月五日

菖蒲獻御酒供六月十五日九月廿九日二度作初

尾備先例祝詞六月晦日十二月晦日修太祓

十月齋十一月初卯祭等每度雖有之自

然時移世衰神田流廢朔平幽微耳然今

宮殿大破年々再建相成民家合力土木集

斧鉞廻猶遂修補之功御遷宮式成就焉畢

祝曰家齋國治天下大平萬民樂祠官安

榮隨恩任筆憑曰例以記云云

明治三十五年三月三十一日

10 朝山村大字所原 富能加神社

棟札

永久二年 ……

奉再建保乃加社 ……

午二月 ……

(爰ノ文字不明ニシテ写シ得ス)

11 稗原村大字稗原 市森神社境内星宮神社

社藏古文書

○御靈躰ノ御裏書

富乃加社燒康保二

九月再神魂安鎮也

12 上津村大字上島 杉村神社

棟札

寶治二年十一月中ノ卯日 神主杉村正紀社人宮原安本
願主内田左中香本尊十

13 上津村大字上島 八幡宮

古棟札

保延文治寛文寛永年中ノ棟札寫アリ其保延及文

治年中ノモノ左ノ如シ

保延〇年

○所大田別宮

別當新藏院神郷 十二氏子

八〇宮 本願 金山〇兵衛

七五三 宮本豊前 実次又兵衛

つちのい戌十月十一日

文次〇年

大田別宮

九州五所 別當 新藏院 雲〇

八幡宮 本願 金山

七五三 宮本宮部 実次

酉三月十五日

14 上津村大字上島 河内神社

棟札

文明三年卯月地頭禾廣神主新宮藤原泰吉

15 出西村大字出西 八幡宮

一全社寶藏古文書棟札寫左ノ如ク

><〔棟字〕奉修造雲州神門郡出西郷八幡宮棟上時西御遷

宮時丑地頭龜井藤左エ門国綱代官末次對馬守

全松浦四郎右エ門 別当公文岡田神六兵衛重久

多々納源兵衛眞久 本願永■ 大工神門與

三左エ門藤原國久 天文九年庚子十一月三日 導師鰐

淵寺敬白

調進者云天正元年ヨリ三十有餘年前ノ天文九年棟札ヲ以テ当神社
最古書類トナシ修造トアレバ是ヨリ前ノ建立ナル事勿論ナリ以上

16 鳶巢村大字東林木 天満宮

社藏古文書

棟札写天正十六年 棟札元禄十二年已降

社傳

勸請年月不詳ト雖御神體下ニ「應永十三年刻置」ノ文字アリ

17 北濱村大字塩津 石上神社

平田熊野神社造営之砌棟札寫

開基應永年中ニ奉勸請此地之由社司之日傳

處也古棟札文字不慥天正十六年棟札寫

奉造供雲州楯縫郡平田保熊野權現宮當社御地

頭吉川殿辛酉御歳 代官平田屋佐渡守

本願兩目代 小村久右衛門尉

杵原内蔵丞

天正十六年戊子九月吉日

河瀬右エ門尉

18 東村大字鹿園寺 高守神社

棟札

永禄年中ノモノアレド文字全ク消滅シ幽カニ永

禄の二字を認ルノミ

19 窪田村大字二窪田 仁石神社

社藏古文書

棟札

奉再建雲里神社一宇 司官 福谷實時

延徳三年神有月吉日

奉建立妙見社一宇 司官 福谷信之進

享禄二年己酉十月一日

奉建立妙見御社一宇 司官 福谷安之頭

天正四年丙子十月廿八日

20 窪田村大字二窪田 御先神社

社藏古文書

棟札

奉再建御先社一宇 司官 福谷信之進

享禄三年十月三日

21 窪田村大字二窪田 八幡宮

社藏古文書

棟札

奉再建八幡宮御社一宇

司官 福谷豊邑

大永元年^{壬午}八月廿五日

奉再建八幡宮御社一宇

司官 福谷山城

永祿四年^{壬戌}八月廿五日

奉再建八幡宮御社一宇

司官 福谷伊賀

文祿二年^{甲午}八月廿四日

八月七日

外二

文祿三年^{甲午}六月 明和三丙戌四月

24 江南村大字三部 若宮御碕神社

社藏古文書

是八神主糸賀家ノ書類中ヨリ抄出ス

棟札寫

享祿四^{辛卯}

奉再建波加佐神社正遷宮 神主 糸賀五郎左エ門丞

三月三日

22 江南村大字二部 八幡宮

社藏古文書拔粹

棟札寫ニシテ八幡宮銘記ト題セル書類中天文前ノ記載無
之且該書中ニ記載セルモノ左ノ如シ

天文拾年

建立寄進 大壇那佐々木民部詮久龜井太郎左衛門

辛丑八月十四日

外二

永祿七年甲子八月 天正十五年丁亥十二月 万治元年十二月

〔以下略〕

25 高濱村大字矢尾 八幡宮

一棟札寫

奉造營八幡宮社頭一宇 大檀越出雲宿祢兼國造義廣奉行藤原朝臣廣經

文祿二年^{癸巳}七月吉日

26 朝山村大字所原 小野神社

棟札

奉建立小野大権現御社一宇

永祿貳年己未六月十七日

本願 ^{飯塚氏}渡部氏

23 江南村大字三部 松川神社

社藏古文書

棟札寫

大永五年^{乙酉}

奉再建祇園神社正遷宮 神主 糸賀五郎左エ門丞

奉建立小野大権現御社 一字 神主鳥屋尾蔵太夫

文禄元年

本願飯塚氏
渡部氏

壬辰九月廿八日

〔寺社史料9〕

島根縣神社由緒書 八

簸川郡 下

1 平田町 宇美神社熊野神社合殿

棟札寫

奉造供雲州楯縫郡平田保王子権現宮當
社御地頭吉川殿辛酉歲代官平田屋佐渡
守同息宗次郎同息長松丸神主河瀬右衛
門本願両目代小村久右衛門杉原内蔵丞
大工助左衛門宗次鍛冶内藤
于天正十六戊子年九月吉祥日筆者沙門敬
白

2 東村大字小境 佐香神社

社蔵古文書

棟札

〔朱書〕檀越平氏高盛

大工高橋兵庫助

伴子衆
繩

奉當宗廟再興造立

神主松本平盛秀

于時明應九庚申三月十二日

松浦三郎左衛門殿

ワタナベ又五郎殿

同名 新三郎殿

白根又三郎宗継

またの三郎左衛門殿

長野左衛門次郎どの

金藤与一どの 福島ひこ六さへもん

竹田八郎兵衛 竹田新次郎殿

まご四郎どの 西村九郎左衛門殿

森野九郎左衛門どの

^{〔朱書〕}
〔裏〕

右本棟札者貞治六年^{丁未}也其徒以后

今年一百三十三回の春造營畢然物

格物知事誠意精心修身齋家知國平

天下殊物當所氏子萬民眷属君臣百

姓父子皆悉富貴万福如意吉祥三寶

證明諸天同鑒

日本六十余州大小神祇加護急々如

律令

^{〔朱書〕}
〔表〕 天文十九年^{庚戌}暮春上旬^{ヨリ}始上

葺仕候也然者番匠日數 二百

梵字 十六文敷

佐香神社

作賃七貫五百五十六文也

米方二十五俵 二升四合也

木舞垂木袖柱貳本悉皆替候

也

此造營 二米五俵合力候也^{アツコ}

山本女房願ニテ候也^メ

^{〔朱書〕}
〔表〕 神主松本新左衛門尉平長秀 公文鍛冶雅楽允平重清
欽奉再興當社棟上 大壇那三刀屋彈正忠源久扶

大工西村清左衛門尉平昌景

右此造營者天文十九年^{庚戌}歲之上葺

今年天正六年^{戊寅}歲仁上葺如此造畢

然者地下之諸人各々抽粉骨者也又

番匠數六十人手間也山大工三十二

人手間也鍛冶十一人手間也米方十

五俵壹年五升足方南京錢六十二貫

五百五十文也板料作料棟上之御祝

同御遷宮共 二右之内米 一俵原助左

衛門尉合力也 亦先年棟札中皆々

棟札何モ裏ニアリ又右之内米壹斗

山本清左衛門尉合力

^{〔朱書〕}
〔裏〕 天正六年^{戊寅}二月十八日敬白

古棟札ハ貞治六年丁未歲也其以後明

應九庚申歲迄 一百三十三年春造營之

畢又天文十九年庚戌歲造營之畢又今

年天正六年戊寅二月上旬ニ上葺之者

也

3 神西村大字神西東分 那實佐神社

社藏古文書

○棟札

奉再立高藏郷社 願主小野廣通
本願 成久

永祿五年壬戌卯月二十六日

宮奉行諏訪成忠

大工玉櫛彦四郎

上棟大威徳明宮梵天帝釈

願主地頭殿丁巳歳并小野朝臣大池丁未

歳福通成本願源西居士宮奉行江原大

工玉櫛万千代小意

右旨趣者願主甲子歳黒崎守久鍛冶場通

元

永祿六癸亥九月朔日 金剛佛子円貞敬白

4 大津村大字大石 阿須利神社合殿八幡宮

一棟札寫

奉再興八幡宮御内殿 二字 大壇越武運長久殊者郷内豊饒攸

干時天正三年乙亥十一月吉日 神主雅樂介

大壇那塩治佐々木豊前守爲治 同息爲豊

本願源朝臣蔵瀧宗兵衛重綱 大工神門次郎左衛門敬白

一棟札 壹枚

上棟奉造宮八幡三所御社 一字 大壇越源朝臣塩治兵部丞爲豊

天正拾曆壬申在月吉祥日

塩治豊前守爲治 上郷源和泉入道壽慶
同甚五郎爲盛 上郷源右衛門源朝臣爲泰
伊藤彦兵衛 野津五郎兵衛 助左衛門 多根彌五郎 田邊勝左衛門
蔵瀧宗兵衛 本願渡部孫左衛門紀久清

神主雅樂介 同百太郎丸 同式部 大工藤原朝臣神門新三郎重清

一古證文寫

雲刃神門郡大津村八幡神主職之事如先規申付候殊 二神

主彌次郎抱分之内西濱後壹反三拾步并太歳神田何レ茂全
無相違可相抱候諸役等如先例無懈怠可立候也仍一行如件

元龜四癸酉三月十四日

爲治 印
神主雅樂助殿

5 塩治村大字上塩治 塩治神社

社藏古文書

○棟簡

大永貳年

再興社頭 一字 佐々木塩治宮内大輔源興久

壬午十月十五日

6 朝山村大字上朝山 朝山神社

社藏古文書

○棟札

永録九年丙寅閏八月廿三日

奉造立朝山郷神朝山村雲井瀧大明神御寶殿 神主

大壇那大江朝臣坂本貞公庚寅武運長久

文録五丙申歳林鐘吉祥日

奉造立雲井瀧大明神御寶殿 本願小田與左衛門 良長

護持旦那壬申歳藤原朝臣元圓武運長久

7 田岐村 多伎藝神社

棟札

天文廿二年六月十九日 大工勝部□良 神主藤原久次
奉修造雷公大明神棟上札 地頭源□久奉行神西□□□謙道

鍛冶平通次 敬白

(表) 天正三年^乙 大工渡部藤左衛門尉宗道 神主清水丹後□□

奉再建雷公大明神前上葺棟札 地頭伴朝臣高永兵庫守元保并代官肥後守亦次

十月五日御遷宮 本願桂林庵永■沙門

鍛冶市山次郎右 工門尉長 ■奉行候士中田六郎右 工門道順 欽白

(裏) 壽命長遠息災延命武運長久子孫繁昌五穀豐穰祈

大日本國出雲國神門郡田儀鄉雷大明神守護所右天長地久御願金滿殊者男子等□

八月六日ヨリ番匠初テ九月廿四日小社共成就所 吉祥如意

(表) 慶長四年^己 十月廿七日御遷宮 大工石飛喜右衛門尉吉次

奉再建雷公大明神御宝前上葺棟札 御地頭毛利奥州守輝元

代官佐世石見守 元嘉 本願慈眼寺應椿沙門 鍛冶海田土佐守祐次

(裏) 役人賀田右衛門兵衛尉生家 右惣地下中十二氏子壽命長遠祈

大日本國出雲國神門郡田儀鄉雷大明神守護所右天長地久御明

同賀田本尾家重 九月八日ヨリ初十月廿七日成就所 敬白

8 莊原村大字学頭 諏訪神社

古器物記載事項 棟札寫

天文^{己亥}七月七日奉建立諏訪明神社

一字大旦那米原新五兵衛池田治部尉

本願神宮寺福間和泉守

9 莊原村大字下莊原 佐支多神社

古器物記載事項棟札寫

于時永正拾五年^{庚戌}歲三月十三日作事如之同念二月御遷宮有
奉……佐支田社依修行之領主源慶勝武運長久弥領知菌子孫長久
神主錦織右京清次……
奉行 伊藤……
高橋……

10 莊原村大字宇屋神庭 諏訪神社

古器物記載事項

古棟札寫

此ノ処文字不明……
表 奉造立諏訪大明神御寶殿 此ノ處文字不明……
永享十二年 大工……
裏 于時永享拾二年・月・日 此ノ處文字不明……
神……

11 莊原村大字上莊原 惣御碕神社

古器物記載事項

古棟札

于時天文元年

表 奉上葺 惣御碕社 神素盞鳴尊 神社 一字成就所

壬辰十月朔日

代官湯川新右エ門尉重利 大工藤原朝臣多久和助元重
裏 大旦那 藤原朝臣天野元明 遷宮社司角土佐輔兼定

代官伊藤祖兵衛 明種 木挽小田佐右エ門 清久

〔朱書〕棟札

出雲神社再興記云

夫雲陽出雲郷不太敷立氏齋出

雲神社ノ神波須佐之男命御孫游

美豆奴神天之冬衣神也古々尔

靈龜元乙卯歲足名稚神手名稚

神櫛稻田姫神國忍富神布忍富

鳥鳴海神登五神合祭而富神社登

称杵築國造代々神田寄附之御

社也波此里之人共甚敬之依而

氏神登称御遷座神事之雜銀波

富鄉民家各一心合力整之而已

祝禱白

齋家治國 民子長榮 富貴延命

萬歲永昌

宝治元丁未載三月祭日

祭司花田宮司藤原俊光謹書

12 出西村大字求院 八幡宮

古器物記載事項

〔一〕當社古器物 一出雲國造北島掃部佐慶孝ノ奉

納ニ係ル丸御膳ニ左ノ銘アリ

奉寄進當社八幡大菩薩天正拾〆〔四ノ字〕年正月吉日

北島掃部佐慶孝

〔二〕當社古器物ノ一氏子中ヨリ奉納ニ係ル木造獅

子頭ニ左ノ銘ヲ存ス

奉寄進八幡宮曆應二戊寅五月廿六日神主村上筑後

十二ノ氏子中

13 伊波野村大字名鷹 御名方神社

天正八年ノ棟札

棟札ハ現ニ當社ニ存ス然レトモ文字不明

ナレトモ天正八年ト云フコトハ明ラカニ知ルコトヲ得

當時ノ代官木原佐渡ノ守ノ再建

ナルコトハ氏子本願内藤家ノ古書文

ニ明ラカナリ

15 伊波野村大字鳥井 八幡宮

〔朱書〕棟札

天正十八年八月十五日造營

16 久木村大字原鹿 熊野神社

一社藏品其他古文書

棟札寫

14 伊波野村大字富 富神社

社藏古文書

天正八庚辰 地頭本主 森和泉守
奉造立氏社王子權現一宇

九月九日 神祀職久多見豐資

17 鳶巢村大字東林木 都我利神社

社藏古文書

棟札寫 天正十一年以後 棟札元錄十年已降

18 鳶巢村大字西林木 伊努神社

社藏古文書

棟札天正十三年以後

19 北濱村大字 松守神社

棟札寫

奉建立八王子大明神社一宇

天文四年乙未十一月吉日

20 東村大字鹿園寺 山口神社

棟札

一切宿皆賢

一奉造營六所大明神御寶殿一宇

羅漢皆行滿

雲陽楯縫郡保佐香浦鹿園寺村以惣地下威力

又大小之旦那輕重在之而成就然時者公私安穩

地下十二氏子富貴自在壽命長遠七難即滅亡

福即生如意吉祥所

神主 六郎左衛門尉 頼高

領主佐々木少輔八郎源朝臣正慶

天正八年_辰霜月二拾八日御遷宮也

21 乙立村大字八幡原 八幡宮

社藏古文書

棟札

奉造立八幡太神宮御社一宇

永祿元年八月十四日

神主姓名不明

奉造立八幡太神宮御社一宇

于慶長元年{丁未}八月十四日

神主姓名不明

22 乙立村大字東村 狹槌神社

社藏古文書

棟札

奉造立狹槌神社

于弘治三年{丁未}十二月三日

神主姓名不明

23 乙立村大字乙立 笈神社

社藏其他古文書

古棟札其一奉再興當社御宇殿大權現云々應仁貳年二月廿八日

其二奉謹造立當山笈權現云々 (表面)

享祿三年正月十一日でのはじめ
同四月廿七日はしら立仕候せんくう 六月廿八日

(裏面)

24 窪田村大字 一窪田 三所神社

社蔵古文書

棟札

奉再建三所社

社職福谷出雲正藤原宅長

大宝貳年癸卯九月八日御安座

25 窪田村大字 一窪田 三所神社境内足高神社

社蔵古文書

棟札

奉再建足高大明神社 一字

司官福谷實時藤原宅佐

延徳二年十月廿九日

26 田岐村大字小田 小田神社

社蔵古文書

永正十年

一奉再興御寶殿專所

十二月十日

27 久村 國村神社

社蔵

一棟札

天文六年丁酉十一月十八日

一全

天文廿四年乙卯十一月十七日

一全

天正四年丙子九月廿九日

28 江南村大字常樂寺 安子神社

社蔵古器物

棟札寫

維時大永二季

代官平朝臣中村右京貞俊

奉造立山王社 一字地頭龜井上総守重綱朝臣

神主春日大和正道綱

壬午十一月六日

大工神門藤朝臣清家

(裏)遷宮安座成就 (但此御棟札雲陽誌^七出津故二松府^七 山王社卜唱^七)

于時天文二拾二歳 天下御上使 代官飯谷兵馬

奉棟上山王神社 一字地頭西谷才壽丸 神主春日陸奥藤原道定

癸丑三月十九日

(裏)遷宮安座成就木願竹下清久

山根三五左 高南有吉
安井 重太郎

大工竹下通吉
小工 重久

鍛冶橋與三兵衛

29 江南村大字三部 八幡宮

社蔵古器物事項

重藤弓 壹挺

但永祿三庚申十一月廿八日正遷宮ノ際地頭神在三郎左衛門

小野廣道ノ寄附セル処ナリ

鉾 壹本

但天正十二年三月五日正遷宮ノ際地頭小笠原治郎左衛門長

治ノ寄附ナリ

社蔵古文書

棟札寫

永正十六年

奉上尊宇佐八幡宮正遷宮 神主糸賀五郎左門丞執行

己卯十一月十日 地頭龜井上総守 本願山根某卜書傳アリ

外二

永祿三庚申十一月建 天正八年庚辰八月建 天正十二甲申三月上

以上

30 布智村大字下古志 比布智神社

棟札の寫

大永三年癸未

金輪聖皇宝祚無窮

奉造立保知石大明神社頭 一字大且越源古志筑前守為信

武家繁昌諸願円満

九月廿六日

裏二

國土泰平氏子繁榮奉祈所如件

天文廿四年

國土泰平

奉造立保知石大明神社頭 一字大且越源古志因幡守宗信

万民永樂

九月廿六日

裏二

御造宮信心之大檀越源佐々木古志因幡守宗信天文廿貳年十壹月

五日御假殿御遷目天文廿三年十貳月造宮相調同廿四年九月廿六日御

棟上辰剋則因幡守芦渡地頭赤穴弥五郎大西越中守神馬太刀遣同

龜井孫五郎久清神馬太刀遣御前為寶物御太刀金覆輪無名

目貫穴二ツアリ同戌時御遷宮因幡守御神樂其以後田樂頭社入

御供神樂參也龜井孫五郎赤穴弥五郎大西越中宗信息豊信

左京亮同三郎二郎同弥七郎同新十郎同宗三郎同道源丸同

満才女子各社入アリ古志長門守兼信生年七十歳女子三人連社入

因幡守伯祖也弟三右衛門同助次郎 一廣寺徳阿弥同女子末

歳以上兄弟四人社入也孫左京亮豊信息才菊丸女子辰歳杵

築別火子金次郎丸女子徳御料以上三人社入賀千家弥三郎別火

弥四郎兩人社入為後證如此書記者也天文廿四年九月廿六日

戊午日遷宮戌刻筆者櫻内美濃守信重

社蔵

一鎧 壹料

應永五辰年 古志佐々木隱岐守信綱ノ御寄附

一哥仙 三十六枚

裏二

保知石大明神寄進

源朝臣佐々木古志守宗信 御書判アリ

天文六年正月十壹日

一箭筒 壹

裏二

奉寄進保知石大明神御寶前

天文十三年九月廿九日

佐々木源朝臣 (此間文字不見) 宗信

島根縣神社由緒書 十五

鹿足郡

1 柿木村大字福川 八幡宮

社藏古文書

弘安五曆壬午之二月五日二位ヶ原八幡宮御鎮座

〔右ハ十九代目神主三浦形部政重ノ時即チ享保八年五月一日ニ書替シ本社藏

棟札ノ書載シアリ

2 柿木村大字福川 大歳神社

社藏古文書

抑當社ハ古社ニ御座候而御勸請相シレ不申候尤御棟札モソソシ申傳ヘ

儀ハ有之候得共御勸請共再興トモ其タシカ相ワカリ不申候永仁三_乙末年

ヨリ當年マテ凡四百八十五年程ノ申傳御座候此度本社立カワリ候ニ付

棟札相調申傳之通り印オキ申候以上

神主政徳

〔右ハ神主三浦左膳藤原政徳ノ時即チ天明八年九月九日ニ奉納セシ本社藏ノ棟札ニ書載シアリ〕

翌四年

安濃郡 社寺部

神社 (田緒調)

島根縣

1 大田村大字大田 八幡宮

大田八幡宮縁起 (元禄十一^一戊寅曆祠官石崎金定書)

嘉禄二年相州鶴岡ヨリ勸請其時使セシ者ノ家

號ヲ前南ト称シ毎年例祭ノ前夜此家ノ戸主社參

セザレハ祭典ヲ始メサルノ古例今尚存セリ

後奈良院天皇大永七年始預官知神地八拾貫文

被為寄附今字称神田

正親町院永禄十丁卯曆小笠原上野介源朝臣長

實同矢野石見守神殿拜殿造營棟札裏文曰奉

感信此神文光昭々武威桓々起誠一無忘志以

奉造立同八月九日於大田村鶴岡山再奉祭祀云

々天正十九年毛利氏削滅神地為五段歩

鉄塔 境内六角堂内ニ蔵ス

源頼朝公武運長久祈願ノ為六十六國ニ建立セラ

レシ其一ナリト傳フ (多ク星霜経ツガ故ニ鏽腐シテ

文字滅分明ナラス) 傳ヘ云フ文覺上人七日七夜ノ祈願ヲ

修セシ納經筒ヲ藏ムト大永天文ノ頃日本廻國者ノ

姓名年月ヲ雕メル銅或ハ滅金製ノ納經筒数多

今尚存在セリ

六角堂ハ銀山領内各村ヲ勸化シ修覆スルノ旧

例アリ今ノ堂宇ハ嘉永七^甲年ニ此ノ例ニ依リテ

修繕セルモノナリ

鉄塔ノ形状左ノ如シ

〔鉄塔図略〕

〔経筒図略〕

2 佐比賣村大字池田 高田八幡宮

社傳ニ

石州安濃郡池田ノ郷奉造八幡宮一字檀越

佐波越前守三善朝臣興邊同与三右衛門三

善惣奉行代官平三左衛門尉並ニ普請奉

行渡辺又六兵衛神主福屋中務大夫藤原兼

久于時天文十八年十一月十五日

3 大田村大字大田 八幡宮

一鎮座年月及由緒

本社鎮座年月不詳ナレトモ

天正十二年甲申八月八日奉再建八幡宮本社大願主長谷加

賀守平朝臣雄久トアル再建ノ棟札ハ現今保存スル所ナリ然レトモ

大古ヨリ神社所在地タルコト實蹟ニ徴シテ明カナリ

4 鳥井村大字鳥井 佐比賣山神社

神社棟札ニ左ノ記載アリ

當社ハ宇多天皇ノ御宇寛平三年辛亥五月朔日

美濃國不破郡ヨリ當所ニ御鎮坐アラセラレナ

ニ氏子ヲ引連ラル依テ五月朔日九月下ノ九日ノ兩

日ヲ以テ祭日卜定メラルトアリ

5 長久村大字長久 野井神社

一天應元年^{辛酉}二月勸請ノ棟札アリ

6 川合村大字川合 八幡宮

元龜二年辛未八月領主小笠原與次郎源朝

臣長旌全彌太郎源朝臣長俊本殿拝殿ヲ再建

ス奉行富田九郎左衛門往貞

7 佐比賣村大字多根 佐比賣山神社

文明八年十一月十八日多祢領主平臣朝神殿ヲ再興^{代官兼工}棟札裏書曰

抑三瓶大明神卜申者掛雲^神忝^繼我朝山陰道石見國安濃郡大田郷多祢村^{此地本}

明同居塵上自一仁下到万民令守護玉^布宗廟也然者則神依人散增威人仍神^{此間}

德爰文明五年三月四日野火烽起而神社佛寺及氏家罹回祿畢神主兼久等運

精

誠奉再興霜月吉日新造玉殿奉御遷宮云云

8 佐比賣村大字志学 久部八面神社

〔前略〕該社棟札ニ

奉造立久部宮本社 一宇 延久三年

亥十月落成同月廿八日御遷行式

卜有之

9 佐比賣村大字多根 天之宮神社

文龜元年^{辛酉}十月^{木破文}

奉再建雨宮^{文字}神

神主藤^{以下文字}

10 佐比賣村大字小屋原 彦山鉄矢神社

〔前略〕文祿四年甲午六月十五日福屋家

初代内蔵允ヨリ傳來セシ矢ノ鉾ヲ正体トシテ金山彦命金山姫

命ヲ相殿鎮祭ス彦山鉄矢神社卜称奉ルナリ〔中略〕

文祿四年六月十五日再興古棟札

11 佐比賣村大字小屋原 佐比賣山神社

永祿三年古棟札^{僅か一柱号卜年号卜神主}

姓名トアルノミ^{テ外文字不詳}

〔寺社史料88〕

明治四年

邇摩郡

社寺部

神社 (田緒調)

島根縣

1 大國村大字大國 石見八幡宮 社傳

一石見山正八幡宮縁起

(前畧)

然當社八幡大菩薩者第一應神天王
第二仲哀天王第三神功皇后左大垂
乳女右姬大明神已上五社神明是也
(中畧)

欽明天王敬白

日本最上神祇神道長上吉田神主作
之畢

石見山正八幡宮大菩薩奉縁起謹

一ニ言上

祠官西大定藤原朝臣重春

(中畧)

于時天正五年閏七月七日

大旦那吉川駿河守元春書判

祠官 西越中守重長

(右石見山正八幡宮縁起ハ年代詳ナラズト雖用紙筆跡ヨリ察スルニ頗ル古代ノ
モノト思ハル而シテ撰文ノ年代ハ社藏古文書ヲ考フルニ吉田神主作之畢トアル

ヨリ前ハ寶徳若クハ弘治以前ノ撰ナルベシ

2 大家村 八幡宮

一社藏棟札寫

天文三年^{甲午}二月廿三日

奉建立八幡宮御寶殿 一字成就之所

大旦那藤原朝臣兼公并 ■ 口公種神主公明

飯田神主 蒔田神主

遷宮九月廿一日

一全上

天文十四年^{乙巳}九月十日

奉造立拝殿 一字成就

大旦那源朝臣長徳

神主公舊 蒔田神主 飯田神主

一全上

永祿十三年^{庚午}十二月吉日

奉造立御神殿 一字成就

大壇那源長旌

本願主 須子宮内太夫

3 湯里村大字西田 水上神社

一社藏古文書

御内殿ノ後 二仁和〇〇再建ト記載アルモ虫害ノ為メ

年月日不詳

永和二年二月吉日本殿再建ノ棟札アリ 以下畧ス

〔寺社史料87〕

翌四年

邑智郡 社寺部

神社 (田緒調)

島根縣

1 吾鄉村大字吾郷 天津神社

社藏其他古文書

百人一首

(本書ハ其意義ヲ明ニ釋解記列シアレハ数十葉ニ

及フヲ以テ畧シヌ

後嵯峨院皇胤

母大納言局

八幡善法寺門跡權大僧都檢校尚清

文永七歲春三月十有七才之書

古器物記載事項

正位 本額 公宝物ノニアル勅額ニシテ皇二百代

本座大明神 聖王ノ御筆

其裏文曰 (裏ニ彫刻シアリ)

奉掛御神前額之事

抑此御宮者去永正始之比當郷地頭三善朝臣

元親依為興行佛子全賀為願主而欲遂勵功然

間三善清繁全元定願主兄弟三人擊一紙之言

狀當社由來京都吉田之神主殿迄申上處則調

勅儀等御宮當郷到着畢其 勅宣之証文并

二神主殿返狀奉納神殿者也其以後今年大永

五白乙酉後文吉日此額奉建立奉懸御神前處

也仰願當所神祇諸大明神願主等哀愍念

心中之願望令成就圓滿給矣謹啓

此額之家施主 三善長則

願主 權律師全賀

大永五天乙酉六月吉日 勸吏 沙門玄清

民部卿

慶岳刻調之

2 矢上村 諏訪神社

社藏棟札

奉再建立御寶殿 一字

永祿八年乙丑霜月十一日

伴朝臣元祐

全上

奉再建立諏訪大明神本殿 一字

天正十一稔癸未三月吉日

奉行東惣左衛門祝言若狹守

大工彌六兵衛外一名鍛冶備前守其外衆中

全神鏡

永正五^{戊辰}八月吉日奉懸御鏡之事

信心施主^{甲子}歲氏子

3 阿須那村 賀茂神社

一古器物

一鉄燭臺

壹本

奉為寄進大江朝臣口羽通平等天正貳拾年拾一月卜切

リ附有之候

一繪馬

貳面

額面左ノ分ニ何々相馬繪兩流之事皈命賀茂下上大明神御寶殿

右ノ分ニ奉掛馬繪兩曳ノ内右也庚子年一々諸願全成就之処也

大宅朝臣就光公

于時永祿十二年己巳八月吉日 狩野治部少輔筆

4 市木村 馬場八幡宮

社藏 棟札

天喜三年

奉再建立馬城山三座八幡宮社社主齋木大部正林

乙未八月 日

裏面ニ 勸請長保元亥八月云々

但棟札ハ形ヲ存スルノミニテ文字ハ分明ナラザルモ

寛永十八辛巳夏良日 齋木因幡守勝正謹

寫セシ 「社内鏡鑑記」卜號ケシ棟札記

録ニ明ナリ

5 濱原村 柱根八幡宮

一棟札

龍共奉造建

石州邑智郡佐和郷 八幡宮御寶殿 一字

檀越出雲新助三善朝臣隆連同越後守興連致

精誠志成就造之功憑茲善利武運長久子孫

繁栄家眷平安者也 伏尤諸天洞鑒三寶

證明三月廿八日祭行

御遷宮也

天文十六丁未年二月八日ノ庚材木取始同八月十二日

庚申手斧始同大工源朝臣渡辺雅樂助通

奉行平朝日野与三左衛門尉通秋

神主源朝臣牛尾勘解由左衛門尉清重

本願龍巖寺東春藏主也

于時天文十七年戊申三月廿八日敬白



6 川越村大字大貫 御嶽神社

本社古代棟札畧寫

一應長元辛酉年九月二十九日御嶽權現宮造求大壇那源朝臣大願主原

源左エ門外地下中神主湯淺長族同宮寄新介

一永徳四甲子年九月二十八日奉造立藏王權現宮清舎 一字大願主中間次郎左エ門同

山

根某 永徳四年ハ至徳元年ノ誤載ナリ

一明曆五丙辰年奉造立御寶殿 大壇那源長隆大願主彦左衛門

一天文二十三年九月二十九日奉新建立大且那源朝臣長雄大願主山寄土佐守外

當村衆中

一天正十二年甲申九月吉日奉再興大壇那源朝臣大藏大輔長旌大願主志谷修

理亮通

7 川越村大字田津 諏訪神社

明應九第申改曆

奉建立諏訪大明神

九月二十八日楷定

奉造立妙見大菩薩御宝殿仁平參年
自辛酉御座嘉曆貳年自二月十三日
同入目料足百五十貫文
俵物六十俵 寺本玄蕃允寄進
始材木山取同三年戊辰歲拾月四日棟上号
元龜參年壬申潤正月自三日山取始同六月五日棟上号
大勸進沙門源慶五十八之歳
神主九代結縁衆貴賤上下
大工守真各願圓滿敬白 又脇本願沙門永順敬白

8 日和村 櫻井太詔刀命神社

社藏其他古文書

棟札

〔梵字〕奉立造社檀二字

爰南瞻部州大日本山陰道石州邑智郡櫻井庄日和村鎮守

妙見尊社大破砌ナレ信心大壇主藤原朝臣駿河守元春

同治部少輔元資建替其次御本地千手千眼無量壽佛

醫王善逝三尊奉彩色以此弥爲天下泰平國土安

全武運長久而已子孫繁昌家中豐饒諸人快樂

本願沙門阿闍梨權少僧都有成

于時元龜參年^{壬申}林鐘五日玉殿奉懷移大阿闍梨權少

僧都珎融欽言

當社造營助録施主 寺本玄蕃允

當職栗屋十郎左衛門尉

社務助十郎

番匠大工伯耆新兵衛尉

同小工藤十郎

鍛冶大工弥四郎

(裏面) 二

9 口羽村大字上田 八幡神社

社藏其他古文書

棟札二 護持大壇那大江朝臣桂左衛門尉元重武運長久攸

石碓邑智郡長田村八幡宮社檀壹宇

于時天正五年^{丁丑}長月中九日代官兒玉内藏助重家

10 口羽村大字下口羽 八幡神社

社藏古文書

棟札二

願主善九郎通平
奉再興八幡宮御宝殿 一宇

天正十三年西六月吉日

古器物

鐵燭臺 一個 奉爲寄進 口羽通平

天正貳拾年拾月吉日備中國多治部住勝宗作

11 三原村 武明八幡宮

本社所藏寶物

一小劔 一 永正十年二月日 備前長舟祐定作 奉納願主上総介長隆

右奉納願文左 二

三原郷八幡宮御寶前

抑船岡岳合戦出陣本望成就の義達立願候誠に靈妙不思議にて敵陣

を討破高名を取り候者ひとゑに御神の御威徳なる次第感賞奉
り謝恩報祭のため太刀老領奉納候彌々天下泰平武術延
長祈念の事肝要候也

年號無記載六月八日

上總介長隆

一零神面一 奉納願主小笠原第拾五代主太蔵太輔源長旌
用材櫟木 縦五寸余横四寸余 形様翁面 作者不名

一古器物

一古棟札 数十個
一久永氏書簡 一紙
一祭式 一卷

一吉川氏午書ノ願文及棟札 各一個
一当社來歴 一卷
一当社由來書 一卷

一足利直冬御輿 一基
一小林雅辰號 各一

一月守安左衛門號 各一
一三重塔扉 一枚

12 市山村 八幡宮

一社藏棟札 壹枚

奉欽上尊八幡宮社殿 一字

天正二甲戊年七月良日

大壇主奉行小野三郎右衛門藤原朝臣駿河守元春治
部少輔元長大宮司牛尾太郎右衛門久信大工佐伯新兵
衛天正二年甲戊七月良日權少僧都珎融鍛冶孫左衛
門

13 高原村大字原村 八幡宮

一棟札

奉新建立八幡宮本社 一字

天文三甲午天七月吉祥日

大宮司三上次部 庄屋九郎右衛門外老名組頭
治郎助外老名大工漆谷孫左衛門小工野崎竹松

14 中野村 賀茂神社

一古文書

〔寺社史料10〕

翌四年

那賀郡 社寺部

神社 (由緒調)

島根縣

1 上府村 八幡宮

社藏其他古文書

一奉建立拝殿一字

于時天正八年庚辰二月吉日

大壇那吉川駿河守元春

時代官森脇飛驒守 大工 石田孫四郎

古器物

一釣鐘 壹箇 銘二曰ク

八幡宮社藏釣鐘

大日本國石見洲公府

八幡宮古鐘已嘎換以

新摸緑比丘 元聡

来需銘曰

猗哉茲器 梟氏之勲

華鯨吼月 蒲宇叫雲

陰晴所異 昏斬所分

此方教體 在于音聞

古也今也 佛云我云

雷霆号令 鎮彼妖氣

宏振神徳 記以斯文

寶徳壬申十一月初一

前東福勝剛書

願主藤原兼堯

一鐵燈籠 二箇

文録四年二月吉川ノ内森脇作右三門尉

源長頼寄附

2 大内村大字内村 八幡宮

一八幡宮所藏其他古文書

本殿再建棟札寫

奉建立棟上八幡宮御寶殿 昔於鷲山說妙法華經 今在諸宮中

慈頭大菩薩大日本石見国那賀郡周布郷ノ内大内邑從昔年斯靈驗

去大永三癸未八月下旬頃雲州尼子伊豫守経久之武士癸向此国當郷内

神社仏寺不嫌靈地悉破却畢今年改換信心大壇那藤原兼康致精

誠悃勵信力造立訖 從是下文尚行磨滅

于時天文六丁酉臘月十四日本願沙門長福寺住持慶繁 貞實菴

源長郡主内信濃守藤原兼康 神主新太夫

其他ハ畧ス

3 雲城村大字下来原 八幡宮

社藏 古器物

高麗犬 四

鳥居額 一

木製四足ノ内 (中略) 二足八股部 三正

治二年八月ト記載アリ

木製八幡宮ノ三字彫刻アリ

永正七年周布城主鳥居建立ノ時ニ掛ラレシ

モノト云フ

鎧切 一

文禄年中朝鮮征伐ノ時下来原中ノ原ノ百姓
肥前名古屋迄御出陣ノ御供仕リ帰國ノ節下
サレタル品ヲ當時寄進シタルモノト旧記ニアリ

鎗 一

文禄年中朝鮮征伐ノ時下来原中ノ原ノ
百姓肥前名古屋マテ御出陣ノ御供仕リ帰國
ノ節下サレタル品ヲ寄進シタルモノト旧記ニアリ

鞍骨 一

文禄年中朝鮮征伐ノ時下来原中ノ原ノ百姓
肥前名古屋迄御出陣ノ御供仕リ帰國ノ
節下サレタル品中ノ原百姓ノ子孫岡本庄右エ門
ガ家ニ所藏ノ処明治三十五年三月十五日当社ニ
寄進セリ

4 雲城村大字七條 八幡宮

社藏 古文書

棟札数多御坐候其棟札ノ写左ニ

于時承平四庚午天八月十五日奉勸請八幡大神宮

伊木百姓中

于時永禄二天巳八月吉日〇〇〇三字不詳

奉新建立八幡宮舞殿 一字〇〇〇〇数多ノ小字アレトモ不詳

5 川平村大字南川上 八重山神社

一左記ノ棟札記ハ明治二十八年九月十六日川平村

役場ヨリ那賀郡役所へ進達セシ書類ノ

扣書ニ依リ謄写セシモノナリ

天正廿癸巳

奉上葺八重山大権現舞殿一棟之事信心ノ施

表 主郷内十二五性ノ氏子並ニ入魂之大旦那准士七良

右衛門本願 寺屋敷ノ与宗右衛門尉
大宮司村尾藤左衛門尉治扶

二月吉祥日

高麗御陳立モ天正廿_{壬辰}二月六日ナリ
大旦那藤原朝臣天野元政

6 下府村 伊甘神社

社藏棟札

一弘治二年丙辰十一月吉日奉再興符中濱宮老宇藤原高直

福屋小太郎大工七作小工二良願主丁卯同己巳

7 下松山村大字下河戸 天満宮

社傳

棟札写

日茲無垢世界日光_辰信施主武運盼右大檀伴朝臣_辰歲武運

長久家紋繁榮息災延命繁昌所坐固謹奉造立南閣

浮堤大日國石州那賀郡河上郷内下河戸天満大自在天社御寶殿

一字下河房流汲北野露惠深當村萬民心潤永禄拾有天九月廿

日大旦那油原豊後守堅 〔花押写カ〕

同

夫以石州那賀郡於川上市村者城主佐々木中書祐堅公造

立社双家臣下河戸村油原豊後守

神輝謹奉上葺天満大自在天神宮御寶殿一棟所

葺替調畢因慈唯今施主抽再心者也五穀成就子孫繁昌息災

延命之惠深北野社宝納如件

石刃那賀郡下河戸村施主役人

于時享六_辛天霜月廿日 庄屋森重吉左衛門
百姓 田中庄六
同断 中村市左エ門

祠官神主坂根和泉源重次代棟梁大工茂左エ門

8 西隅村大字向野田 天満宮

社傳

棟札寫

弘治元乙卯二月廿五日

一奉再興天満宮社 一字 神主野上治部太夫盛實

大願主藤原朝臣隆兼公

9 三隅村 二宮神社

社傳

棟札寫

于時人王四十五代聖武皇帝御宇 大願主藤原國兼公

一奉再興立二宮社 一字 神職大宮司野上主馬太夫代

天平二年十一月十五日

任先例代々願主藤原氏世公

一奉造立二宮社 一字 神職十二代大宮司野上左京太夫代

建久壬子星十一月十五日 裏書 (三隅組二十四ヶ村氏神)

任先例代々大願主藤原信兼公

一奉再興立二宮 一字

神職十七代大宮司野上山城守

藤原道源代

應永十七庚寅星十一月十七日 裏書 (三隅組氏神 社普請奉行)

井村越後守家盛 小坂下野守實秋 小阪備前守重經 萩原七郎周次 古和縫殿助兼賴

社普請方世話頭 三浦源三周長 三浦下総守盛長 三浦掃部助重任

内右衛門太夫兼有 永安内藏丞兼任 三浦若狭守重佐 小阪伊豆守信長

任先例代々大願主 兼世公

一奉造立二宮神殿 一字

神職廿一代大宮司野上治部左衛門尉

藤原實次代

明應二癸丑星正月吉辰日

任先例代々願主山根平左門尉道豊

神職廿二代大宮司野上形部太夫

藤原實春代

一奉造立二宮社神楽殿并廻樓成就

任先例代々大願主 隆兼公

一奉再興立二宮本殿 一字

天文十六丁未年六月二日

神職廿二代大宮司野上治部太夫

藤原盛實代

右普請方世話御役人中 井村越後守實經 小坂下野守實經 小阪備前守實智

萩原七郎周長 古和縫殿助盛長 三浦源三周次 三浦下総守實順 三浦掃

部助實豊 内右衛門太夫實有 永安内藏丞實任 三浦若狭守實佐

小阪伊豆守信長

任先例代々願主 兼忠公

一奉造立二宮社 一字

弘治三年十一月吉辰日

神職廿四代大宮司野上神四郎

藤原實富代

右普請方世話御役人中 小阪民部少輔兼清 小坂彈正守兼賴 小阪和泉守實秋

古和遠江守盛貞 矢原掃部助兼永 三浦右馬助兼光 内美濃守兼有 永安上総

助兼任 德田駿河守慶定 井村才王

大願主藤原全鼎入道

是レヨリ下至テ分兼申候

一奉修覆二宮大明神御宝殿 一字 大工東方金次郎春次

于時天正十二甲申十二月吉日 大宮司野上惣兵衛尉實賴

慶長五^庚五^壬歲 增野隱岐守

一奉造築二宮大明神 右施主^{戊午}歲 萩原右衛門尉

九月十日 大宮司 惣兵衛尉

大工 惣右二門

10 高城村大字小坂 稻穂神社

一社藏古文書左之通

稻穂神社古記

神龜三丙寅年

一稻穂神社一宇 大願主 田村修理大夫

八月十日

永徳辛酉三月 三隅殿家老

再建立稻穂社一宇 大願主小坂下野守實秋

應永十九年壬辰八月 右同役

再建立稻穂社 大願主小坂備前守重経
小坂伊豆守信長

〔寺社史料99〕

明治二年

美濃郡 社寺部

神社 (宙緒調)

島根縣

1 高城村 八幡宮

別録天正十三年乙酉十一月廿六日造營之棟札領主豊

田式部少輔藤原安宗願主村上神左衛門大工永田

奎之亮鍛冶兵部左衛門卜有

2 都茂村大字丸茂 八幡宮

社藏其他古文書

棟札曰 (文字) 八幡宮寶殿長祿二季庚辰二月十八日 (姓名文字) (没藏不明)

3 都茂村大字丸茂 大元神社

社藏其他古文書

大元御魂殿御座臺ノ裡ニ「文正二年三月日大工文内」ト

アリ

2012～2014年度科学研究費補助金 基盤研究(C)
中世山陰地域を中心とする棟札の研究
研究成果報告書

2015年（平成27年）3月

発行者：長谷川博史
〒690-0826 松江市西川津町1060
島根大学教育学部